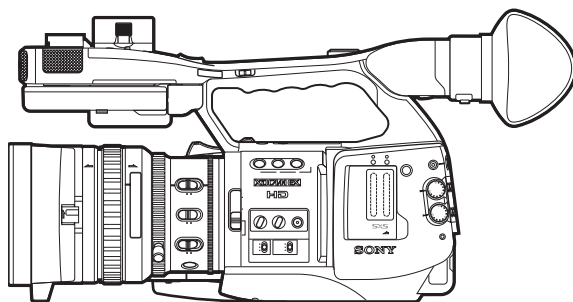


ソリッドステート メモリーカムコーダー

PMW-EX1R



取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよく読み
のうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

XDCM EX
CINEALTA

SXS
Exmor
FULL HD 3CMOS

HDMI
i

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

9～12ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記されています。

定期点検を実施する

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使用を中止する

お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは



- ①電源を切る。
- ②バッテリーパックや、電源コード、接続ケーブルを抜く。
- ③お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示の注意事項を守らないと、破裂・発火・発熱・液漏れにより、死亡や大けがになることがあります。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる場合があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



高温

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



指示

目次

⚠ 警告	9
⚠ 注意	10
電池についての安全上のご注意	11
電池のリサイクルについて	12
その他の安全上のご注意	12

概要

商品構成	13
本機の特長	14
ソフトウェアの使いかた	16
CD-ROM マニュアルを読む	16
各部の名称	18
本体	18
赤外線リモートコマンダー（付属）	22
画面表示	24
カメラモード時の画面表示	24
ダイレクトメニュー操作	25

準備

電源	27
バッテリーパックを使う	27
AC 電源を使う（DC IN 電源）	29
電源を入れる	29
電源を切る	29
時計を合わせる	30
LCD モニターとビューファインダーを調整する	31
LCD モニターを調整する	31
ビューファインダーを調整する	32
グリップを調整する	34
リモコンを使う	34
SxS メモリーカードの取り扱い	36
SxS メモリーカードについて	36
SxS メモリーカードを入れる / 取り出す	37
使用する SxS メモリーカードを切り換える	38
SxS メモリーカードをフォーマット（初期化）する	38

残りの記録可能時間を確認する	39
SxS メモリーカードを修復する	40
外部ハードディスクを使う	41
PHU-120R を取り付ける / 取りはずす	41
PHU-120R をフォーマット（初期化）する	42
残りの記録可能時間を確認する	42
PHU-120R を修復する	42
メディアアダプターを使う	43
フォーマット（初期化）する	43

撮影

基本操作手順	45
ビデオフォーマットを選ぶ	47
選択できるフォーマット	47
HD/SD を切り換える	48
フォーマットを変更する	49
ND フィルターを切り換える	50
ホワイトバランスを調整する	50
調整モードを選択する	51
オートホワイトバランスを実行する	51
マーカーやゼブラパターンを表示する	52
マーカーを表示する	52
ゼブラパターンを表示する	53
ゲインを設定する	54
固定ゲインで撮影する	54
AGC モードで撮影する	55
電子シャッターを設定する	56
固定シャッターで撮影する	56
超高感度スローシャッター（EX Slow Shutter）で撮影する	57
オートシャッターで撮影する	58
アイリスを調整する	58
オートアイリスモードで撮影する	58
マニュアルでアイリスを調整する	59
ズームを操作する	59
モードを切り換える	59
手動でズームを操作する	60
電動でズームを操作する	60
フォーカスを調整する	62
Full MF モードで調整する	62
MF モードで調整する	63
AF モードで調整する	64

マクロモードを使う	64
手ぶれ補正を効かせる	65
フリッカーを補正する	65
タイムデータを設定する	66
タイムコードの動作モード	66
タイムコードを設定する	67
ユーザービットを設定する	68
タイムデータを表示する	68
音声を記録する	69
内蔵ステレオマイクを使う	69
外部入力を使う	69
外部マイクを使う	69
録音レベルを調整する	70
音声をモニターする	70
カラーバー/基準音声信号を出力する	71
ショットマークを記録する	72
OK マークを付加する	73
レックレビュー	74
アサインボタン機能を変更する	75
インターバルレック	77
撮影前の設定	77
インターバルレックモードで撮影する	78
フレームレック: コマ撮りする	78
撮影前の設定	78
フレームレックモードで撮影する	79
キャッシュレック: さかのぼって記録する	80
撮影前の設定	80
キャッシュレックを実行する	81
スロー&クイックモーション撮影する	81
撮影前の設定	82
スロー&クイックモーションモードで撮影する	82
フリーズミックス: 位置を合わせる	83
ショットトランジション	84
撮影前の設定	85
ショットトランジション撮影する	87
フェーダー機能	88
撮影前の設定	88
フェードインで記録を開始する	89
フェードアウトで記録を終了する	89
ピクチャープロファイル	90

ピックアップファイルを登録する	90
ピックアップファイルを選択する	91
ピックアップファイルの設定をコピーする	91
ピックアップファイルをリセットする	92
ピックアップファイルを SxS メモリーカードに保存する	92
ピックアップファイル項目	94
クリップを削除する	99
直前に記録したクリップを削除する	99
クリップを一括削除する	99
設定データの保存と呼び出し	100
セットアップファイルを保存する	100
セットアップファイルを読み出す	100
標準設定値に戻す	101
ブランニングメタデータ	101
ブランニングメタデータファイルを読み込む	102
ブランニングメタデータでクリップ名を設定する	103
ブランニングメタデータでショットマーク名を設定する	104
ブランニングメタデータを一括コピーする	105

再生

サムネイル画面	106
サムネイル画面の構成	106
サムネイル画面の種類を変更する	108
クリップの再生	109
選択したクリップ以降のクリップを連続再生する	109
音声を聞く	111
高速再生する	111
頭出しする	111
再生中にショットマークを追加する (HD モード)	111
クリップ操作	113
クリップ操作メニュー構成	113
クリップ操作メニューの基本操作	114
クリップの詳細情報を表示する	115
OK マークを付ける / OK マークを削除する (HD モードのみ)	116
クリップをコピーする	116
クリップを削除する	118
クリップエクスパンド画面を表示させる	118
ショットマーク画面を表示する (HD モードのみ)	120
ショットマークを追加・削除する (HD モードのみ)	121
クリップの代表画を変更する (HD モードのみ)	121
クリップを分割する (HD モードのみ)	122

ステータス画面

ステータス画面を表示する	123
カメラステータス画面	124
オーディオステータス画面	125
カメラモード時	125
メディアモード時	125
ビデオステータス画面	126
ボタン/リモートステータス画面	127
バッテリー/メディアステータス画面	127

メニュー表示と詳細設定

セットアップメニューの構成と階層	128
セットアップメニューの構成	128
セットアップメニューの階層	128
セットアップメニューの基本操作	129
セットアップメニュー一覧	132
CAMERA SET メニュー	132
AUDIO SET メニュー	138
VIDEO SET メニュー	139
LCD/VF SET メニュー	140
TC/UB SET メニュー	143
OTHERS メニュー	144

外部機器を接続する

外部モニターを接続する	150
コンピューターでクリップを管理・編集する	152
外部機器を接続する (i.LINK 接続)	154
本機の画像を外部機器で記録する	155
ノンリニア編集する	155
外部入力信号を記録する	156
i.LINK について	157







付録

使用上のご注意	158
出力のフォーマットと制限	160
ビデオフォーマットと出力信号について	160

入出力制限	165
バックアップ電池の交換	169
トラブル時の対処	170
電源	170
記録・再生	170
外部機器	171
エラー / 警告表示	172
エラー表示	172
警告表示	172
MPEG-2 Video Patent Portfolio License について	175
ビットマップフォントについて	175
保証書とアフターサービス	176
保証書	176
アフターサービス	176
主な仕様	176
一般	176
カメラ部	177
オーディオ部	178
表示部	178
メディア部	178
入出力部	178
別売りアクセサリ	179
索引	181



下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**により**死亡**や**大けが**につながる可能性があります。

 <p>禁止</p> <p>運転中に使用しない 自動車、オートバイなどの運転をしながら記録 / 再生をすることはおやめください。交通事故の原因となります。</p>	 <p>指示</p> <p>撮影時は周囲の状況に注意を払う 周囲の状況を把握しないまま撮影を行うと、事故やけがの原因となります。</p>
 <p>分解禁止</p> <p>分解や改造をしない 分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。</p>	 <p>指示</p> <p>指定の電源で使用する 取扱説明書に記されているバッテリーパックまたは AC アダプターでお使いください。指定以外の製品でのご使用は、火災の原因となります。</p>
 <p>禁止</p> <p>AC 電源コードや DC 電源接続コードを傷つけない AC 電源コード、DC 電源接続コードやマイクケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> コードを加工したり、傷つけたりしない。 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。 コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。 <p>万一、コードが傷んだら、ソニーのサービス窓口にご依頼ください。</p>	 <p>指示</p> <p>電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む 真っ直ぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。</p>  <p>禁止</p> <p>レンズやビューファインダーの接眼レンズを太陽に向けて放置しない 太陽光がレンズやビューファインダーの接眼レンズを通して内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。</p>
 <p>禁止</p> <p>内部に水や異物を入れない 水や異物が入ると火災や感電の原因となります。 万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、電源コードや接続コードを抜いて、ソニーのサービス窓口または営業担当者にご相談ください。</p>	 <p>高温</p> <p>ビデオライト使用時は、高温部分に触れない ビデオライトの使用時または使用直後は、ライト本体およびその周辺部が高温になっているため、やけどすることがあります。 カムコーダーの取っ手を持って運搬するときなどは、ライト本体およびその周辺部に触れないよう注意して運搬してください。</p>
 <p>禁止</p> <p>メモリーカードスロットに異物を入れない 指定のメモリーカード以外のものを入れると、火災や感電の原因となることがあります。</p>	



注意

下記の注意を守らないと、**けが**をしたり
周辺の物品に**損害**を与えることがあります。



指示

雷が鳴り出したら、使用を中止する

感電の原因となります。
落雷を避けるため、使用を中止して本機から離れてください。



指示

保管するときは安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落下してけがの原因となることがあります。



指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。十分注意して接続・配置してください。



禁止

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では使用しない

上記のような場所や、この取扱説明書に記されている使用条件以外の環境で使用すると、火災や感電の原因となることがあります。



指示

部品の取り付けは正しく行う

本機に以下の部品を取り付けるときは、取扱説明書の該当するページをよく読んでうえ、確実に取り付けてください。取り付け方法を誤ると部品やカムコーダー本体が落下し、けがをすることがあります。

- ショルダーベルト



指示

カムコーダーの重量にあった三脚を使用し、三脚・雲台を確実に固定する

カムコーダーの重量に耐えきれない三脚、または三脚以外に取り付けて使用すると、本機やレンズが落下し、けがをすることがあります。

また、三脚・雲台を確実に固定せずにカムコーダーから離れると、不意にカムコーダーが動いてけがをすることがあります。



指示

運搬するときは、ハンドルを持つ

フロントマイク部、LCD パネル部など、ハンドル以外の場所を持って運搬すると、本機が落下してけがの原因となることがあります。

電池についての安全上 のご注意

電池の使い方を誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
 - ① 機器の電源スイッチを切るか、バッテリーチャージャーの電源プラグを抜く。
 - ② ソニーのサービス窓口連絡する。
- 電池の液が目に入ったらすぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受ける。
- 電池の液が皮膚や衣服に付いたらすぐにきれいな水で洗い流す。
- バッテリー収納部内で液が漏れたらよくふきとってから、新しい電池を入れる。

ここでは、本機で使用可能なソニー製リチウムイオン電池についての注意事項を記載しています。

危険

- 充電には、ソニーの専用バッテリーチャージャーを使用する。
- 火の中に投げ入れたり、加熱、半田付け、分解、改造をしない。
- 直射日光の当たるところ、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温の場所で、使用・放置・充電をしない。

警告

- ハンマーでたたくなどの強い衝撃を与えたり、踏みつけたりしない。
- 接点部や ⊕ 極と ⊖ 極をショートさせたり、金属製のものと一緒に携帯・保管をしない。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめる。
- 電池使用中や充電、保管時に異臭がしたり、発熱・液漏れ・変色・変形などがあつたとき

- は、すぐに使用や充電をやめる。
- 水や海水につけたり、濡らしたりしない。

注意

充電のしかたについてはバッテリーチャージャーの取扱説明書をよく読む。

ここでは、付属の赤外線リモートコンマダーおよびデータ保持用で使うリチウム電池についての注意事項を記載しています。

警告

- 乳幼児の手の届かないところに置く。
- 電池は充電しない。
- 火の中に入れてたり、加熱・分解・改造をしない。
- 電池の (+) と (-) を正しく入れる。
- 電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受ける。
- 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- ショートの原因となるので、金属製のネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。
- 電池に液漏れや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- 電池に直接はんだ付けをしない。
- 電池を保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子（金属部分）を絶縁する。
- 皮膚に障害を起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。

注意

- 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしない。
- 直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温・多湿の場所で使用、放置、保管しない。
- 電池を水で濡らさない。
- ショートさせないように機器に取り付ける。

電池のリサイクルについて



Li-ion

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になった電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人JBRCホームページ <http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html> を参照してください。

その他の安全上のご注意

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

注意

日本国内で使用する電源コードセットは、電気用品安全法で定める基準を満足した承認品が要求されます。ソニー推奨の電源コードセットをご使用下さい。

警告

イヤホンやヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

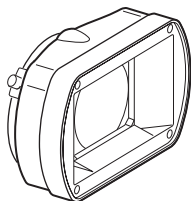
概要

商品構成

ソニーメモリーカムコーダー PMW-EX1R1には、次のようなアクセサリが同梱されています。ご使用前に確認してください。

() 内は個数を表します。

レンズキャップ付きレンズフード (1)



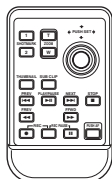
本機にあらかじめ取り付けられています。別売りのワイドコンバージョンレンズを取り付けるときは取りはずしてください。

大型アイカップ (1)

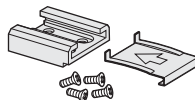


本機にあらかじめ取り付けられています。

赤外線リモコン (1)

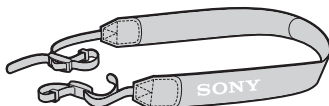


コールドシューキット (1)



補助シュー、ネジ4本、ボトムプレートで構成されます。

ショルダーベルト (1)



ボタン電池 (バックアップ用CR2032) (1)

あらかじめ本機に装着されています。

ボタン電池 (リモコン用CR2025) (1)

あらかじめリモコンに装着されています。

CD-ROM:

Utility Software for XDCAM (専用アプリケーションソフトウェア、SxSデバイスドライバソフトウェアを収録) (1)
Manuals for Solid-State Memory Camcorder (PDF版取扱説明書を収録) (1)

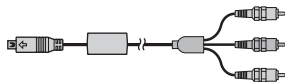
取扱説明書 (1)

保証書 (1)

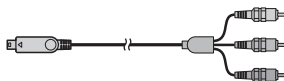
USBケーブル (1)



AV接続ケーブル (1)



コンポーネントビデオケーブル (1)



本機の特長

PMW-EX1R は、有効画素数約 207 万画素 (1920 × 1080) の1/2型CMOSイメージセンサーを搭載し、記録メディアにSxS¹⁾メモリーカードを使用する、小型・高性能のXDCAM EX¹⁾シリーズカムコーダーです。

マルチフォーマット対応

有効走査線数1080本および720本のHD映像に加え、DVCAM互換モードでの記録・再生も可能です。

プログレッシブ/インターレース、NTSC/PALの選択も可能で、それぞれ目的に応じた各種フォーマットを使用できます。

異なるフォーマットの画像でも、同じSxSメモリーカードに保存できます。

新世代のHD記録システム

新開発のノンリニア記録メディア

SxSメモリーカードを使用することによって、記録画像へのランダムアクセスやファイルベースの操作が可能です。

MPEG-2 Long GOP 画像圧縮による HD 記録

MPEG-2 Long GOP方式により、1920 × 1080のHD画像を記録します。XDCAM¹⁾ HDおよびHDV²⁾ 1080iと同じコーデックを採用し、クオリティーの高いHD記録を可能にしています。

ビットレートの選択が可能

要求される画質と記録時間に応じて、ビットレートを35 Mbps (HQモード) または25 Mbps (SPモード) に設定できます。

長時間記録

高効率の圧縮方式によって、高画質のHD画像を32GBのSxSメモリーカード1枚にHQモード(35 Mbps VBR)で約100分、SPモード(25 Mbps CBR)で約130分記録できます。2つのカードスロットのそれぞれにカードを装着しておくことによって、フレームをロス

することなく、2枚のカードに連続して記録することができます。

高品質の非圧縮音声記録

HD画像に合わせて、16ビット、48 kHzリニアPCMによるオーディオ2チャンネルの記録が可能です。

IT 対応

MP4フォーマットのデータファイルとして記録されるため、コンピューターでのデータのコピー、転送、共有などに対応でき、本機で記録した素材を様々な環境で幅広く活用できます。

エクスパンド機能付きサムネイル表示

記録開始・停止ごとに、ビデオ・オーディオを含む1つのクリップが独立して生成されます。再生モードにすると、各クリップがそれぞれサムネイル画像として表示され、目的のクリップを簡単に検索できます。

さらにエクスパンド機能を使用すれば、選択したクリップを時分割してサムネイル表示することができ、長時間のクリップ内でのシーン検索が容易になります。

先端カメラ技術

1/2 型 “Exmor”¹⁾ CMOS センサー

PMW-EX1Rは、3個の新開発1/2型“Exmor”CMOSセンサーを搭載し、フルスペックハイビジョン対応の記録・再生が可能です。

14 倍ズームレンズ

PMW-EX1R 専用の高性能ズームレンズを搭載しています。広角から望遠まで広範囲で高品質の撮影が可能です。

フォーカス、ズーム、アイリスそれぞれに調整リングを備え、きめ細かく調整できます。

フォーカス補助機能

フォーカス合わせを正確かつ容易に行えるように、様々な補助機能が用意されています。

- ワンプッシュオートフォーカス
- MFアシスト
- エクスパンドフォーカス
- ピーキング
- 手ぶれ補正

多彩な映像表現を可能にする撮影モード

23.98P ネイティブ記録

PMW-EX1Rは、ソニーCineAlta¹⁾シリーズの新モデルとして、23.98Pネイティブモードでの撮影をハンディサイズで実現しました。

スロー&クイックモーション機能

撮影フレームレートを再生フレームレートと異なる設定にすることによって、フィルムカメラの早回し（オーバークランク）または遅回し（アンダークランク）に相当する効果が得られます。

スローシャッター機能

最大64フレームまで蓄積することができ、低照度の状況下でもノイズの少ないクリアな映像撮影が可能です。

ガンマカーブの選択

撮影シーンに応じて、CineAltaシリーズのカムコーダーと同等のガンマカーブを選択できます。

インターバルレック（間欠記録）

あらかじめ設定した間隔で撮影を行います。長期間の撮影や、被写体の動きを時間を短縮して見るなどの用途に有効です。

フレームレック機能

クリエイティブ制作などに最適な機能です。ボタンを押すごとに、あらかじめ設定したフレーム数を記録する機能です。

開角度によるシャッター設定

電子シャッターのスピード調整に加え、フィルムカメラ同様のシャッター開角度調整が可能です。

ピクチャープロフィール

目的のシーンに最適な画質設定を登録しておくことによって、即座に再現することができます。

6種類まで登録できます。

ショットトランジション

あらかじめ目的のズームポジションやホワイトバランス設定などを登録しておくことによって、現在の画像から目的の構図・設定までスムーズに変化させることができます。

ピクチャーキャッシュ機能

内蔵のキャッシュメモリーを利用して、記録開始前（最大15秒）の映像を、さかのぼって記録することができます。

操作性を高める様々な機能とデザイン

- 被写界深度表示
- 輝度レベル表示
- ヒストグラム表示
- 3.5型カラー LCDモニター
- カラービューファインダー
- 回転式グリップ
- 機能を割り当てられる 4 個のアサインブルボタン
- ハンドル、グリップ両方で可能なズーム操作、記録開始・停止
- バッテリーパックでの長時間動作
- USB、i.LINK¹⁾、HDMI³⁾を含む多彩なインターフェース
- 自動追尾ホワイトバランス（ATW）
- 内蔵NDフィルター
- ゲイン選択
- 4倍速、15倍速、24倍速ピクチャーサーチ
- フリーズミックス機能
- 画像反転機能
- 赤外線リモートコマンド¹⁾付属
- プランニングメタデータが使用可能

1)XDCAM、XDCAM EX、SxS、i.LINK、Exmor、CineAlta、およびリモートコマンドはソニー株式会社の商標です。

2)HDVは、ソニー株式会社、および日本ビクター株式会社の商標です。

3)HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfacelは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

その他本機に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標、または商標です。

XDCAM EX web site

XDCAM EXに関連する情報については下記URLをご覧ください。

<http://www.sony.co.jp/XDCAMEX>

ソフトウェアの使いかた

付属のCD-ROM「Utility Software for XDCAM」には、コンピューター上でSxSメモリーカードにアクセスしたり、撮影素材を管理するときに必要な、アプリケーションソフトウェアやドライバーソフトウェアが収納されています。また、ソフトウェアのインストール方法についての情報が、PDF形式で記録されています。

ご注意

SxSメモリーカードをExpressCardスロットが標準搭載されているコンピューターで使用するときには、コンピューターにSxSデバイスドライバーソフトウェアをインストールする必要があります。

CD-ROMマニュアルを読む

準備

CD-ROM に収納されているマニュアルをご覧いただくためには、以下のソフトウェアがインストールされている必要があります。

Adobe Reader 6.0 以上

メモ

Adobe Reader がインストールされていない場合は、下記URLよりダウンロードできます。

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

Adobe、およびAdobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

マニュアルを読む

次のようにします。

1 CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。

表紙ページが自動的にブラウザで表示されます。

ブラウザで自動的に表示されないときは、CD-ROM に入っている index.htm ファイルをダブルクリックしてください。

2 読みたいマニュアルを選択してクリックする。

PDFファイルが開きます。

メモ

Adobe Readerのバージョンによって、ファイルが正しく表示されないことがあります。正しく表示されない場合は、「準備」の項のURLより最新のソフトウェアをダウンロードしてお使いください。

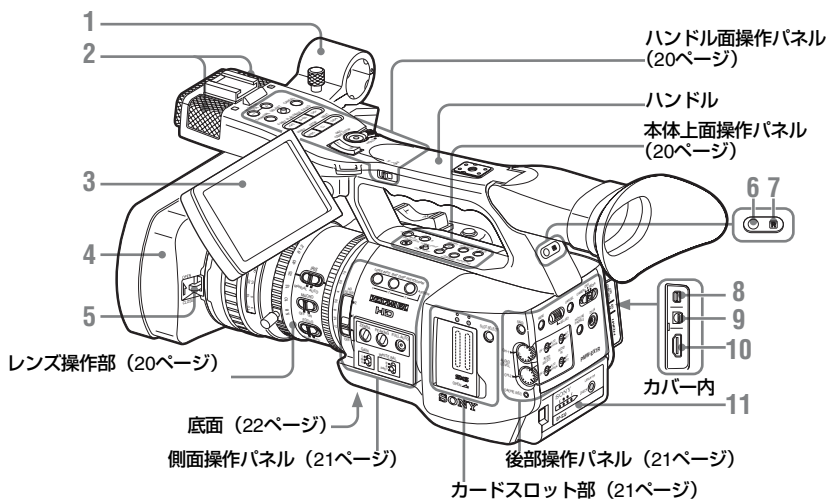
ご注意

CD-ROMが破損または紛失したため、新しいCD-ROMをご希望の場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください(有料)。

各部の名称

◆それぞれの機能・使いかたについて詳しくは、()内に記載されているページをご覧ください。

本体



1. 外部マイク取り付け部 (69ページ)

2. 内蔵ステレオマイク (69ページ)

3. LCDモニター (31ページ)

4. レンズフード

別売りのワイドコンバージョンレンズを取り付けるときは、フードを取りはずしてください (右段参照)。

5. レンズキャップ開閉レバー (45ページ)

6. 後部タリーランプ (46、172ページ)

7. 後部赤外線リモコン受光部

8. COMPONENT OUT (コンポーネント出力) 端子 (Mini D 端子) (151ページ)

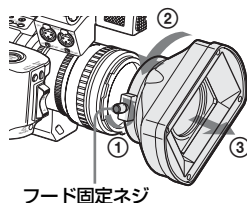
9. A/V OUT (オーディオ/ビデオマルチ出力) 端子 (151ページ)

10. HDMI OUT端子 (151ページ)

11. バッテリーバック装着部 (27ページ)

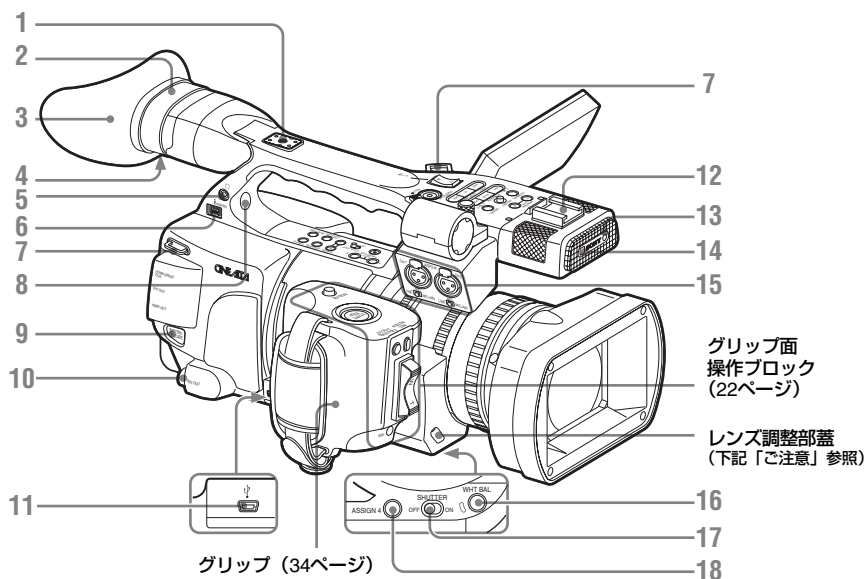
レンズフードを取りはずすには

①フード固定ネジをゆるめ、②矢印の方向に回して、③取りはずします。



フード固定ネジ

再度取り付けるときは、本体とフードの印を合わせて、取りはずしたときと反対方向に回し、フード固定ネジを締めてください。



1. 後部アクセサリースュー

付属のコードシューキットを取り付けて使用することもできます (41ページ)。

2. ビューファインダー (32ページ)

3. アイカップ (33ページ)

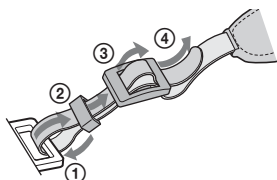
4. ビューファインダー視度調整つまみ (33ページ)

5. ヘッドホン端子 (ステレオミニジャック) (70、111ページ)

6. i.LINK (HDV/DV) 端子 (4ピン、IEEE1394 準拠S400) (154ページ)

7. ショルダーベルト取り付け部 (左右)

付属のショルダーベルトを図のように取り付けます。



8. 内蔵スピーカー (70、111ページ)

9. BATTERY RELEASE (バッテリー取り出し) ボタン (27ページ)

10. SDI OUT (シリアルデジタル出力) 端子 (BNC型) (150ページ)

11. USB端子 (Mini B端子) (152ページ)

12. 前部アクセサリースュー

13. REC/TALLY (記録/タリ) ランプ (46、172ページ)

14. 前面赤外線リモコン受光部

15. AUDIO IN CH-1/CH-2 (オーディオ入力チャンネル1/チャンネル2) 端子 (XLR) と入力切り換えスイッチ (69ページ)

16. WHT BAL (ホワイトバランス自動調整) ボタン (50ページ)

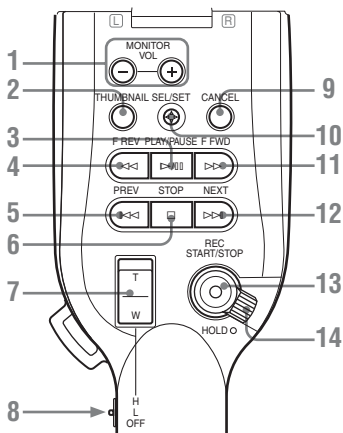
17. SHUTTER (シャッター) スイッチ (56ページ)

18. ASSIGN 4 (アサイン4) ボタン (75ページ)

ご注意

レンズは工場出荷時に最適な状態に調整されていますので、蓋の中の調整部に触らないでください。

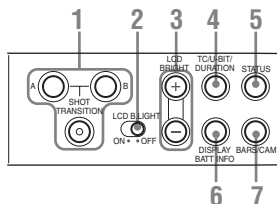
ハンドル面操作パネル



1. MONITOR VOL (モニター音量調節) ボタン (70、111ページ)
2. THUMBNAIL (サムネイル表示) ボタン (108ページ)
3. PLAY/PAUSE(再生/一時停止)ボタン(109ページ)
4. F REV (逆高速再生) ボタン (111ページ)
5. PREV (逆方向クリップジャンプ) ボタン (111ページ)
6. STOP (停止) ボタン (110ページ)
7. ハンドルZOOM (ズーム) ボタン (60ページ)
8. ズームスピード切り換えスイッチ (60ページ)
9. CANCEL(キャンセル)ボタン(129ページ)
10. SEL/SET(選択/確定)ボタン(十字スティック) (129ページ)
上(レンズ方向)下(ビューファインダー方向)左右に倒すか、軸方向に押し使します。
本書の操作説明では「十字スティック」と記載します。
11. F FWD (高速再生) ボタン (111ページ)
12. NEXT (順方向クリップジャンプ) ボタン (111ページ)
13. REC START/STOP (記録開始 / 記録停止) ボタン (45ページ)

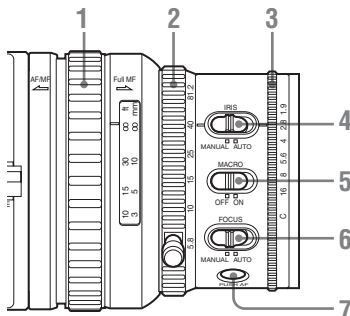
14. REC HOLD (記録ホールド) レバー (46ページ)

本体上面操作パネル



1. SHOT TRANSITION (ショットトランジション) 操作部 (84ページ)
2. LCD B.LIGHT (液晶ディスプレイバックライト) スイッチ (32ページ)
3. LCD BRIGHT +/- (液晶ディスプレイ明るさ調整) ボタン (32ページ)
4. TC/U-BIT/DURATION (タイムデータ切り換え) ボタン (66、110ページ)
5. STATUS (ステータス表示切り換え) ボタン (123ページ)
6. DISPLAY/BATT INFO (画面表示バッテリーインフォ) ボタン (24、28ページ)
7. BARS/CAM (カラーバー/カメラ信号切り換え) ボタン (71ページ)

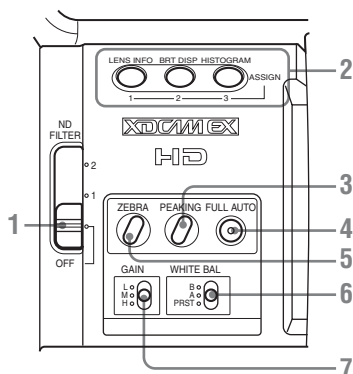
レンズ操作部



1. フォーカスリング (62ページ)
2. ズームリング (59ページ)
3. アイリスリング (58ページ)

4. IRIS (アイリス調整モード選択) スイッチ (58ページ)
5. MACRO (マクロ) スイッチ (64ページ)
6. FOCUS (フォーカス調整モード) スイッチ (62ページ)
7. PUSH AF (ワンプッシュオートフォーカス) ボタン (62ページ)

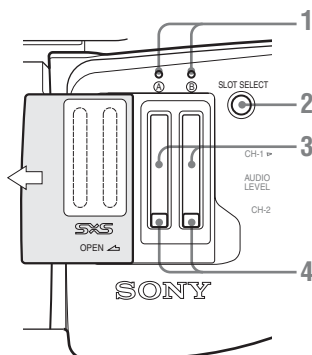
側面操作パネル



1. ND FILTER (NDフィルター切り換え) スイッチ (50ページ)
2. ASSIGN 1/2/3 (アサインナブル1/2/3) ボタン (75ページ)
3. PEAKING (ピーキング) ボタン (63ページ)
4. FULL AUTO (フルオートモード) ボタンとインジケーター (45ページ)
5. ZEBRA (ゼブラ) ボタン (53ページ)
6. WHITE BAL (ホワイトバランスメモリー切り換え) スイッチ (50ページ)
7. GAIN (ゲイン) スイッチ (54ページ)

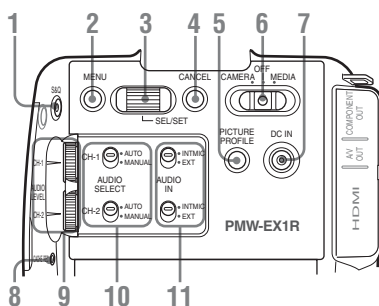
カードスロット部

SxSメモリーカードスロットおよびEJECTボタンはカバー内にあります。



1. ACCESS (アクセス) ランプ (38ページ)
2. SLOT SELECT (SxSメモリーカード選択) ボタン (38ページ)
3. SxSメモリーカードスロット (37ページ)
4. EJECT (SxSメモリーカード取り出し) ボタン (37ページ)

後部操作パネル

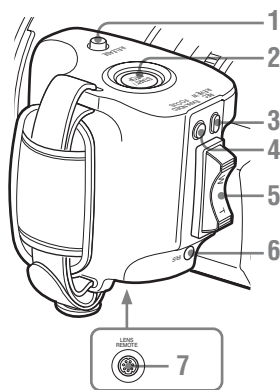


1. S&Q (スロー&クイックモーション) ボタン (81ページ)
2. MENU (メニュー表示 ON/OFF) ボタン (129ページ)
3. SEL/SET (選択/確定) ダイアル (ジョグダイヤル) (129ページ)
上下に回すか、水平方向に押して使用します。

本書の操作説明では「ジョグダイヤル」と記載します。

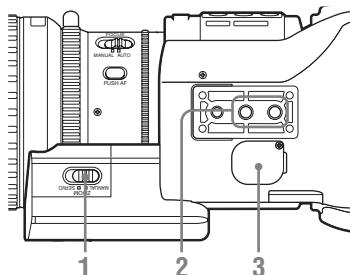
4. **CANCEL** (キャンセル) ボタン (129ページ)
5. **PICTURE PROFILE** (ピクチャープロファイル) ボタン (90ページ)
6. 電源 (CAMERA/MEDIA切り換え) スイッチ (29ページ)
7. **DC IN** (DC 電源入力) 端子 (29ページ)
8. **CACHE REC** ランプ (80ページ)
9. **AUDIO LEVEL CH-1/CH-2** (オーディオレベルCH-1/CH-2) 調整つまみ (70ページ)
10. **AUDIO SELECT** (音声レベル調整モード切り換え) スイッチ (70ページ)
11. **AUDIO IN** (音声入力切り換え) スイッチ (70ページ)

グリップ面操作ブロック



1. **RELEASE** (グリップロック解除) ボタン (34ページ)
2. **REC START/STOP** (記録開始/記録停止) ボタン (45ページ)
3. **REC REVIEW** (レックレビュー) ボタン (74ページ)
4. **EXPANDED FOCUS** (エクスパンドフォーカス) ボタン (62ページ)
5. 電動ズームレバー (59ページ)
6. **IRIS** (ワンプッシュオートアイリス) ボタン (59ページ)
7. **LENS REMOTE** (レンズコントロールリモコン) 端子 (61ページ)

底面



1. **ZOOM** (ズームモード切り換え) スイッチ (59ページ)
2. 三脚用ネジ穴

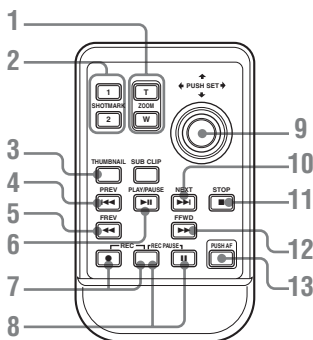
ご注意

穴の径が、雲台のネジの径と合うことを確認してください。ネジの径と合わない、本機が落下したり転倒したりして、けがの原因となることがあります。

3. **バックアップ電池取り付け部** (169ページ)

赤外線リモートコマンダー (付属)

特に説明のないボタンは、本体の対応するボタンと同様に使用できます。



1. **ZOOM T/W** (ズーム) ボタン
2. **SHOTMARK** (ショットマーク) 1、2ボタン (72、121ページ参照)
3. **THUMBNAIL** (サムネイル) ボタン

4. PREV (逆方向クリップジャンプ) ボタン

5. F REV (逆高速再生) ボタン

6. PLAY/PAUSE (再生/一時停止) ボタン

7. REC (記録開始) ボタン

- ボタンと無印のボタン (誤操作防止ボタン) を同時に押すと、記録を開始します。

8. REC PAUSE (記録一時停止) ボタン

- ボタンと無印のボタン (誤操作防止ボタン) を同時に押すと、記録を停止します。

9. PUSH SET (選択/確定) ボタン

本体のSEL/SETボタン(十字スティック)と同等に機能します。

10. NEXT (順方向クリップジャンプ) ボタン

11. STOP (停止) ボタン

12. F FWD (高速再生) ボタン

13. PUSH AF (ワンプッシュオートフォーカス) ボタン

ご注意

SUB CLIPボタンは、本機では使用しません。

- ◆ リモコンで操作するときは、「リモコンを使う」(34ページ) をご覧ください。

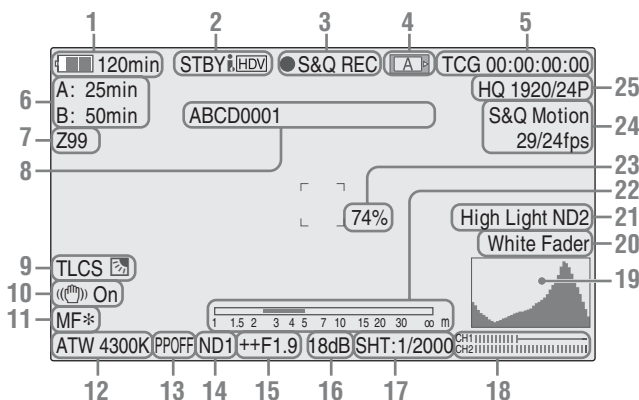
画面表示

カメラモード時の画面表示

本機がカメラモード(撮影のためのモード)になっているときは、DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、LCDモニター/ビューファインダー画面の映像に本機の状態や設定が重ねて表示されます。
もう一度DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、表示が解除されます。
「●REC」などの記録ステータス表示は、DISPLAY/BATT INFOボタンの操作にかかわらず表示されます。

名称の注釈

- [M] : LCD/VF SETメニューのDisplay On/Offで個別に表示/非表示を選択することもできます(142ページ参照)。
- [A] : 対応する機能を割り当てたアサインボタンで個別に表示/非表示を選択することができます(75ページ参照)。
- [D] : 画面に表示されるダイレクトメニューで設定を変更することができます(25ページ参照)。



1. バッテリー残量/DC IN電圧表示 [M] (28ページ参照)

2. i.LINK状態表示 (154ページ参照)

i.LINK接続されている場合のみ、接続機器の状態を表示します。

3. 特殊記録/動作状態表示




●REC	録画中
STBY	録画待機中
●S&Q REC	スロー&クイックモーション録画中
S&Q STBY	スロー&クイックモーション録画待機中

●INT REC	インターバルレック実行中
INT STBY	インターバルレック待機中
●FRM REC	フレームレック実行中
FRM STBY	フレームレック待機中
●CACHE	●が緑のとき: ピクチャーキャッシュレック待機中
	●が赤のとき: ピクチャーキャッシュレック実行中

4. メディア状態表示

[A]	スロットAのメモリーカードが有効
[B]	スロットBのメモリーカードが有効

- 5. タイムデータ表示 **[M]** (66ページ参照)
- 6. メディア残量表示 **[M]** (39ページ参照)
- 7. ズームポジション表示 **[M]** (59ページ参照)
- 8. クリップ名表示 (103ページ参照)
- 9. TLCSモード表示 **[M]** **[D]** (136ページ参照)

	バックライトモード
	標準モード
	スポットライトモード

- 10. 手ぶれ補正モード表示 **[M]** **[D]** (65ページ参照)
- 11. フォーカスモード表示 **[M]** (MF時のみ **[D]**) (62ページ参照)
- 12. ホワイトバランスモードと色温度表示 **[M]** **[D]** (50ページ参照)
- 13. ピクチャープロファイル表示 **[M]** **[D]** (90ページ参照)
- 14. NDフィルター表示 **[M]** (50ページ参照)
- 15. アイリスポジション表示 **[M]** **[D]** (58ページ参照)
- 16. ゲイン表示 **[M]** **[D]** (54ページ参照)
- 17. シャッターモード / シャッタースピード表示 **[M]** **[D]** (56ページ参照)
- 18. オーディオレベルメーター **[M]** (69ページ参照)
- 19. ヒストグラム表示 **[M]** **[A]**
- 20. フェーダー表示 **[M]** (88ページ参照)
- 21. 映像レベル注意表示 **[M]**
映像レベルが高すぎるときや低すぎるときに、適切なNDフィルターの番号を注意表示します。
- 22. 被写界深度バー表示 **[M]** **[A]**
- 23. 輝度レベル表示 **[M]** **[A]**
- 24. 特殊記録モード表示 **[M]** (スロー&クイックモーションスタンバイ時のみ **[D]**)

Frame Rec	フレームレックモード
Interval Rec	インターバルレックモード
S&Q Motion xx/xx fps	スロー&クイックモーションモード

- 25. ビデオフォーマット表示 **[M]** (47ページ参照)

ダイレクトメニュー操作

名称の後ろに **[D]** が付いた項目は、画面に表示されるダイレクトメニューで設定を変更することができます。

ダイレクトメニューは、OTHERSメニューのDirect Menu (146ページ) でAllモード、Partモード、Offを切り換えます。

Partモードに設定されているときは、GAIN、SHUTTER、WHITE BALスイッチの設定によって操作が制限されます。

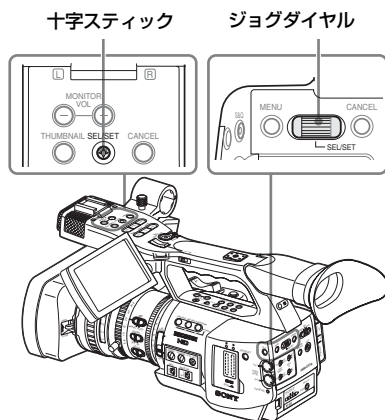
Allモードに設定されているときは、GAIN、SHUTTER、WHITE BALスイッチの操作は無効になります。

ご注意

フルオートモード (45ページ参照) で強制的に自動モードになる機能は、FULL AUTOボタンのインジケーターが点灯しているときはダイレクトメニュー操作はできません。

操作するには

設定には、ハンドル面操作パネルの十字スティックまたは後部操作パネルのジョグダイヤルを使用します。

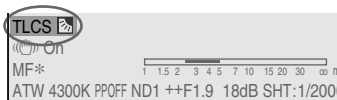


1 十字スティックまたはジョグダイヤルを押す。

ダイレクトメニューがAllまたはPartになっているときは、操作できる項目のう

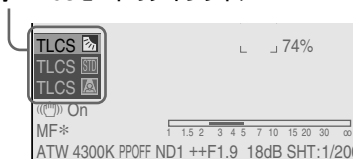
ちのいずれかにカーソルが表示されます。

例：TLCSモード表示



- 2** 十字スティックを倒すかジョグダイヤルを回して操作したい項目にカーソルを合わせ、十字スティックまたはジョグダイヤルを押す。
 選択した項目のダイレクトメニューが表示されます。

例：TLCSモードのダイレクトメニュー



- 3** 十字スティックを倒すかジョグダイヤルを回して設定を選び、十字スティックまたはジョグダイヤルを押す。
 メニューが消えて、新しい設定が表示されます。

電源

バッテリーパック、またはACアダプターを介してAC電源を使用できます。

AC電源を接続した場合は、バッテリーパックが装着されていても、AC電源が優先されます。

安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーおよびAC電源を使用しないでください。

- リチウムイオンバッテリーパック：BP-U30/U60
- ACアダプター（バッテリーチャージャー兼用）：BC-U1/U2

バッテリーパックを使う

リチウムイオンバッテリーパックBP-U30またはBP-U60を装着します。

警告

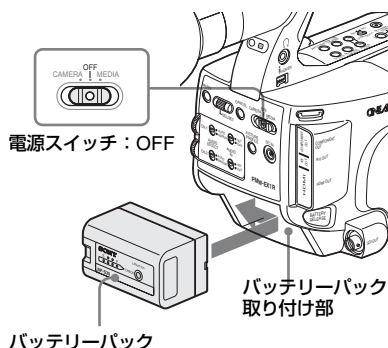
直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

ご注意

- 装着する前に、専用のバッテリーチャージャーBC-U1/U2を使用して充電してください。
- 使用直後でバッテリーパックの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。

取り付ける

バッテリーパックを奥まで差し込んで、左にスライドさせてロックします。

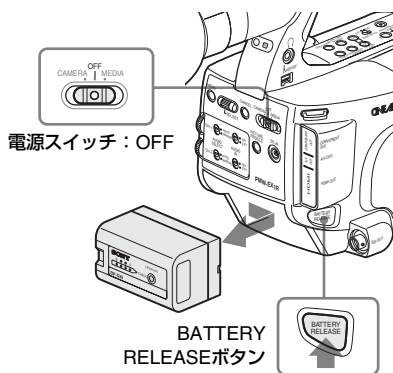


ご注意

本機で使用できないバッテリーパックを装着したときは、電源を入れるとLCDモニター/EVF 画面にエラーメッセージが表示されません。BP-U30 または BP-U60 に交換するか、バッテリーパックを取りはずして、DC IN端子に電源を接続してください。

取りはずす

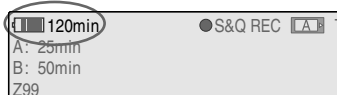
BATTERY RELEASEボタンを押しながらバッテリーパックを右にスライドさせてロックをはずして、引き抜きます。



残量を確認する

使用中に確認する

バッテリーパックを使用して撮影・再生しているときは、LCDモニター/EVF画面にバッテリー残量アイコンと残り時間が表示されます。



アイコン	残量
	100%～91%
	90%～71%
	70%～51%
	50%～31%
	30%～11%
	10%～0%

残り時間は、現在の消費電流のペースで本機を継続使用した場合のバッテリーパックの使用可能時間を計算して分単位で表示されます。

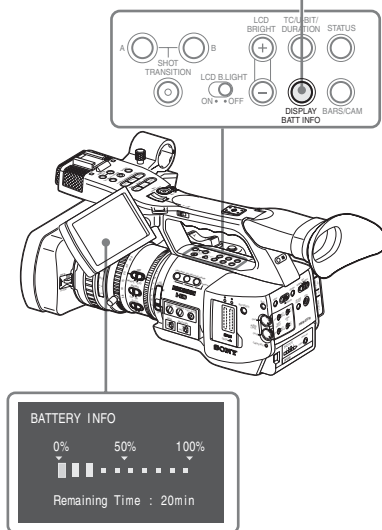
ご注意

バッテリーパックの動作時間は、バッテリーパックの使用頻度や使用時の周囲温度によって変化します。

電源 OFF 状態で確認する

本機の電源を切った状態でも、DISPLAY/BATT INFOボタンを長く押し、LCDモニターにバッテリーパックの情報（BATTERY INFO画面）が表示されます。表示は5秒後に消灯します。

DISPLAY/BATT INFOボタン



バッテリーパックの容量が低下すると

使用中にバッテリーパックの容量が一定の値まで低下すると（Low BATT状態）、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージが画面に表示され、タリーランプの点滅とブザー音で警告します。

さらに容量が減り、動作が継続不可能な状態になると（BATT Empty状態）、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージに切り換わります。

いったん電源スイッチをOFFにして、DC IN端子に電源を接続するか、充電されたバッテリーパックに交換してください。

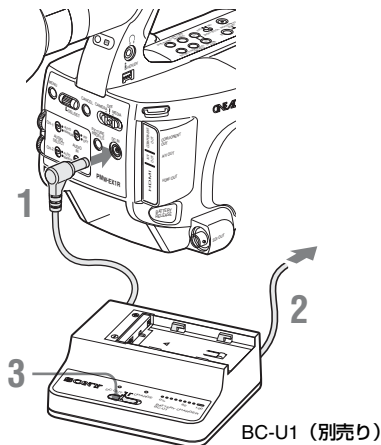
警告残量を変更する

工場出荷時には、Low BATTはフル充電の10%、BATT Emptyは3%に設定されています。これらの設定は、OTHERSメニューのBattery Alarm（146ページ）で変更することもできます。

AC電源を使う（DC IN電源）

本機は BP-U30/U60 用のバッテリーチャージャー BC-U1/U2をACアダプターとして使用することによって、下記のようにAC電源に接続して動作させることができます。

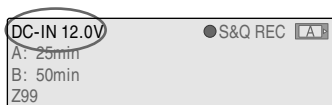
接続例：BC-U1の場合



- 1 BC-U1/U2のDC電源出力ケーブルを本機のDC IN端子に接続する。
- 2 BC-U1/U2に付属の電源コードをBC-U1/U2のAC電源入力端子に接続して、AC電源に接続する。
- 3 BC-U1/U2のモード切り換えスイッチをDC OUTに設定する。

◆BC-U1/U2の取扱説明書も併せてご覧ください。

DC IN端子からの電源で撮影・再生しているときは、LCDモニタービューファインダーの画面に入力電圧が表示されます。



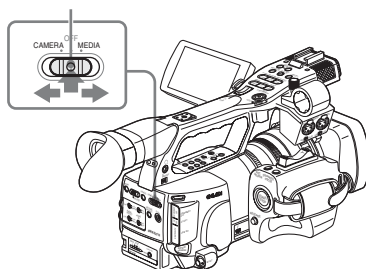
ご注意

BC-U1/U2のモードスイッチをCHARGEに設定しても、本機に装着したバッテリーパックは充電されません。本機から取りはずして、チャージャーに直接マウントして充電してください。

電源を入れる

本機には、撮影するためのカメラモードと再生のためのメディアモードがあり、電源を入れるときに選択します。

電源スイッチ



電源スイッチは、中央の緑色のボタンを押すとロックが外れ、OFFの位置からCAMERAまたはMEDIA側に切り換えることができます。スイッチをCAMERA側にして電源を入れるとカメラモードになり、MEDIA側にして電源を入れるとメディアモードになります。

電源を切る

電源スイッチをOFFの位置にします。（CAMERAまたはMEDIA側からOFFに戻すときは、中央のボタンを押す必要はありません。）

ご注意

- 本機は、電源スイッチをOFFにした状態でも、わずかに待機電力を消費します。本機を長時間使用しないときは、バッテリーパックを取り外してください。
- バッテリーパックやDC IN電源は、電源スイッチをOFFにしてから取りはずしてください。電源スイッチをOFFにしないで、バッテ

リーパックやDC IN電源を取りはずすと、本機やSxSメモリーカードの故障の原因となることがあります。

時計を合わせる

本機を初めて使用するときやバックアップ電池を交換した後に、初めて本機の電源を入れるとLCDモニター/ビューファインダー画面に初回設定画面が表示されます。この画面を使用して内蔵時計の日付/時刻を設定してください。

INITIAL SETTING

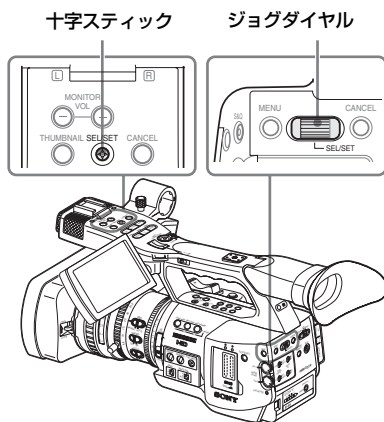
Time Zone: UTC +09:00 TOKYO
Date/Time: 2009/01/01 00:00:00
Finish

Time Zone について

UTC(協定世界時)からの時差を設定します。必要に応じて変更してください。

Date/Timeを設定する

設定には、ハンドル面操作パネルの十字スティックまたは後部操作パネルのジョグダイヤルを使用します。



- 1 十字スティックを倒すかジョグダイヤルを回してカーソルをDate/Timeに合わせ、十字スティックかジョグダイヤルを押す。

カーソルが年の設定エリアに移動し
ます。

INITIAL SETTING

Time Zone: UTC +09:00 TOKYO
Date/Time: 2009/01/01 00:00:00 SET
Finish

- 2 十字スティックを倒すかジョグダイヤルを回して年を設定し、十字スティックかジョグダイヤルを押す。カーソルが月の設定エリアに移動します。
- 3 年と同様に、月、日、時、分、秒の順で設定する。
SETで十字スティックかジョグダイヤルを押すと、カーソルがDate/Timeに戻ります。
- 4 カーソルをFinishに合わせて、十字スティックかジョグダイヤルを押す。

設定画面が消え、時計合わせが完了します。電源スイッチで選択したモード（カメラモードまたはメディアモード）での動作に移行します。

設定画面が消えた後は、OTHERSメニューのTime Zone（144ページ）およびClock Set（144ページ）を使用してTime ZoneおよびDate/Timeの設定を変更することができます。

ご注意

- 動作電源が供給されていない（バッテリーパックもDC IN電源も接続されていない）状態でバックアップ電池が消耗するなどして現在日時の情報が失われた場合は、次に電源を入れると初回設定画面が表示されません。
- 初回設定画面が表示されている状態では、この画面での設定が完了するまで電源を切る以外の操作はできません。

LCDモニターとビューファインダーを調整する

LCDモニターを調整する

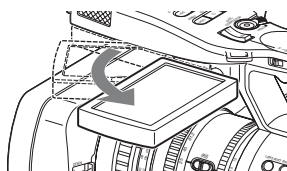
LCDモニターは、使用状況に合わせて角度や明るさ、色の濃さなどを、見やすいように調整することができます。

明るさなどを変えても、記録される映像に影響はありません。

LCDモニターをON/OFFする

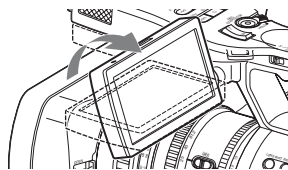
LCDモニターは、開くとON、格納するとOFFになります。

格納状態から水平方向に直角に引き出して開きます。

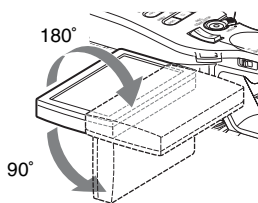


角度を調整する

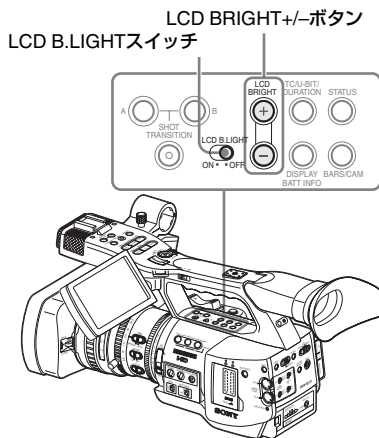
開いた状態からチルト方向に回転させて、見易い角度に調整します。



対面撮影方向（画面が被写体側に向く方向）に90度、逆方向に180度回転します。対面撮影方向に90度反転させると、画像が上下反転（鏡像）、文字表示が上下左右反転します。



バックライトを調整する



バックライトを ON/OFF する

屋外など明るい場所ではバックライトを点灯させなくても映像を見ることができます。LCD B.LIGHTスイッチをOFFにすると、バックライトは消灯します。

バックライトの明るさを調整する


LCD B.LIGHTスイッチをONにしたときは、LCD BRIGHT +/-ボタンでバックライトの明るさを調整できます。

-ボタンを押すと暗く、+ボタンを押すと明るくなります。

調整中は、調整値を示すバックライトレベルバーが画面に表示されます。

色の濃さ、コントラスト、明るさを調整する

LCD/MF SETメニューを使用して調整できます。

MENUボタンを押して本機をメニューモードに切り換え、 でLCD/MF SETメニューを選択し、メニューからLCDを選択します。



LCDのそれぞれの項目を設定してください。

Color: 色の濃さ

Contrast: コントラスト

Brightness: 明るさ

◆メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(129ページ)をご覧ください。

ビューファインダーを調整する

周囲が明るくLCDモニターが見つづらいときなどは、ビューファインダーで映像を確認することができます。

ビューファインダーは、使用状況に合わせて、明るさやコントラストを見やすいように調整することができます。

明るさなどを変えても、録画される映像に影響はありません。



警告

接眼レンズを太陽に向けて放置しないでください。太陽光が接眼レンズを通してビューファインダー内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

本書では、ビューファインダーをこれ以降「EVF」(Electronic Viewfinderの略称)と記載します。

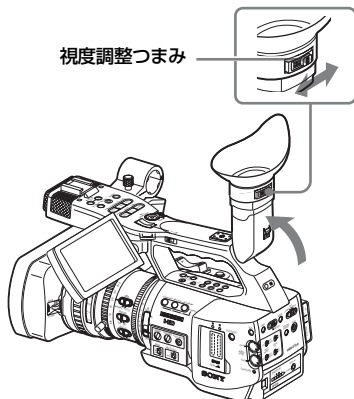
EVFをON/OFFする

工場設定時は、LCDモニターを閉じたときや対面撮影方向(画面が被写体側に向く方向)に向けたときに、EVFがONになるように設定されています。

LCD/MF SETメニューのEVF (140ページ) でPowerの設定をAutoからOnに設定することによって、LCDモニターの開閉や角度に関係なく常時ONになるように変更することもできます。

視度を調整する

EVF の視度調整つまみを操作すると、ユーザーの視力に合わせてEVFの画像がはっきり見えるように調整することができます。



バックライトを調整する

EVFのバックライトの明るさをHighからLowに切り換えることができます。

LCD/MF SETメニューからEVFを選択して、Backlightを設定してください。

LCD/MF SET	
←	→
LCD	Backlight : High
EVF	Mode : Color
Peaking	Contrast : ±0
Marker	Brightness : ±0
Zebra	Power : Auto
Display On/Off	

カラー/モノクロを切り換える

EVFの画面は、カラー表示とモノクロ表示を切り換えることができます。

LCD/MF SETメニューからEVFを選択して、Modeを設定してください。

モノクロの方が被写体の確認、フォーカス合わせがしやすい場合はB&Wに設定してください。

アサインボタン(75ページ)にEVF Modeを割り当てると、ボタン操作でEVFのカラー/モノクロの切り換えが可能になります。

コントラスト、明るさを調整する

LCD/MF SETメニューでEVFを選択し、それぞれの項目を設定してください。

Contrast: コントラスト

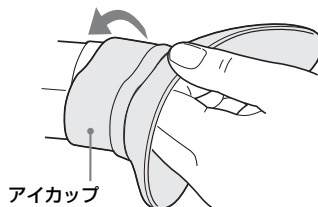
Brightness: 明るさ

◆メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(129ページ)をご覧ください。

アイカップ (付属) を付け直す

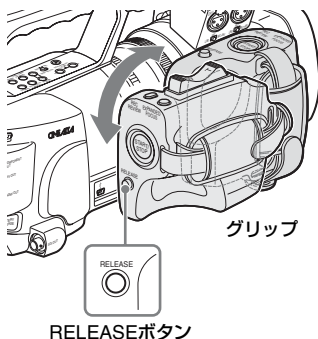
工場出荷時に大型アイカップがEVFに取り付けられています。使用しないときは、取りはずしてください。

再度取り付けるときは、アイカップを少し伸ばしてEVFにはめ、縁を水平の溝に合わせてはめ込んでください。



グリップを調整する

グリップは約120度回転します。任意の位置で撮影が可能です。
RELEASEボタンを押しながら、ゆっくり回転させてください。

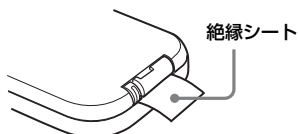


15度ごとにクリック位置があります。
クリックした位置でRELEASEボタンを放して、グリップをロックしてください。

リモコンを使う

初めて使用するときは

付属の赤外線リモートコマンダー(リモコン)を初めて使用するときは、電池ホルダーから絶縁シートを引き抜いてください。




ホルダーには工場出荷時にリチウム電池CR2025がセットされています。

リモコンで本機を操作するときは

リモコンを使用するときは、本体の電源を入れてから、リモコン操作機能を有効にしてください。

リモコン操作機能の有効/無効の切り換えには、セットアップメニューまたはアサインابلボタンを使用します。

メニューで有効にするには

MENUボタンを押して本機をメニューモードに切り換え、でOTHERSメニューを選択し、IR RemoteをOnにします。



- ◆メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(129ページ)をご覧ください。

アサインابلボタンを使用するには

アサインابلボタンのいずれかに、IR Remoteを割り当てると、ボタンを押して有効/無効を切り換えることができます。

- ◆機能を割り当てる方法については、「アサインボタン機能を変更する」(75ページ)をご覧ください。

ご注意

誤動作を防ぐため、本体の電源を切るとリモコン操作が自動的に無効に戻るよう設定されています。電源を入れるごとに有効に切り換えて使用してください。

電池の交換時期

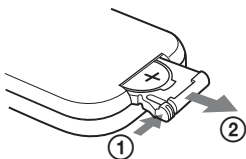
リチウム電池の能力が低下すると、ボタンを押しても操作できないことがあります。リチウム電池の寿命は通常約1年ですが、使用頻度によって変わります。

リモコンのボタンを押しても本機がまったく動作しない場合は、電池を交換し、動作を確認してください。

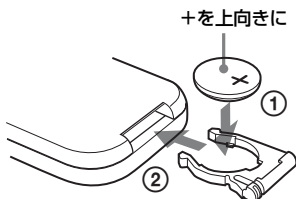
リモコンの電池を交換する

市販のリチウム電池 CR2025 を使用します。CR2025 以外の電池は使用しないでください。

- ① ロックレバーを押したまま、② 電池ホルダーを引き出し、電池を取りはずす。



- ② +を上向きにして新しい電池を入れ①、カチッと音がするまで電池ホルダーを押し込む②。



警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

ご注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。

必ず指定の電池に交換してください。

使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

SxSメモリーカードの取り扱い

本機では、撮影した映像・音声を、カードスロット内のSxSメモリーカード（別売り）に記録します。

SxSメモリーカードについて

本機で使用可能なSxSメモリーカード

本機では、下記のソニー製SxS PROまたはSxS-1メモリーカードをご使用ください。SxS PROおよびSxS-1以外のメモリーカードをご使用の場合、動作の保証はいたしかねます。

SxS PRO

- SBP-16（16GB）
- SBP-32（32GB）

SxS-1

- SBS-32G1A（32GB）
- SBS-64G1A（64GB）

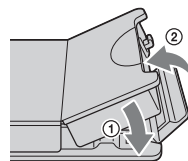
これらカードは、ExpressCard規格に準拠したメモリーカードです。

- SxS、SxS PRO、およびSxS-1はソニー株式会社の商標です
- ExpressCardワードマークとロゴは、Personal Computer Memory Card International Association (PCMCIA) の所有であり、ソニーへライセンスされています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属します。

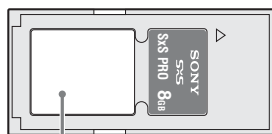
SxSメモリーカード使用上のご注意

- 下記の場合、記録したデータが破壊（消滅）されることがあります。
 - 読み込み中、書き込み中、またはフォーマット中にSxSメモリーカードを抜いたり、振動、衝撃を与えたり、機器の電源を切った場合
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合

- 以下のような場所でのご使用や保存はしないでください。
 - 使用条件範囲以外の場所
 - 炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中／直射日光のあたる場所／熱器具の近くなど
 - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- ご使用の場合は、正しい挿入方向をご確認ください。
- SxSメモリーカードの保管時および携帯時は、専用ケースに入れて確実にロックしてください。



- SxSメモリーカードに保存しているデータは、万一の故障によるデータの損失に備えて、バックアップを取っておいてください。SxSメモリーカードに保存したデータの損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ラベルシートの貼り付け部以外には専用ラベルシートを貼らないでください。専用ラベルシートを貼るときは、所定のラベルシート貼り付け部に、はみ出さないように貼ってください。

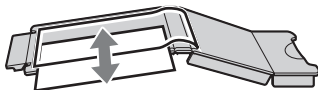


専用ラベルシート貼り付け部

- 本機で使用するSxSメモリーカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。他の機器でフォーマットした場合は、異なるフォーマットとみなされ、本機で再度フォーマットする必要があります。
- 本機の機能による「削除」では、カード内のデータは完全には消去されません。譲渡・廃棄の際は、市販のデータ消去専用ソフトを使用するか、カードを物理的に破壊する

などお客様の責任においてデータの処理をしてください。

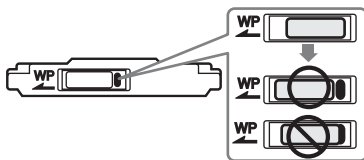
- メディア残量が少ないと、クリップを操作できないときがあります。そのような場合は、PC で不要なファイルを削除してから再度操作を行ってください。
- 専用ケースカードの取り出し・再挿入の際は、専用ケースが完全に開いた状態で行ってください。



誤消去を防止する

SxS メモリーカードのライトプロテクトスイッチを「WP」側にすると、記録や編集、消去ができなくなります。

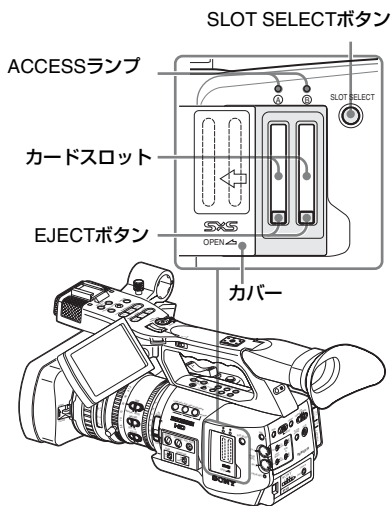
ライトプロテクトスイッチ



ご注意

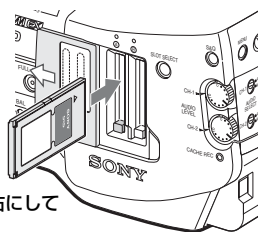
本機に挿入したままで、SxSメモリーカードのライトプロテクトスイッチを操作しないでください。本機から取り出してからスイッチを切り換えてください。

SxSメモリーカードを入れる / 取り出す



SxSメモリーカードを入れる

- 1 カバーを左にスライドさせて開ける。
- 2 SxSメモリーカードをカードスロットに差し込む。



ラベルを右にして差し込む。

ACCESSランプが赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。

- 3 カバーを閉める。

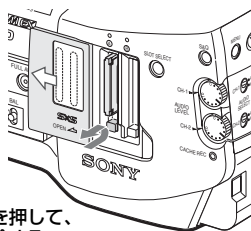
ACCESS ランプによる状態表示

A と B のカードスロットの状態を示すために、それぞれに ACCESS ランプがあります。

ランプ	スロットの状態
赤で点灯	装着されているSxSメモリーカードにアクセス中（データの書き込み/読み出し中）
緑で点灯	スタンバイ状態（装着されているSxSメモリーカードを使用して記録・再生を行います。）
消灯	<ul style="list-style-type: none"> SxSメモリーカードが装着されていない。 使用できないカードが装着されている。 SxSメモリーカードは装着されているが、別のスロットのカードが選択されている。

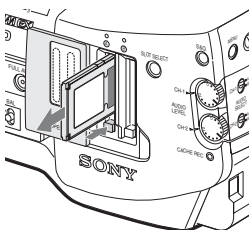
SxSメモリーカードを取り出す

- 1 カバーを開け、EJECTボタンを押してロックを解除してボタンを引き出す。



1 度ボタンを押して、ロックを解除する。

- 2 もう一度EJECTボタンを押し込んでカードを抜く。



ご注意

- メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ずACCESSランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。
- 電源スイッチを MEDIA（メディアモード）側にして本機の電源を ON にしたときは、LCDモニター/EVFiにSxSメモリーカードの認識作業中を示す画面が表示されます。



使用可能なメモリーカードが入っている場合は、自動的にサムネイル画面（106ページ）に切り換わります。使用可能なメモリーカードが挿入されていない場合は、この画面が表示されたままになります。

使用するSxSメモリーカードを切り換える

カードスロットAとBの両方にSxSメモリーカードが装着されているときは、SLOT SELECTボタンを押して使用するカードを切り換えることができます。記録実行中にカードがフルになったときは、自動的にもう1枚のカードに切り替わります。

ご注意

再生中は、SLOT SELECTボタンは無効になります。ボタンを押しても切り替わりません。サムネイル画面（106ページ）が表示されている場合は、ボタン操作が有効です。

SxSメモリーカードをフォーマット（初期化）する

フォーマットされていないSxSメモリーカード、または別の仕様でフォーマットされたSxSメモリーカードを装着すると、メッセー

ジ「ファイルシステムが異なります」がLCDモニター/EVF画面に表示されます。下記の「フォーマット（初期化）を実行する」に従ってフォーマットしてください。

メディアフォーマットについてご注意ください

本機でフォーマットしたSxSメモリーカード以外は使用できません。

フォーマット（初期化）を実行する

OTHERSメニューのFormat Media（149ページ）で、Media(A)（スロットA）かMedia(B)（スロット B）かを指定し、Executeを選択する。確認メッセージが表示されたら、もう一度Executeを選択する。

フォーマットが始まります。実行中メッセージと進捗状況（%）が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

フォーマット実行中の記録・再生

フォーマット中でも、もう一方のカードスロットに装着したSxSメモリーカードを使用して記録・再生が可能です。

フォーマットできなかったときは

プロテクトされたSxSメモリーカードや本機で使用できないメモリーカードはフォーマットされません。

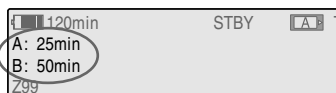
警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、使用できる SxS メモリーカードに交換してください。

ご注意

- メモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。
- 本機で使用する SxS メモリーカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。他の機器でフォーマットした場合は、異なるフォーマットとみなされ、本機で再度フォーマットする必要があります。


残りの記録可能時間を確認する

カメラモードでは、LCDモニター/EVF画面の記録メディア残量表示部で、各スロットに装着したSxSメモリーカードの残量を確認することができます。



現在設定されているビデオフォーマット（記録ビットレート）で撮影した場合に記録可能な時間を、それぞれのスロット内のメディアの残量から計算して分単位で表示します。バッテリー/メディアステータス画面（127ページ）を表示させると、残量をメーター形式で確認することもできます。

ご注意

メモリーカードがプロテクトされている場合は、 マークが表示されます。

SxSメモリーカードの交換時期

- 記録中に2枚のメモリーカードの残記録可能時間の合計が5分をきると、警告メッセージ「メディア残量がわずかです」（Media Near Full）が表示され、タリーランプの点滅とブザー音で警告します。空きのあるメディアに交換してください。
- 記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、メッセージが「メディア残量がありません」（Media Full）に変わり記録が停止します。

ご注意

1枚のSxSメモリーカードに約600個までのクリップを記録できます。記録できるクリップ数の上限に達すると、残時間表示が「0」になり、メッセージ「メディア残量がありません」（Media Full）が表示されます。

SxSメモリーカードを修復する

何らかの原因でメモリーカード内のデータに異常が発生した場合は、メモリーカードの修復が必要になります。

修復が必要なSxSメモリーカードを挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがLCDモニター /EVF画面に表示されます。

修復を実行する

ジョグダイヤルを回すか十字スティックを倒して「実行」(Execute)を選択し、ジョグダイヤルまたは十字スティックを押す。

修復が始まります。

実行中メッセージと進捗状況(%)が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。

修復が終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

修復できなかったときは

- プロテクトされた SxS メモリーカードや、エラーが発生したSxSメモリーカードは修復できません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、プロテクトを解除するか、別のSxSメモリーカードに交換してください。
- エラーが発生した SxS メモリーカードは、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。
- 一部のクリップのみが修復できない場合もあります。修復できたクリップは再生可能になります。
- 修復を実行しても繰り返し「一部修復ができませんでした」とメッセージが表示されるようになったSxSメモリーカードは、以下の手順で正常に戻せる場合があります。

1 本機のコピー機能(116ページ)または専用アプリケーションソフトウェア(153ページ)を用いて、必要なクリップを他のSxSメモリーカードへコピーする。

2 問題のあるSxSメモリーカードを本機でフォーマットする。

- 3 必要なクリップをフォーマットしたSxSメモリーカードにコピーして戻す。

修復中の記録・再生

修復中でも、もう一方のカードスロットに装着したSxSメモリーカードを使用して、記録・再生が可能です。

ご注意

本機で記録されたメディアは、本機で修復してください。

本機以外で記録されたメディアや、本機と同一機種であってもバージョンが異なる機器で記録されたメディアは、本機では修復できない場合があります。

外部ハードディスクを使う

本機では、別売のプロフェッショナルハードディスクユニット PHU-120R を使用できません。

ご注意

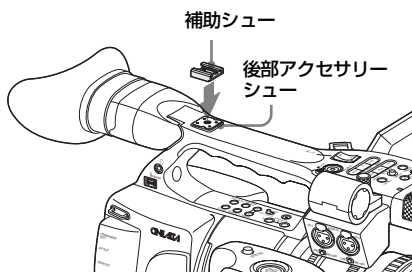
- PHU-120Rを使って高速再生（111ページ）を行う場合、正しく動作しないことがあります。
- PHU-120R 使用時は、スロー&クイックモーション撮影（81ページ）のスローモーション撮影はできません。

PHU-120Rを取り付ける/取りはずす

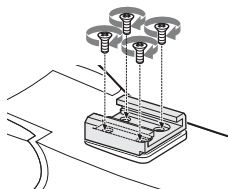
PHU-120R の接続ケーブルを SxS メモリーカードスロットに接続することによって、SxSメモリーカード使用時と同様に記録・再生が行えます。

ハードディスクユニット本体を本機にマウントする

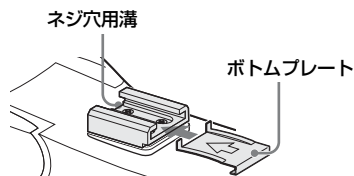
本機に付属のコールドシューキット（補助シュー、ネジ×4、ボトムプレート）を使用すると、ハードディスクユニット本体を本機の後部アクセサリースューにマウントして使用できます。



- 1 補助シューを、ネジ4本で後部アクセサリースューに固定する。



- 2 ボトムプレート（板バネ式）を補助シューに差し込む。



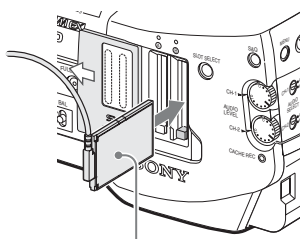
ボトムプレートは、補助シューのネジ穴用の2本の溝が切れていない側から差し込みます。図と反対に溝が切れている側を手前にして補助シューを取り付けた場合は、ボトムプレートを図と反対方向から差し込んでください。

- 3 PHU-120R本体にシューアダプター（PHU-120Rに付属）を取り付けて、本機の補助シューにはめ、シューアダプターのロックレバーでロックする。

◆詳しくは、PHU-120Rの取扱説明書をご覧ください。

PHU接続ケーブルを接続する

- 1 本機の電源スイッチを **CAMERA** 側にする。
- 2 カードスロット部のカバーを開け、PHU接続ケーブルをカードスロットに差し込む。



ケーブルが上になるように差し込む。

3 PHU-120Rの電源を入れる。

PHU-120R 本体の POWER インジケータが緑色で点灯します。

続いて本機のACCESSランプが赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。

ご注意

- PHU-120R を取り付けた状態では、カードスロット部のカバーは閉まりません。
- 撮影中に物にひっかからないように、ケーブルを束ねて使用してください。

PHU 接続ケーブルを取りはずすには

SxSメモリーカードを取り出すときと同様に操作してください。

PHU-120Rをフォーマット（初期化）する

フォーマットされていないPHU-120R、または別の仕様でフォーマットされたPHU-120Rを装着すると、メッセージ「ファイルシステムが異なります」がLCDモニター/EVF画面に表示されます。

下記の「フォーマット（初期化）を実行する」に従ってフォーマットしてください。

フォーマット（初期化）を実行する

OTHERSメニューの**Format Media**（149ページ）で、**Media(A)**（スロットA）か**Media(B)**（スロット B）かを指定し、**Execute**を選択する。

フォーマットが始まります。

実行中メッセージと進捗状況（%）が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

ご注意

- 本機でのPHU-120Rに対するフォーマットはクイックフォーマットです。管理情報のみの消去になりますので、記録データを完全に消去したい場合は、PHU-120RをPCに接続してフルフォーマットを実施してください。
- 本機で使用するPHU-120Rは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。他の機器でフォーマットした場合は、異なるフォーマットとみなされ、本機で再度フォーマットする必要があります。

残りの記録可能時間を確認する

カメラモードでは、ビューファインダー画面の記録メディア残量表示部で、各スロットに装着したPHU-120Rの残量を確認することができます。



現在設定されているビデオフォーマット（記録ビットレート）で撮影した場合に記録可能な時間を、ハードディスクの残量から計算して分単位で表示します。

バッテリー / メディアステータス画面（127ページ）を表示させると、残量をメーター形式で確認することもできます。

PHU-120Rを修復する

何らかの原因でPHU-120R内のデータに異常が発生した場合は、ハードディスクの修復が必要になります。

修復が必要なPHU-120Rを挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがLCDモニター/EVF画面に表示されます。

修復を実行する

ジョグダイヤルを回すか十字スティックを倒して「実行」(Execute)を選択し、ジョグダイヤルまたは十字スティックを押す。

修復が始まります。

実行中メッセージと進捗状況(%)が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。

修復が終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

修復できなかったときは

- エラーが発生した PHU-120R は、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。
- 一部のクリップのみが修復できない場合があります。修復できたクリップは再生可能になります。

メディアアダプターを使う

本機では、別売りのメディアアダプター MEAD-MS01またはMEAD-SD01を使用することによって、“メモリースティック”(MEAD-MS01使用時)またはSDHCカード(MEAD-SD01使用時)をSxSメモリーカードスロットに入れて、SxSメモリーカードと同様に記録・再生が行えます。

使用可能な“メモリースティック”

“メモリースティック PRO-HG デュオ” HXA シリーズ

使用可能な SDHC カード

SDHCカード (SDスピードクラス: Class10)

- ◆ メディアアダプター MEAD-MS01/SD01の使いかたについて詳しくは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- “メモリースティック”またはSDHCカードを使って高速再生(111ページ)を行う場合、正しく動作しないことがあります。
- “メモリースティック”またはSDHCカード使用時は、スロー&クイックモーション撮影(81ページ)のスローモーション撮影はできません。

フォーマット(初期化)する

本機で初めて“メモリースティック”またはSDHCカードを使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用する“メモリースティック”またはSDHCカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。

“メモリースティック”またはSDHCカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。本機が対応していないフォーマットで初期化された“メモリースティック”またはSDHCカードを装着すると、メッセージ「ファイル

システムが異なります」がLCDモニター/EVF画面に表示されます。
下記の「フォーマット（初期化）を実行する」に従ってフォーマットしてください。

フォーマット（初期化）を実行する

OTHERSメニューのFormat Media（149ページ）で、Media(A)（スロットA）かMedia(B)（スロット B）かを指定し、Executeを選択する。

フォーマットが始まります。
実行中メッセージと進捗状況（%）が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。
フォーマットが終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

ご注意

“メモリースティック”またはSDHCカードをフォーマットすると、プロテクトされた画像も含めて、すべてのデータが消去され、復元できません。

本機とパソコンの接続

XDCAM EXシリーズで記録した“メモリースティック”またはSDHCカードを本機側のスロットに装着して、本機とパソコンを USB ケーブルで接続して使用してください。

本機でフォーマットした“メモリースティック”を“メモリースティック”スロットを持つ他の機器で使用するには

1. “メモリースティック”に記録されたデータは、あらかじめバックアップを取ってください。
2. バックアップが終わったら、お使いになる機器で“メモリースティック”をフォーマットしなおして使用してください。



◆フォーマットの方法について詳しくは、お使いになる機器の取扱説明書をご覧ください。

本機でフォーマットした SDHC カードを SDHC カードスロットを持つ他の機器で使用するには

1. SDHCカードに記録されたデータは、あらかじめバックアップを取ってください。

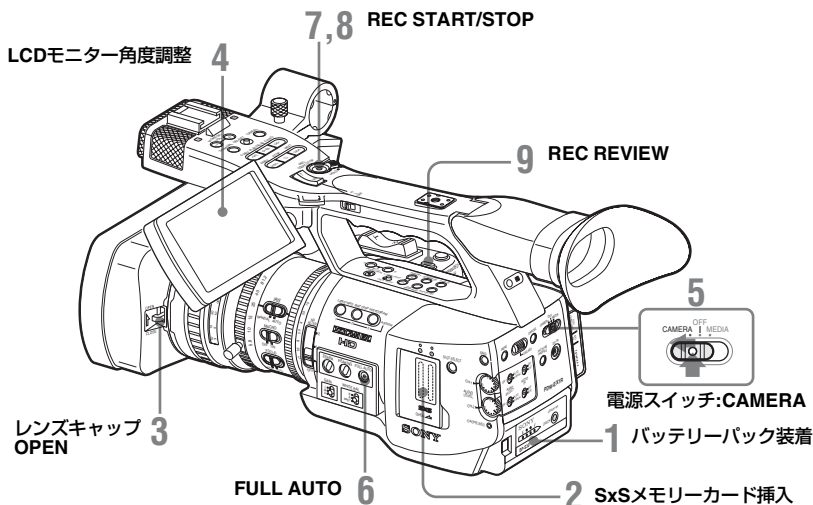
2. バックアップが終わったら、お使いになる機器でSDHCカードをフォーマットしなおして使用してください。

◆フォーマットの方法について詳しくは、お使いになる機器の取扱説明書をご覧ください。

- Memory Stick (“メモリースティック”) および  MEMORY STICK は、ソニー株式会社の商標です。
- Memory Stick PRO-HG Duo (“メモリースティック PRO-HG デュオ”) および  MEMORY STICK PRO-HG Duo は、ソニー株式会社の商標です。

基本操作手順

基本的な撮影は次の手順で行います。



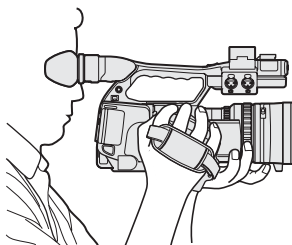
準備する

- 1 充電したバッテリーパックを取り付ける。
- 2 SxSメモリーカードを入れる。
2枚入れておくと、1枚目がフルになった時点で自動的に2枚目に切り換わります。
- 3 レンズキャップ開閉レバーを上げて、レンズフードに付いているレンズキャップを開ける。
- 4 LCDモニターを開き見やすい角度に調整する。
EVFを使うときは、LCDモニターを収納して、EVFを見やすい角度に調整します。
- 5 電源スイッチを**CAMERA**側にする。
本機の電源が入り、カメラモードになります。

リモコンを使用するときは、リモコン操作モードを有効にしてください（34ページ）。

ご注意

グリップを持って撮影するときは、左手で本機の底面を支えて操作してください。



撮影する（フルオートモード）

- 6 **FULL AUTO**ボタンを押して、ボタンのインジケーターを点灯させる。

フルオートモードが ON になり、TLCS (136ページ参照) が働いて、オートアイリス、AGC、オートシャッター、ATW (自動追尾ホワイトバランス) が ON になり、明るさとホワイトバランスが常に自動調整されます。

それぞれをマニュアルで調整したいときは、フルオートモードを OFF にしてください。

- ◆「アイリスを調整する」(58ページ)
- ◆「ゲインを設定する」(54ページ)
- ◆「電子シャッターを設定する」(56ページ)
- ◆「ホワイトバランスを調整する」(50ページ)

ご注意

フルオートモードを ON にしても、AF (オートフォーカス) は有効になりません。

- ◆フォーカスの自動調整については、64 ページをご覧ください。

7 REC START/STOP ボタンを押す。

ハンドルの操作パネルの REC START/STOP ボタン、グリップの REC START/STOP ボタンのどちらでも記録を開始できます。

(赤外線リモコン使用時は、REC ボタンを誤操作防止ボタンと同時に押してください。)

前後のタリーランプが点灯して、記録が始まります。

8 記録を終了するときは、もう一度 REC START/STOP ボタンを押す。

(赤外線リモコン使用時は、REC PAUSE ボタンを誤操作防止ボタンと同時に押してください。)

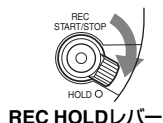
記録が停止し、本機は STBY (記録待機) モードになります。

ご注意

前の記録データの書き込みが完了していない状態で REC START/STOP ボタンを押すと、メッセージ「操作できません」が表示され、次の記録が開始されないことがあります。

誤操作を防止するには

ハンドルの REC START/STOP ボタンには、誤操作防止用の REC HOLD レバーがあります。ハンドルの REC START/STOP ボタンを使用しない場合は、誤ってボタンが押されても記録が開始/停止しないように、レバーを HOLD 側にセットしておくことをお勧めします。



ロックを解除するときは、レバーを元の位置に戻してください。

直前に撮影した映像を確認する (レックレビュー)

9 REC REVIEW ボタンを押す。

レックレビュー機能 (74ページ) が働いて、直前に記録された画像が LCD モニター /EVF 画面で再生されます。クリップの最後まで再生されると、STBY (記録待機) モードに戻ります。

クリップを削除するには

Last Clip DEL 機能を使用すると、直前に記録したクリップを削除することができます。

- ◆「直前に記録したクリップを削除する」(99ページ)

SxS メモリーカードに記録された全クリップを削除する場合は All Clips DEL 機能を使用します (99ページ参照)。

クリップを指定して削除する場合は、メディアモードに切り換えて操作してください (118ページ参照)。

クリップ (記録データ)

記録を停止すると、開始から停止までの画像・音声と付随データが、ひとつの「クリップ」として SxS メモリーカードに記録されます。

クリップ名について

本機で記録されるクリップには、OTHERS メニューの Clip 内、Auto Naming (148ページ) で選択した方法で、自動的にクリップ名がつけられます。

初期設定では、Auto Naming が Plan に設定されています。プランニングメタデータが読み込まれていれば、プランニングメタデータに設定されているクリップ名がつけられます。

Auto NamingをTitleに変更すると、「4～46文字の英数字」と「4桁の番号」からなるクリップ名がつけられます。

例：ABCD0001

クリップ名の「4～46文字の英数字」部分にはOTHERSメニューのClipで記録開始前に任意の文字列を設定することも可能です。(記録後に変更することはできません。)
「4桁の番号」部分は、記録順に自動的にカウントアップされます。

記録されるクリップについて

XDCAM EXシリーズでは、HDクリップのファイルサイズの上限は4GB、SDクリップのファイルサイズの上限は2GBです。

長時間の連続記録を行うと、ファイルサイズの関係で、記録された素材が複数のファイルに分割されることがあります(最大分割数は99)。複数のファイルに分割された場合でも、本機上ではひとつのクリップとして扱います。

クリップの記録時間によっては、AとBのカードスロットに挿入した2枚のSxSメモリーカードにまたがって記録することができます。

コンピューターを使用してHDDなどにコピーする場合は、連続性を保つため、付属のCD-ROMに収録されている専用のアプリケーションソフトウェアを使用することをお勧めします。

ご注意

Explorer (Windows環境) やFinder (MAC環境) を使用してコピーなど行った場合は記録素材の連続性、関連性を保持できなくなる場合がありますので、ご注意ください。

クリップの最大時間

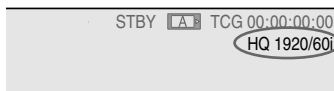
HDモードでのクリップの最大時間は24時間です。24時間を超えると自動的にクリップが分割されます。

ビデオフォーマットを選ぶ

本機では、記録・再生のモードおよびビデオフォーマットを、OTHERSメニューのHD/SD ModeおよびVideo Formatで切り換えて使用することができます。

工場出荷時は、HDモード、HQ 1920/60iに設定されています。

DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、選択されているフォーマットが画面に表示されます。



選択できるフォーマット

選択できるフォーマットは、HDモード/SDモードの設定と、使用地域 (NTSC Area/PAL Area) の設定によって異なります。

◆使用地域 (NTSC AreaまたはPAL Area) の切り換えは、OTHERSメニューのCountry (146ページ) で行います。

HDモード

HDモードでのビデオフォーマットは、記録ビットレート(HQ/SP)と水平画素数、記録フレームレート、撮像時のスキャン方式(i/P)の組み合わせで表示・選択します。

フレームレートは、小数点以下を四捨五入し2桁の整数で表示されます。

HQのフォーマットを選択したときは、ビットレート35 Mbps VBRで記録を行います。SPのフォーマットを選択したときは、HDV互換のビットレート25 Mbps CBRで記録を行います。

NTSC Area 選択時

フォーマット	本機での表示
HQ 1920×1080 59.94 インターレース	HQ 1920/60i
HQ 1440×1080 59.94 インターレース	HQ 1440/60i
SP 1440×1080 59.94 インターレース	SP 1440/60i
HQ 1920×1080 29.97 プログレッシブ	HQ 1920/30P
HQ 1440×1080 29.97 プログレッシブ	HQ 1440/30P
HQ 1920×1080 23.98 プログレッシブ	HQ 1920/24P
HQ 1440×1080 23.98 プログレッシブ	HQ 1440/24P
SP 1440×1080 23.98 プログレッシブ	SP 1440/24P
HQ 1280×720 59.94 プログレッシブ	HQ 1280/60P
HQ 1280×720 29.97 プログレッシブ	HQ 1280/30P
HQ 1280×720 23.98 プログレッシブ	HQ 1280/24P

PAL Area 選択時

フォーマット	本機での表示
HQ 1920×1080 50 インターレース	HQ 1920/50i
HQ 1440×1080 50 インターレース	HQ 1440/50i
SP 1440×1080 50 インターレース	SP 1440/50i
HQ 1920×1080 25 プログレッシブ	HQ 1920/25P
HQ 1440×1080 25 プログレッシブ	HQ 1440/25P
HQ 1280×720 50 プログレッシブ	HQ 1280/50P
HQ 1280×720 25 プログレッシブ	HQ 1280/25P

SDモード (DVCAMモード)

SDモードでのビデオフォーマットは、記録フレームレート、撮像時のスキャン方式(i/P)、およびアスペクト (SQ/EC) の組み合わせで表示・選択します。

フレームレートは、小数点以下を四捨五入し2桁の整数で表示されます。

SDモードを選択したときは、ビットレート25 Mbps CBRで記録を行います。

NTSC Area 選択時

フォーマット	本機での表示
720×480 59.94 インターレース スキーズ	DVCAM60i SQ
720×480 59.94 インターレース エッジクロップ	DVCAM60i EC
720×480 29.97 プログレッシブ スキーズ	DVCAM30P SQ
720×480 29.97 プログレッシブ エッジクロップ	DVCAM30P EC

PAL Area 選択時

フォーマット	本機での表示
720×576 50 インターレース スキーズ	DVCAM50i SQ
720×576 50 インターレース エッジクロップ	DVCAM50i EC
720×576 25 プログレッシブ スキーズ	DVCAM25P SQ
720×576 25 プログレッシブ エッジクロップ	DVCAM25P EC


HD/SDを切り換える

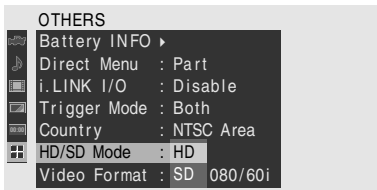
HD/SDの切り換えには、OTHERSメニューのHD/SD Modeを使用します。

メニューの設定を変更すると、本機は自動的に再起動し、切り換えを実行します。

ご注意

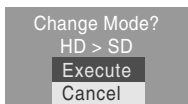
記録・再生中にHD/SDを切り換えることはできません。

- MENU** ボタンを押して本機をメニューモードに切り換え、でOTHERSメニューを表示させ、**HD/SD Mode**を選択する。



2 モードを選択する。

確認メッセージが表示されます。



3 Execute (実行) を選ぶ。

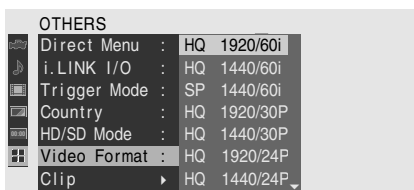
本機の電源が切れ、自動的に再起動し、メニュー設定が有効になります。

- ◆メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(129ページ)をご覧ください。

Video Format、Output Select、i.LINK I/Oの各メニューについては、HD/SDそれぞれの設定状態が保存されていますので、HD/SDを切り換えると、これらのメニュー項目は自動的に対応する設定に切り替ります。

フォーマットを変更する

MENUボタンを押して本機をメニューモードに切り換え、でOTHERSメニューを表示させ、Video Formatを選択します。



- ◆メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(129ページ)をご覧ください。

COMPONENT OUT、SDI OUT、A/V OUT、およびHDMI OUT端子からの信号も、このメ

ニューで選択されたフォーマットに従って出力されます。

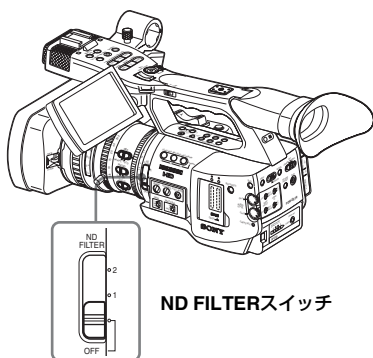
- ◆詳しくは、「出力のフォーマットと制限」(160ページ)をご覧ください。

SP 1440/24Pモード時の記録方式

SP 1440×1080 23.98プログレッシブのビデオフォーマット(本機での表示はSP 1440/24P)で撮影を行った場合、SxSメモリーカードへの記録は2-3プルダウンした59.94のインターレースモード(本機での表示は SP 1440/60i)で行われます。

NDフィルターを切り換える

本機では、レンズの絞りを適切な範囲に保つためNDフィルターを使用できます。被写体の明るさに応じてND FILTERスイッチを切り換えてください。

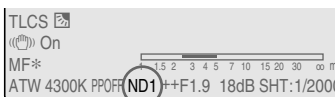


2: 1/64ND

1: 1/8ND

OFF: CLEAR(NDなし)

DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、選択されているフィルター番号が画面に表示されます。



ご注意

ND FILTERスイッチがOFFの位置になっているときは、ボタンを押しても何も表示されません。

ホワイトバランスを調整する

照明の色温度に応じてホワイトバランスを調整します。

撮影の状況に応じて調整モードを選択できます。

プリセットモード

色温度をプリセット値(工場出荷時: 3200K)に調整するモードです。ホワイトバランスを調整する時間がないときや、ピクチャープロファイルで設定したホワイトバランスに固定して撮影したい場合に使用します。

メモリー A/メモリー Bモード

- メモリー A またはメモリー B に保存されたホワイトバランスに調整します。
- WHT BALボタンを押すと、ホワイトバランスの自動調整を実行し、調整値をメモリー A またはメモリー B に保存し直します。

ATW(自動追尾ホワイトバランス)モード

常に適切なホワイトバランスになるように自動的に調整するモードです。

光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスを自動的に調整し直します。

CAMERA SETメニューのATW Speed (136ページ)で、5段階の調整速度を選択できます。

ATW 値をホールドする

アサイナブルボタンにATW Hold機能を割り当てておくと、このボタンを押すことによって、ATWモードでも一時的にATWを停止させ、ホワイトバランスを固定することができます。

- ◆ アサイナブルボタンについて詳しくは、「アサイナブルボタンの機能を変更する」(75ページ)をご覧ください。

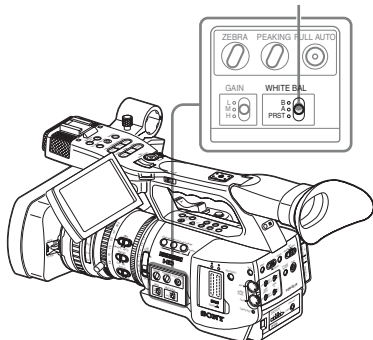
調整モードを選択する

スイッチで切り換える

WHITE BALスイッチで、プリセットモード、メモリー Aモード、ATWモード（メモリー Bモード）を選択できます。

WHITE BALスイッチのBの位置には、工場出荷時にATWモードが割り当てられています。CAMERA SETメニューのWhite Switch (136ページ) で、メモリー Bモードを選択するように変更することができます。

WHITE BALスイッチ



B: ATWモードまたはメモリー Bモード

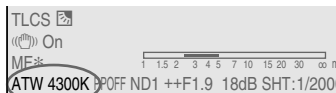
A: メモリー Aモード

PRST: プリセットモード

- フルオートモード (45ページ) をONにすると、強制的にATWモードになります。
- アサインボタンに、ATWのON/OFF機能を割り当てると、フルオートモードOFFのときボタン操作でATWを単独でON/OFFすることができるようになります。
- ◆ アサインボタンについて詳しくは、「アサインボタンの機能を変更する」(75ページ) をご覧ください。

ダイレクトメニューで切り換える

DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、選択されているモードと色温度が画面に表示されます。



ATW: ATWモード

W:A: メモリー Aモード

W:B: メモリー Bモード

W:P: プリセットモード

ダイレクトメニューがAllモードに設定されているときは、ATW、W:A、W:B、W:Pの切り換えが可能です。

ダイレクトメニューがPartモードに設定されているときは、ATWとWHITE BALスイッチで選択されているモードの切り換えが可能です。

- ◆ ダイレクトメニューについて詳しくは、「ダイレクトメニュー操作」(25ページ) をご覧ください。

オートホワイトバランスを実行する

照明の色温度に応じてホワイトバランスを調整します。

調整値は、メモリー AまたはBに保存できます。

ご注意

プリセットモードのときは、オートホワイトバランスは実行できません。

- 1 調整値をメモリーに保存したい場合は、メモリー Aモードまたはメモリー Bモードを選択する。
- 2 照明条件に合わせて、NDフィルターを切り換える。
- 3 被写体の照明光源と同じ条件のところに白い紙などを置き、ズームアップして画面に白を映す。

被写体の近くの白いもの(白布、白壁)で代用することもできます。

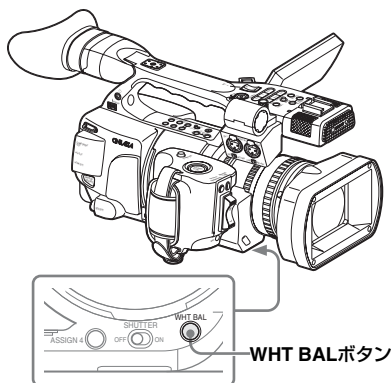
画面内に高輝度スポットが入らないようにしてください。

4 レンズの絞りを調整する。

マニュアル(手動調整)モードの場合は、絞りを適正値に合わせてください。

5 WHT BALボタンを押す。

ホワイトバランスの自動調整が実行されます。



調整中は、画面に実行中メッセージが表示されます。

オートホワイトバランスが正常終了すると、メッセージが完了メッセージに変わり、得られたホワイトバランスの色温度が表示されます。

- メモリーモードで実行した場合は、調整値は手順1で選択したメモリー(AまたはB)に保存されます。
- ATWモードで実行した場合は、調整が終わるとATWモードでのホワイトバランス調整に戻ります。

オートホワイトバランスが正常に終了しなかったときは

画面に約3秒間エラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージが表示されたら、再度ホワイトバランスの調整を試みてください。繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示される場合は、ソニーのサービス担当者にご相談ください。


マーカーやゼブラパターンを表示する

撮影中は、LCDモニター/EVF画面の映像に各種のマーカーやゼブラパターンを重ねて表示することができます。

記録映像には影響ありません。

マーカーを表示する

設定にはLCD/VF SETメニューのMarkerを使用します。

MENUボタンを押して本機をメニューモードに切り換え、でLCD/VF SETメニューを選択し、メニューからMarkerを選択します。

LCD/VF SET	
LCD	Setting : On
EVF	Safety Zone : On
Peaking	Safety Area : 90%
Marker	Center Marker : On
Zebra	Aspect Marker : Off
Display On/Off	Aspect Select : 4:3

マーカー表示を有効にする

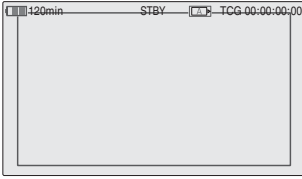
- SettingをOnにして、それぞれのマーカーのON/OFFおよび表示条件を設定します。SettingをOffにすると、すべてのマーカーが非表示になります。
- アサインボタンにMarkerを割り当てると、ボタンを押すことによって Setting On/Offを操作できるようになります。
- ◆ アサインボタンについては「アサインボタンの機能を変更する」(75ページ)をご覧ください。

セーフティーゾーンマーカーを表示する

Safety ZoneをOnにすると画面上にセーフティーゾーンマーカーが表示されます。

Safety Areaで、セーフティーゾーン表示の大きさを、映像エリアの80%、90%、92.5%、95%の4種類から選択できます。

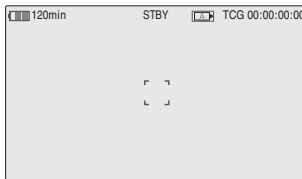
例：95%



アスペクトマーカ―がOnのときは、アスペクトマーカ―の範囲内での有効エリアを表示します。

センターマーカ―を表示する

Center MarkerをOnにすると、画面上にセンターマーカ―が表示されます。



アスペクトマーカ―を表示する

Aspect MarkerをLineまたはMaskにすると、画面上にアスペクトマーカ―が表示されます。

Line: 白線で表示

Mask: マーカ―範囲外のビデオ信号レベルを下げて表示

Aspect Selectで、アスペクトマーカ―の比を選択します。4:3、13:9、14:9、15:9、1.66:1、1.85:1、2.35:1、2.4:1の8種類から選択できます。

例：4:3



Aspect MarkerをMaskに設定したときは、Aspect Maskでアスペクトマーカ―の外側の

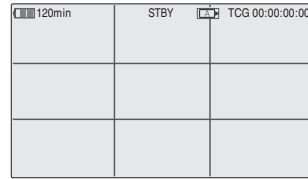
映像の明るさを変更することもできます。0%～90%の範囲（10%刻み）から選択します。

ご注意

SDモードでEC（エッジクロップ）のビデオフォーマットが選択されているときは、アスペクトマーカ―は表示されません。

ガイドフレームラインを表示する

Guide FrameをOnにすると、画面上にガイドフレームラインが表示されます。



ゼブラパターンを表示する

LCDモニター/EVF画面の映像に、映像の適切な輝度レベルを示すゼブラパターンを重ねて表示することができます。

ゼブラの初期設定

1 (70%)

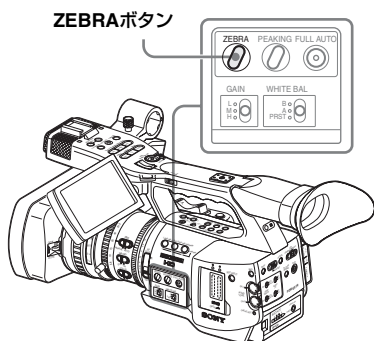


2 (100%)




ゼブラパターン表示をON/OFFする

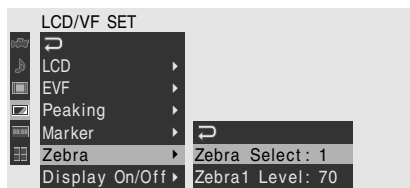
ZEBRAボタンを押すと、ゼブラパターン表示をON/OFFすることができます。



ゼブラパターンを変更する

LCD/VF SETメニューのZebraを使用すると、表示されるゼブラパターンを変更することができます。

MENUボタンを押して本機をメニューモードに切り換え、でLCD/VF SETメニューを選択し、メニューからZebraを選択します。



Zebra Select

表示されるゼブラパターンを選択します。

- 1: Zebra1 Levelで設定した映像レベルを中心に± 10% のエリアに対してゼブラパターン(Zebra1)を表示する。
- 2: 100%以上の映像レベルに対してゼブラパターン (Zebra2) を表示する。
- Both: Zebra1とZebra2の両方を表示する。

Zebra1 Level

Zebra1の中心値を50～107%の範囲で設定できます。初期値は70%です。

ゲインを設定する

被写体の明るさに応じて映像アンプのゲイン(利得)を設定できます。

撮影の状況に応じて設定モードを選択できます。

固定ゲインモード(手動切り換え)

スイッチやメニュー操作で映像アンプのゲインを選択します。

AGCモード(自動ゲイン調整)

映像の明るさに応じて映像アンプのゲインを自動制御します。

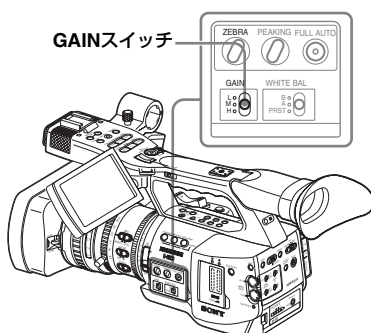
固定ゲインで撮影する

スイッチで切り換える

GAINスイッチでゲインを切り換えます。

ご注意

AGCモードがOnになっているときは、固定ゲインは選択できません。




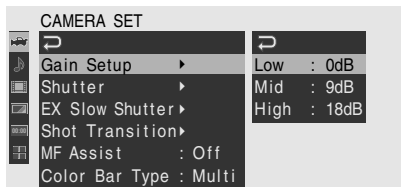
スイッチの各ポジションは、工場出荷時に下記のように設定されています。

- L: 0 dB
- M: 9 dB
- H: 18 dB

それぞれのゲイン値は、CAMERA SETメニューで-3 dB~+18 dBの範囲で変更することができます。

変更するには

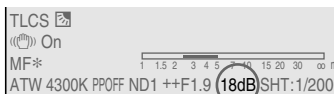
MENUボタンを押して本機をメニューモードに切り換え、 でCAMERA SETメニューを選択し、メニューからGain Setupを選択します。



- ◆メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(129ページ)をご覧ください。

ダイレクトメニューで切り換える

DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、選択されているゲイン値が画面に表示されます。



ダイレクトメニューがAllモードに設定されているときは、十字スティックまたはジョグダイヤルを使用して、ダイレクトメニューでゲインを3 dB刻みで切り換えることができます(AGCモードへの切り換えも可能です)。ダイレクトメニューがPartモードに設定されているときは、AGCモードとGAINスイッチで選択されているゲインとの切り換えのみ可能です。

ご注意

フルオートモード(45ページ)がONのときは、ダイレクトメニューは選択できません。

- ◆ダイレクトメニューについて詳しくは、「ダイレクトメニュー操作」(25ページ)をご覧ください。

AGCモードで撮影する

フルオートモード(45ページ)をONにすると、強制的にAGCモードになります。

フルオートモードがOFFのときは、CAMERA SETメニューで“TLCS”(136ページ)を選択してAGCをOnに設定するか、ダイレクトメニューでAGCを選択することによって、AGCモードを単独でONにすることができます。

電子シャッターを設定する

電子シャッター機能を使用すると、シャッター速度(撮像フレームあたりの蓄積時間)を切り換えることができます。

電子シャッターは、自動または手動で調整できます。

固定シャッター(手動切り換え)

シャッター速度(蓄積時間)を設定して撮影します。

標準モード(Speedモード/Angleモード)

動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合などに使用します。

秒数でシャッター速度を設定するSpeed(スピード)モードと開角度でシャッター速度を設定するAngle(角度)モードを選択できます。

ECS(拡張クリアスキャン)モード

周波数でシャッター速度を設定します。モニター画面を、水平方向の縞模様が出ないように撮影したい場合などに使用します。

SLS(スローシャッター)モード

蓄積フレーム数でシャッター速度を設定します。

超高感度スローシャッター(EX Slow Shutter)

蓄積フレーム数でシャッター速度を設定します。最大64フレームまで蓄積でき、低照度の状況下でノイズの少ないクリアな映像を撮影したいときや、残像を伴う幻想的な映像を撮影したいときに便利なモードです。

オートシャッター(自動シャッター調整)

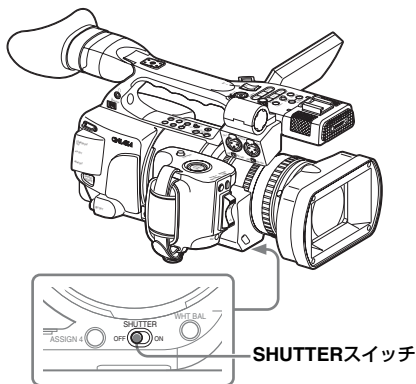
映像の明るさに応じて自動でシャッター速度を調整します。

固定シャッターで撮影する

SHUTTERスイッチをONにすると、CAMERA SETメニューのShutterで設定したモードとシャッター速度の固定シャッターがONになります。

ご注意

オートシャッターモードがONになっているときは固定シャッターは選択できません。



CAMERA SETメニューで設定する

CAMERA SETメニューを使用して、シャッターモードと速度を設定します。MENUボタンを押して本機をメニューモードに切り換え、でCAMERA SETメニューを表示させ、Shutterを選択します。

CAMERA SET	
Gain Setup ▶	Mode : Speed
Shutter ▶	Shutter Speed: 1/125
EX Slow Shutter ▶	Shutter Angle: 180°
Shot Transition ▶	ECS Frequency: 60.02
MF Assist : Off	SLS Frame : 2
Color Bar Type : Multi	

Speed(標準スピード)モード

ModeをSpeedに設定して、Shutter Speedで時間([¹/設定値]秒)を設定します。設定されているフレーム周波数によって、選択できる値が異なります。

フレーム 周波数	シャッタースピード (秒)
60i, 60P 50i, 50P	1/60, 1/100, 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000
24P	1/32, 1/48, 1/50, 1/60, 1/96, 1/100, 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000
25P	1/33, 1/50, 1/60, 1/100, 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000
30P	1/40, 1/50, 1/60, 1/100, 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000

Angle (標準アングル) モード

ModeをAngleに設定して、Shutter Angleで開角度を設定します。

180°、90°、45°、22.5°、11.25°から選択できます。

ECS (拡張クリアスキャン) モード

ModeをECSに設定して、ECS Frequencyで周波数を設定します。

設定されているフレーム周波数によって、選択できる値が異なります。

SLS (スローシャッター) モード

ModeをSLSに設定して、SLS Frameで蓄積フレーム数を設定します。

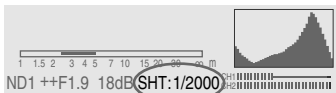
2~8フレームから選択できます。

ご注意

SP 1440/24Pモード、スロー&クイックモーションモードでは、スローシャッターは使用できません。

ダイレクトメニューで設定する

DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、選択されているシャッターモードと設定値が画面に表示されます。



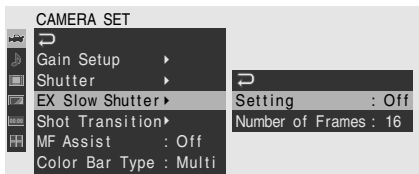
ダイレクトメニューがAllモードに設定されているときは、十字スティックまたはジョグダイヤルを使用して、ダイレクトメニューでシャッターモードと速度を設定することができます。

ご注意

- ダイレクトメニューがPartモードに設定されているときは、SHUTTERスイッチがONになっているとダイレクトメニューでシャッターをOFFにすることはできません。またSHUTTERスイッチがOFFになっているときは、オートシャッターとシャッターOFFの切り換えのみが可能です。
- フルオートモード (45ページ) がONになっているときや、EX Slow ShutterモードがOnに設定されているときは、ダイレクトメニューは選択できません。
- ◆ダイレクトメニューについて詳しくは、「ダイレクトメニュー操作」(25ページ)をご覧ください。

超高感度スローシャッター (EX Slow Shutter) で撮影する

CAMERA SETメニューでEX Slow Shutterを選択します。



SettingをOnにして、Number of Framesで蓄積フレーム数を設定します。

16、32、64フレームから選択できます。

ご注意

- SP 1440/24Pモード、スロー&クイックモーションモードのときは、超高感度スローシャッター (EX Slow Shutter) は使用できません。
- SHUTTERスイッチのON/OFFは、超高感度スローシャッター (EX Slow Shutter) には影響ありません。
- 記録中に超高感度スローシャッター (EX Slow Shutter) をOn/Offすることはできません。
- 超高感度スローシャッター (EX Slow Shutter) がOnになっているときは、フル

オートモード（45ページ）をONにすることはできません。

オートシャッターで撮影する

本機がフルオートモード（45ページ）がONになっているときは、強制的にオートシャッターになります。

フルオートモードがOFFのときは、CAMERA SETメニューでTLCS（136ページ）を選択し、Auto ShutterをOnに設定することによって、オートシャッターを単独でONにすることができます。

アイリスを調整する

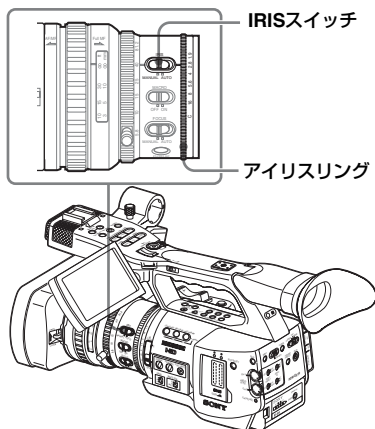
被写体の明るさに応じてアイリスの開度を調整します。自動または手で調整できます。

オートアイリス（自動調整）モード

被写体の明るさに応じて自動的にアイリスを調整します。

マニュアルアイリス（手動調整）モード

アイリスリングやメニュー操作で、アイリスの開度を調整します。



オートアイリスモードで撮影する

フルオートモード（45ページ）がONになっているときは、強制的にオートアイリスモードになります。

フルオートモードがOFFのときは、IRISスイッチをAUTOにすると、オートアイリスモードになります。

オートアイリスの制御目標レベル（明るめ/暗め）を、セットアップメニューまたはダイレクトメニューで設定できます。（この設定は、AGCにおけるゲイン制御、オートシャッター

におけるシャッタースピード制御にも連動します。)

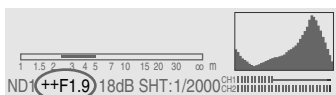
セットアップメニューで制御目標レベルを調整する

CAMERA SETメニューのTLCS (136ページ) のLevelを設定します。

ダイレクトメニューで制御目標レベルを調整する

制御目標レベルはダイレクトメニューで設定することもできます。

DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、現在のアイリス設定が画面に表示されます。



十字スティックまたはジョグダイヤルを使用して、ダイレクトメニューで設定を変更することができます。

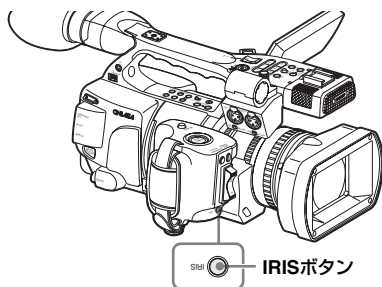
- ◆ダイレクトメニューについて詳しくは、「ダイレクトメニュー操作」(25ページ)をご覧ください。

マニュアルでアイリスを調整する

IRISスイッチをMANUAL側に切り換えると、マニュアルアイリスモードになります。アイリスリングを回してアイリス調整します。

一時的にオートアイリスに切り換える

マニュアルアイリスモード (IRISスイッチ: MANUALに設定) で、IRISボタンを押すと、押している間オートアイリスが働きます。ボタンを放すとマニュアルアイリスモードに戻ります。



ズームを操作する

本機では、手動または電動でズームを操作できます。

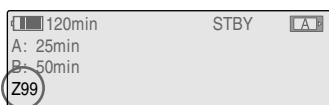
手動ズームモード

ズームリングを回してズームを操作します。

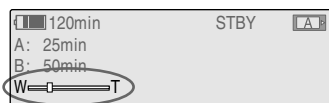
電動ズーム (サーボ) モード

電動ズームレバーやハンドルのズームボタンを押してズームを操作します。付属のリモコン、および別売りのレンズリモートコントロールユニットでの操作も可能です。

DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、画面に現在のレンズズームの位置が0 (広角端) ~ 99 (望遠端) の範囲で表示されます。

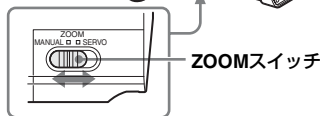
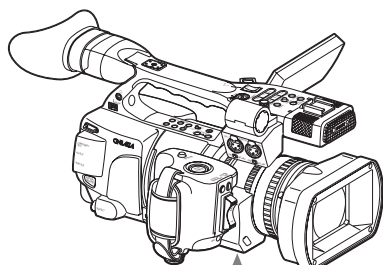


LCD/VF SETメニューのDisplay On/Off (142ページ) のZoom Position設定で、バー表示に変更することもできます。



モードを切り換える

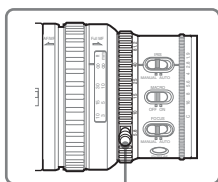
マニュアルモード、サーボモードは、本機底面のZOOMスイッチで切り換えます。



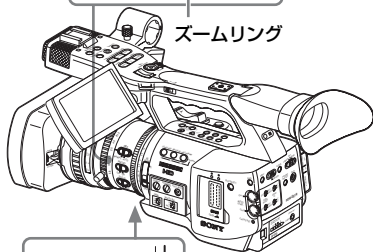
手でズームを操作する

ZOOMスイッチをMANUAL側にすると、手動ズームモードになり、ズームリングが有効になります。

ズームリングを回して、ズームを調整してください。



ズームリング



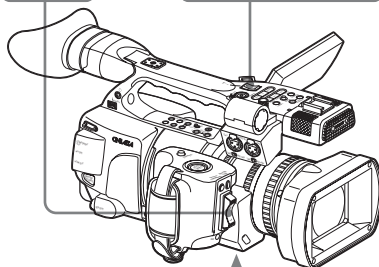
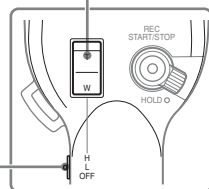
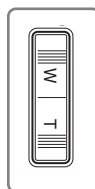
電動でズームを操作する

ZOOMスイッチをSERVO側にするとサーボモードになり、電動ズームが有効になります。サーボモードでは、グリップの電動ズームレバー、ハンドルのZOOMボタンでズームを調整できます。

ズームスピードスイッチ

電動ズームレバー

ハンドルZOOMボタン



電動ズームレバーで調整する

広角にしたいときはW（ワイド）側を、望遠にしたいときはT（テレ）側を押します。レバーを深く押しとズーム速度が速くなり、浅く押しと遅くなります。

ハンドルZOOMボタンで調整する

広角にしたいときはW（ワイド）側を、望遠にしたいときはT（テレ）側を押します。ズームスピードスイッチで選択した速度でズームが変化します。ズームスピードは、CAMERA SETメニューのZoom Speed（133ページ）で変更することができます。

スピード スイッチ	ZOOMボタンの動作
H	CAMERA SETメニューのZoom SpeedのHighで設定された速度でズームが変化する。 (初期設定：70)
L	CAMERA SETメニューのZoom SpeedのLowで設定された速度でズームが変化する。 (初期設定：30)
OFF	動きません。

ご注意

ズームスピードの動作保証範囲は、設定値8～99です。
ズームスピードが低速時はズーミングにむらが出る場合があります。

ズームの開始・終了時の動作を選択する

徐々に速度を上げてズームアップし、徐々に速度を下げて終了するSoftモードを選択することができます。
CAMERA SETメニューのZoom Trans (133ページ) を使用します。

Zoom Trans 設定	ズーム開始・終了時の動作
Linear (初期設定)	ZOOMボタンを押すとすぐに設定速度でズームを開始し、ボタンを放すと同時に終了する。
Soft	ZOOMボタンを押すと徐々に設定値までズーム速度をあげ、ボタンを放すと徐々に速度を落としてズームを終了する。(ボタンを放してから動作終了まで最大1秒)

ご注意

Zoom Speed が20以下に設定されているときは、Softに設定してもLinearと同等の動作になります。

赤外線リモコンのZOOMボタンで調整するとき

ズーム速度は、CAMERA SETメニュー Zoom SpeedのRemoteの設定 (初期設定：50) に従います。

ご注意

ズームスピードの動作保証範囲は、設定値8～99です。

◆リモコン操作を有効にする方法については、34ページの「リモコンを使う」をご覧ください。

レンズコントロールリモコンを使用するとき

LENS REMOTE端子に接続した別売りのレンズコントロールリモコンでズームを操作できます。

◆別売りのレンズコントロールリモコンでのズームの操作方法については、レンズコントロールリモコンの操作ガイドをご覧ください。

フォーカスを調整する

本機のフォーカス調整モードには次の3種類があります。

Full MF (フルマニュアルフォーカス) モード

フォーカスリングによるフォーカス合わせのみ有効なモードです。

∞～最短撮影距離までリングを持ち直さずに回してフォーカス合わせが可能です。

MF (マニュアルフォーカス) モード

PUSH AFボタンを押した時のみ一時的にオートフォーカスが起動するモードです。

MFアシスト機能も使用できます。

AF (オートフォーカス) モード

常にオートフォーカスが働くモードです。

フォーカスリングおよびPUSH AFボタンも有効です。

ご注意

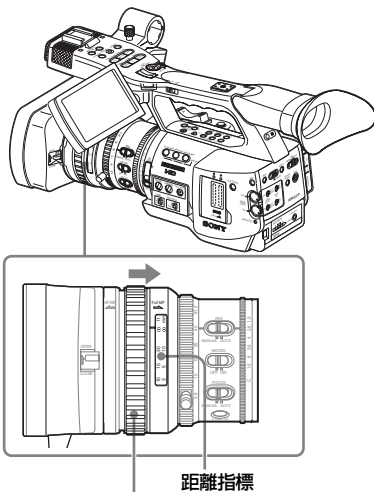
温度変化によるフォーカスの移動を補正するため、無限遠(∞)位置には余裕を持たせています。無限遠の被写体をMFまたはFull MFモードで撮影する場合は、LCDモニター/EVF画面で確認しながらフォーカス合わせをしてください。

Full MFモードで調整する

フォーカスリングを後方(本体側)に引くと、常にマニュアルでフォーカスを合わせるFull MFモードになります。

ご注意

フォーカスリングを後方にスライドさせると、フォーカスが目盛の位置に瞬時に移動します



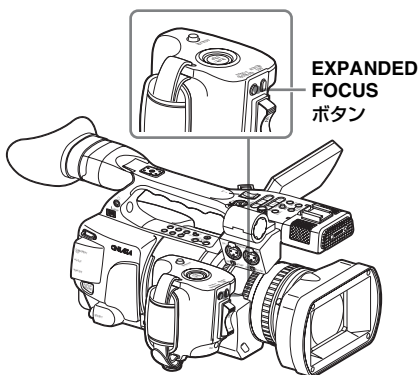
フォーカスリング: 後方

LCDモニター/EVFの画像を見ながら、フォーカスリングを回してフォーカスを合わせます。

Full MFモードでは、リングの距離指標が有効です。フォーカスの合う距離はフォーカスリングの絶対位置に対応します。

エクスパンドフォーカス

EXPANDED FOCUSボタンを押すと、LCDモニター/EVFで画像の中央部分が拡大表示され、フォーカスを合わせやすくなります。フォーカスを合わせたら、もう一度EXPANDED FOCUSボタンを押すか、5秒間フォーカスリングを操作しなければ、通常(記録)画角の表示に戻ります。

EXPANDED FOCUS
ボタン

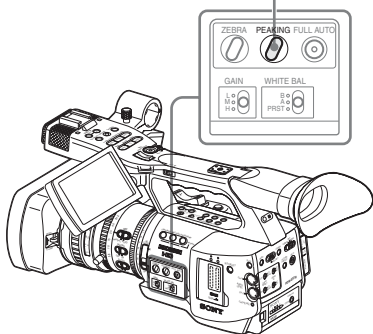
ピーキング

PEAKINGボタンを押すと、ピーキング機能が働いて、LCDモニター/EVFの表示画像の輪郭が強調され、マニュアルでのフォーカス調整が容易になります。

記録される映像信号には影響しません。

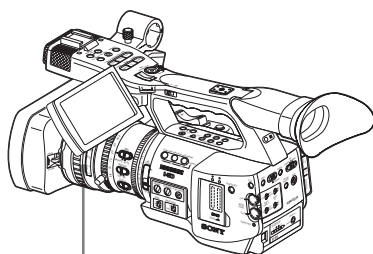
強調レベル、および輪郭色は、LCD/VF SETメニューのPeaking (140ページ) で設定できます。

PEAKINGボタン



MFモードで調整する

フォーカスリングを前方(レンズフード側)にスライドさせ、FOCUSスイッチをMANUALにすると、必要なときのみオートフォーカスを働かせることができるMFモードになります。

フォーカスリング: 前方
PUSH AF
ボタン

FOCUSスイッチ: MANUAL

フォーカスリングを使う

LCDモニター/EVFの画像を見ながら、フォーカスリングを回してフォーカスを合わせます。

MFモードでは、リングの距離指標は無効となります。

ワンタッチオートフォーカス

PUSH AFボタンを押します。一時的にオートフォーカスが起動します(ワンタッチオートフォーカス)。

ワンタッチオートフォーカスは、フォーカスが合った時点で終了します。

MFアシスト機能

MFアシスト機能をONにしておくと、フォーカスリングでのフォーカス合わせを止めた時点でオートフォーカスが起動し、画面中央部の被写体に対してフォーカスの微調整(フォーカスの追い込み)を行います。

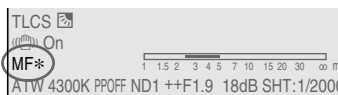
微調整が終了した時点でMFアシストによるオートフォーカス動作は終了します。

CAMERA SET メニューで ON にする

CAMERA SETメニューのMF Assist (133ページ) をONに設定します。

ダイレクトメニューで ON にする

DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、選択されているフォーカスモードが画面に表示されます。



MFモードが選択されているときは、十字スティックまたはジョグダイヤルを使用して、ダイレクトメニューで MF アシスト機能をON/OFFできます。ONにするとモード表示の右に*が表示されます。

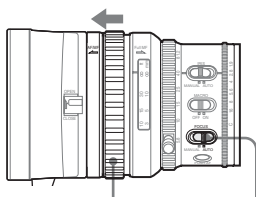
ご注意

MF以外のモードになっているときは、ダイレクトメニューは選択できません。

- ◆ダイレクトメニューについて詳しくは、「ダイレクトメニュー操作」(25ページ)をご覧ください。

AFモードで調整する

フォーカスリングを前方にスライドさせ、FOCUSスイッチをAUTOにすると、常にオートでフォーカスを合わせるAFモードになります。



フォーカスリング: 前方 FOCUSスイッチ: AUTO

AFモードでは、リングの距離指標は無効となります。

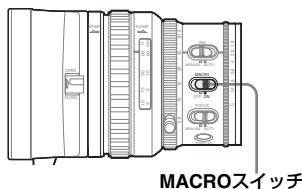
AFモードでフォーカスを合わせる

AFモードでは、映像の変化を常に観測し、変化があったと判断する度にオートフォーカスを起動します。フォーカスが合った時点でフォーカス動作を終了して、また映像に変化があるまで待機します。

AFモードでは、PUSH AFボタンを押したり、フォーカスリングを操作した場合も、直後にオートフォーカスが起動します。

マクロモードを使う

フォーカス調整モードがMFまたはAFのときは、MACROスイッチをON側にするとマクロモードになり、マクロ領域を含めた範囲でのフォーカス操作が可能になります。マクロモードは、Full MFモードでは無効になります。



MACROスイッチ

手ぶれ補正を効かせる

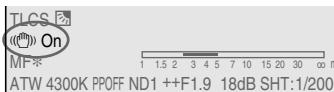
手ぶれ補正機能を有効にすると、撮影時の細かな動きによる画像のぶれを抑えることができます。

CAMERA SETメニューで設定する

CAMERA SETメニューのSteady Shot (137ページ) をOnに設定します。

ダイレクトメニューで設定する

DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、手ぶれ補正モードの設定が画面に表示されます。



十字スティックまたはジョグダイヤルを使用して、ダイレクトメニューで手ぶれ補正をON/OFFできます。

◆ダイレクトメニューについて詳しくは、「ダイレクトメニュー操作」(25ページ) をご覧ください。

ワイドコンバージョンレンズ使用時のご注意

手ぶれ補正モードには、通常モードとワイドモード(ワイドコンバージョンレンズ装着時)の2種類があります。

ワイドコンバージョンレンズ(別売り VCL-EX0877)を装着したときは、CAMERA SETメニューのWide Conversion(137ページ)をOnに設定してください。

ご注意

三脚に載せて安定した状態で使用するとき、手ぶれ補正をOFFにしてください。

フリッカーを補正する

フリッカーを補正するには、2つの方法があります。

電子シャッターのスピードを「1/電源周波数」に合わせる

電子シャッター(56ページ)を有効にして、シャッタースピードを電源周波数に応じて設定します。

電源周波数が 50 Hz のとき

シャッタースピードを1/50秒または1/100秒に設定します。

電源周波数が 60 Hz のとき

シャッタースピードを1/60秒または1/120秒に設定します。

フリッカー補正機能を使用する

CAMERA SETメニューのFlicker Reduce(133ページ)のModeをAutoまたはOnに設定して、Frequencyを電源周波数(50 Hzまたは60 Hz)に合わせます。

ご注意

撮影しているフレームレートが電源周波数に近い場合は、フリッカー補正機能が働いてもフリッカーを完全に補正できない場合があります。この場合は、電子シャッターを使用してください。

フリッカー補正の推奨設定

Frequency

Frequency設定は、必ず撮影地域の電源周波数に合わせて使用してください。

Mode

- 屋外など、フリッカーが発生しない照明下ではModeをOffに設定することを推奨します。(このような環境ではAuto設定も有効ですが、正しい補正が行われない場合があります。)
- 屋内など、フリッカーが発生する照明下ではModeをAutoに設定することを推奨しま

す。(フリッカーがある照明下で定点撮影する場合はOn設定も有効です。)

撮影環境ごとのModeの推奨設定は下記のとおりです。

Flicker Reduce/ Mode設定	撮影環境	
	フリッカーがある照明下	フリッカーがない照明下
Auto	◎	○
On	○	×
Off	×	◎

◎: 設定を推奨します。

○: 使用可能です。

×: 設定を推奨しません。

タイムデータを設定する

本機では、タイムコード、ユーザービット、現在時刻などのタイムデータが、映像に付随するデータとして記録されます。

タイムコードの動作モード

タイムコードの動作モードは、3種類の歩進モードと時計モードから選択できます。

Rec Runモード

タイムコードは記録時に歩進します。SxSメモリーカードを入れ換えない限り、タイムコードは記録されたクリップの順で連続します。

SxSメモリーカードを取り出して別のカードで記録を行うと、再び元のカードを入れてもタイムコードは連続しません。

Free Runモード

SxSメモリーカードへの記録状態に関係なく常に歩進します。

Regenモード

タイムコードは記録時に歩進します。SxSメモリーカードを入れ換えた場合、そのカードに記録されている最後のタイムコードを読み出して、タイムコードが連続するようにタイムコードを設定して記録します。

Clockモード

タイムコードには現在時刻が記録されます。

ご注意

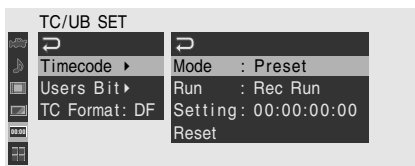
- インターバルレック、フレームレック、スロー&クイックモーションのときは、TC/UB SETメニューでTimecodeのModeをPresetに設定すると、Runの設定にかかわらず、タイムコードはRec Runモードになります。ModeをClockに設定すると、タイムコードはRegenモードになります。

- ピクチャーキャッシュレック機能（80ページ）が有効（P.Cache Rec Setting: On）になっているときは、タイムコードは強制的にFree Runモードになります。ピクチャーキャッシュレックが解除されると、TC/UB SETメニューで選択したモード設定に戻ります。

タイムコードを設定する

記録されるタイムコードは、TC/UB SETメニューのTimecodeおよびTC Formatを使用して設定します。

- ◆ メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」（129ページ）をご覧ください。



任意のタイムコードに設定する

- 1 TimecodeのModeをPresetに設定する。
- 2 Settingの右に表示されるタイムコード値を設定し、SETを選択する。

タイムコードをリセットする

歩進モードで記録するタイムコードを00:00:00:00にリセットすることができます。

- 1 TimecodeのResetを選択する。
- 2 Executeを選択する。

タイムコードに実時刻を入れる

TimecodeのModeをClockに設定する。

タイムコードに内蔵クロックの実時刻が入ります。

タイムコードのDF/NDFを切り換える

TC/UB SETメニューのTC Formatで、DF（ドロップフレームモード）/NDF（ノンドロップフレームモード）を切り換えることができます。

ただし、選択されているフレーム周波数によっては、TC Formatの設定にかかわらず、DF/NDFのいずれかに固定されます。

ビデオフォーマットによるタイムコードの制限

選択しているビデオフォーマットごとに、タイムコードの設定に制限があります。

ビデオフォーマット	フレーム設定	TC Format
HQ 1920/60i HQ 1440/60i SP 1440/60i HQ 1920/30P HQ 1440/30P DVCAM60i SQ DVCAM60i EC DVCAM30P SQ DVCAM30P EC	00~29	DF/NDF切り換え可 (Clockモード時はDF固定)
HQ 1920/50i HQ 1440/50i SP 1440/50i HQ 1920/25P HQ 1440/25P DVCAM50i SQ DVCAM50i EC DVCAM25P SQ DVCAM25P EC	00~24	NDF固定
HQ 1920/24P HQ 1440/24P HQ 1280/24P SP 1440/24P	00~23 ¹⁾	NDF固定 ²⁾
HQ 1280/60P	00~29 (ダブルカウント)	DF/NDF切り換え可 (Clockモード時はDF固定)
HQ 1280/50P	00~24 (ダブルカウント)	NDF固定
HQ 1280/30P	00~29	DF/NDF切り換え可 (Clockモード時はDF固定)
HQ 1280/25P	00~24	NDF固定

1) Settingの際にフレームの桁は、00、04、08、12、16、20に限定されます。
記録開始のフレームは00、04、08、12、16、20に限定されます。

SDI OUT端子からの出力は、1920/24Pでカメラモード時に24P System (140ページ) の設定が24PsFのとき以外は、2-3フルダウンされた60iとなるため、SDI OUT端子からの出力に重畳するタイムコードのフレームは00~29に振り直されます。

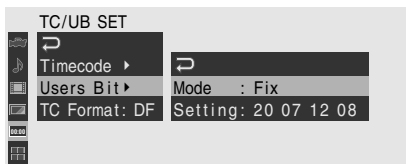
- 2) TC ModeがClockのときも、NDFでカウントするため徐々に実時刻からタイムコードがずれま

す。
1920/24Pでカメラモード時に24P System (140ページ) の設定が24PsFのときのSDI OUT端子、COMPONENT OUT端子からの出力以外は、2-3フルダウンされた映像となるため、画面に表示されるタイムコードが重複するフィールドが発生します。

- 3) DFのときは、フレームの桁は00~29の間で自由に設定可能です。
NDFのときは、記録開始のフレームは00、05、10、15、20、25に限定されます。

ユーザービットを設定する

8桁の16進数をユーザービットとして記録映像に付加できます。ユーザービットを現在年月日に設定することも可能です。
設定には、TC/UB SETメニューのUsers Bitを使用します。



任意の8桁を設定する

- 1 Users BitのModeをFixにする。
- 2 Settingの右に表示される値を設定し、SETを選択する。
16進数のA~Fは、大文字のA~Fで表示されます。

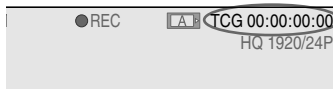
現在の年月日をユーザービットとして記録する

Users BitのModeをDateにする。

Settingの右に現在年月日が表示されます。

タイムデータを表示する

カメラモードではDISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、画面にタイムデータが表示されます。



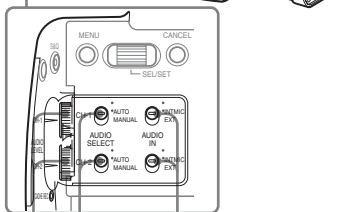
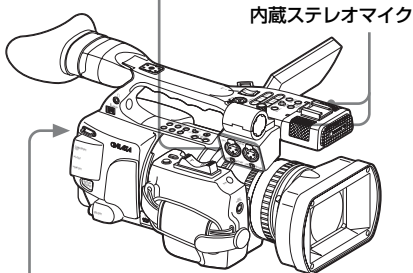
表示は、TC/U-BIT/DURATIONボタンを押すたびに、タイムコード、ユーザービット、経過時間の順に切り替わります。

表示	内容
TCG **:***:**:**	タイムコード
CLK **:***:**:**	タイムコード (Clockモード)
UBG * * * * *	ユーザービット
DUR **:***:**	記録開始からの経過時間

音声を記録する

本機では、映像と同期して2チャンネル(CH-1/CH-2)の音声を記録できます(リニアPCM記録)。

内蔵ステレオマイク(無指向性エレクトレットコンデンサーマイク)またはAUDIO IN端子に接続した外部音声入力を、AUDIO INスイッチで切り換えて使用します。



AUDIO LEVEL調整つまみ：
録音レベルを調整する

内蔵ステレオマイクを使う

AUDIO INスイッチ(CH-1/CH-2)を両方ともINT側に設定する。

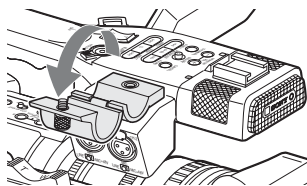
外部入力を使う

- 1 AUDIO INスイッチ(CH-1/CH-2)をEXT側にする。
- 2 AUDIO IN端子(CH-1/CH-2)に外部オーディオ機器を接続する。
- 3 LINE/MIC/MIC+48Vスイッチ(CH-1/CH-2)をLINE(ラインレベル+4dBu)に設定する。

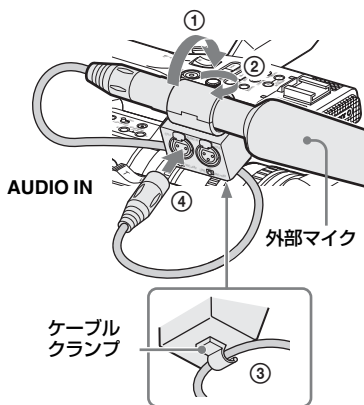
外部マイクを使う

エレクトレットコンデンサーマイクロホンECM-673などを取り付けて使用することができます。

- 1 マイクホルダーのネジをゆるめ、カバーを開ける。



- 2 外部マイクを取り付けて、マイクホルダーのカバーを元どおり閉めてマイクを固定し、AUDIO IN端子(CH-1またはCH-2)にマイクケーブルを接続する。



- 3 マイクを接続した端子に対応する **AUDIO IN**スイッチ (CH-1またはCH-2) をEXT側にする。
- 4 接続したマイクに合わせて、**LINE/MIC/MIC+48V**スイッチ (CH-1/CH-2) を切り換える。

MIC：電源供給不要のマイクを接続したとき

MIC+48V：+48V電源供給を要するマイク (ECM-673など) を接続したとき

ご注意

AUDIO SETメニュー Audio Input (138ページ) のEXT CH SelectをCH-1に設定してCH-1をモノラル2チャンネルに記録する場合でも、CH-2のLINE/MIC/MIC+48VスイッチはCH-1のスイッチと同じ位置にして使用してください。

録音レベルを調整する

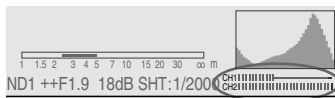
チャンネルごとに、自動 (AGC) 調整モード、マニュアル調整モードを選択できます。

自動調整する (AGC)

AUDIO SELECT スイッチ (CH-1/CH-2) をAUTOにすると、録音レベルは自動調整されます。

手動で調整する

AUDIO SELECT スイッチ (CH-1/CH-2) をMANUALにして、AUDIO LEVEL調整つまみを回して、録音レベルを調整します。つまみを5の位置にすると基準位置 (0 dB) になり、10で最大 (+12 dB)、0で最小 (-∞) になります。DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、画面に入力レベルが表示されます。



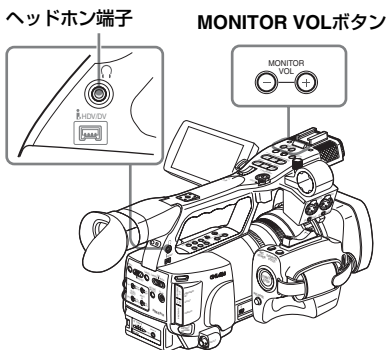
AUDIO SETメニュー Audio Input (138ページ) のTRIM CH-1/CH-2で微調整する場合は、つまみを5の位置にして、メーターの振れが適切になるようにマイク感度を調整してください。

特殊記録モードでの音声記録

- インターバルレック/フレームレックモードでは、音声は記録されません。
- スロー&クイックモーション撮影で、再生フレームレートと異なる撮影フレームレートを設定した場合、音声は記録できません。

音声をモニターする

ヘッドホン端子 (ステレオミニジャック) に接続したヘッドホンで、記録される音声をモニターできます。



ご注意

カメラモードでは内蔵スピーカーで音声をモニターすることはできません。

モニター音量を調整するには

MONITOR VOLボタンを使用します。

-ボタンを押すと小さくなり、+ボタンを押すと大きくなります。最小にすると、音声は聞こえなくなります。

音量調整中は、画面にレベルがバー表示されます。

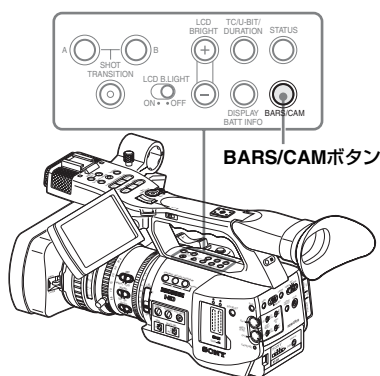
カラーバー/基準音声信号を出力する

撮像中の映像に代えてカラーバーを出力することができます。

AUDIO SETメニュー Audio Input (138ページ) の1kHz Toneの設定がOnのときは、カラーバーと同時に1kHzの基準音声信号が出力されます。

カラーバーと基準音声信号は、SDI OUT端子、COMPONENT OUT端子(カラーバーのみ)、A/V OUT端子からも出力されます。

詳細



BARS/CAMボタンを押す。

撮像画がカラーバーに切り換わります。もう一度押すと、撮像画に戻ります。

カラーバーの種類は、CAMERA SETメニュー Color Bar Type (133ページ) で選択できます。

Multi: ARIBマルチフォーマットカラーバー

75%: 輝度75%縦ストライブ

100%: 輝度100%縦ストライブ

ご注意

- 記録中は、BARS/CAMボタンを押してもカラーバーには切り換わりません。(カラーバーからカメラ画像への切り換えは可能です。)

- スロー&クイックモーション撮影時、超高度度スローシャッター（EX Slow Shutter）モードのときは、カラーバーを出力することはできません。

ショットマークを記録する

HDモードで記録したクリップでは、映像/音声の重要なシーンに、ショットマークをデータとして記録しておく、マークを付けたシーンだけが表示される「ショットマーク画面」で目的のシーンを容易に頭出しでき、効率的な編集作業が可能になります。

- ◆ ショットマーク画面については、「ショットマーク画面を表示する（HDモードのみ）」（120ページ）をご覧ください。

本機では、ショットマーク1、ショットマーク2の2種類のショットマークを記録できません。

ショットマークは撮影中に随時記録するか、記録終了後にメディアモードで再生画像を確認しながら追加することができます。

ご注意

SDモードでは、ショットマークを記録することはできません。

撮影中にショットマークを記録する

リモコン操作を有効にして（34ページ参照）、SHOTMARK 1ボタン、またはSHOTMARK 2ボタンを使用します。



ショットマークを入れたいシーンで、SHOTMARK 1または2ボタンを押す。

アサインボタンに、Shot Mark1またはShot Mark2を割り当てて使用することもできます（75ページ参照）。

押したボタンに対応するショットマークが記録されます。

- ◆ 記録終了後にショットマークを追加する方法については、「再生中にショットマークを追加する (HDモード)」(111ページ)、「ショットマークを追加・削除する (HDモードのみ)」(121ページ) をご覧ください。
- ◆ プランニングメタデータを使ってショットマーク名をつける方法は、「プランニングメタデータでショットマーク名を設定する」(104ページ) をご覧ください。

OKマークを付加する

HDモードで記録したクリップは、OKマークを付加することによって、誤って削除・分割されることを防ぐことができます。またOKマークでマーキングすることによって、THUMBNAILボタンを押したときに、必要なクリップのみサムネイル画面(OKクリップサムネイル画面)に表示されるように設定することができます。

- ◆ OKクリップサムネイル画面については、「OKクリップサムネイル画面を表示する (HDモード)」(108ページ) をご覧ください。

ご注意

SDモードで記録したクリップには、OKマークを付加できません。

カメラモードでのOKマーク操作には、アサインナブルボタンにOK Markを割り当てて使用します (75ページ参照)。

OKマークを付加する

カメラモードでは、選択されているSxSメモリーカードに最後に記録されたクリップ (Last Clip) にOKマークを付加することができます。

記録を停止したら、OK Markを割り当てたアサインナブルボタンを押す。

画面上に、メッセージ「OK Mark」が3秒間表示されます。

OKマークを削除する

カメラモードでは、SxSメモリーカードの最後のクリップに付加されたOKマークのみ削除することができます。

- 1 OK Markを割り当てたアサインナブルボタンを押す。**
Execute/Cancelが表示されます。
- 2 Executeを選ぶ。**

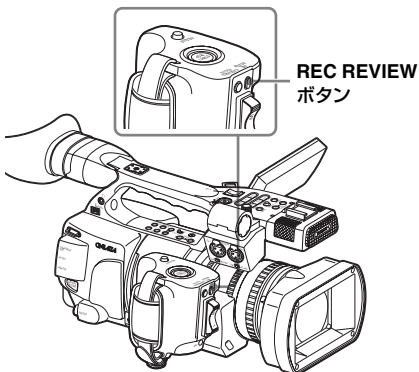
最後のクリップからOKマークが削除されま
す。

一つ以上前のクリップに **OK** マークを付
加したり、削除する場合は
メディアモードを使用します。

- ◆「再生」の項の「OKマークを付ける/OKマーク
を削除する (HDモードのみ)」（116ページ）
をご覧ください。

レックレビュー

直前に記録したクリップの映像を画面で確認
(レックレビュー) できます。



**記録を停止したら、REC REVIEWボタンを
押す。**

アサインボタンにRec Reviewを割り当てて使
用することもできます (75ページ参照)。

設定した部分の再生が始まります。
レックレビューでは、CAMERA SETメニュー
のRec Review (134ページ) の設定に従って、
クリップの最後の3秒、10秒、またはクリッ
プ全体を再生します。工場出荷時は3秒に設定
されています。

クリップの終わりまで再生すると、レックレ
ビューは終了し、STBY (記録待機) モードに
戻ります。

レックレビューを中止するには

REC REVIEWボタン、STOPボタン、または
Rec Reviewを割り当てたアサインボタン
を押します。
レビューを中止して、STBY (記録待機) モー
ドに戻ります。

ご注意

- 最後に記録されたクリップがレックレ
ビューの設定時間 (3秒または10秒) に満

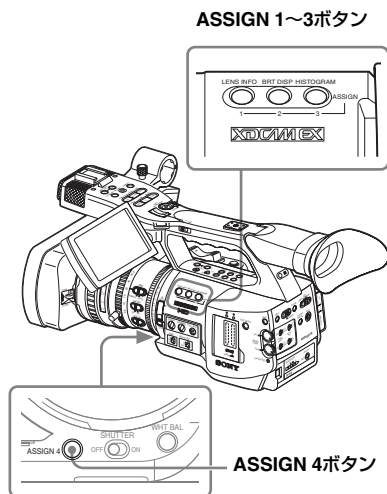
たない場合には、クリップ全体が再生され
ます。

ファイルサイズが2GBを超えて分割保存さ
れたSDモードクリップの場合は、最後の
ファイルのみが再生されます。

- レックレビューによる再生時は、STOP ボ
タン以外の再生コントロールボタンは働き
ません。
- 記録後にビデオフォーマットを変更したと
きは、レックレビューはできません。(例外;
SP 1440/24PからSP 1440/60iに変更した
場合)。
- レックレビュー中は、セットアップメ
ニュー、およびピクチャープロファイルメ
ニューは操作できません。

アサインブルボタンの 機能を変更する

本機には、機能を変更して使用できる4個のア
サインブルボタンがあります。



工場出荷時には、それぞれ次の機能が割り当
てられています。

ASSIGN 1 ボタン (LENS INFO)

被写界深度表示のON/OFF

ASSIGN 2 ボタン (BRT DISP)

輝度レベル表示のON/OFF

ASSIGN 3 ボタン (HISTOGRAM)

ヒストグラム表示のON/OFF

ASSIGN 4 ボタン

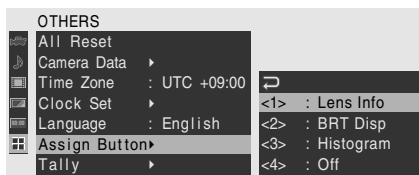
Offに設定されています。押しても機能しま
せん。

機能を変更する

OTHERSメニューのAssign Buttonを使用し
ます。

- ◆ メニュー操作について詳しくは、「セットア
ップメニューの基本操作」(129ページ)をご
覧ください。

1 OTHERSメニューのAssign Buttonを選ぶ。



割り当てられた機能は、ボタン/リモートステータス画面（127ページ）で確認することができます。

2 機能を変更するボタンを選ぶ。

3 割り当てたい機能を選ぶ。

機能名	内容
Marker	全マーカー表示（セーフティゾーンマーカー、センターマーカー、アスペクトマーカー、ガイドフレーム）のON/OFF
Last Clip DEL	ラストクリップデリート機能の実行
ATW	ATW機能のON/OFF
ATW Hold	ATWホールド機能のON/OFF
Rec Review	レックレビューの実行
Rec	記録の開始/停止
Picture Cache	ピクチャーキャッシュレック機能のON/OFF
Freeze Mix	フリーズミックス機能の実行
Expanded Focus	拡大フォーカス機能のON/OFF
Spotlight	TLCSスポットライトモードのON/OFF
Backlight	TLCSバックライトモードのON/OFF
IR Remote	赤外線リモコンの有効/無効の切り換え
Shot Mark1 ¹⁾	ショットマーク1の打ち込み
Shot Mark2 ¹⁾	ショットマーク2の打ち込み
Fader	フェーダー機能のON/OFF
EVF Mode	EVF画面のカラー/モノクロ切り換え
BRT Disp	輝度レベル表示のON/OFF
Histogram	ヒストグラム表示のON/OFF
Lens Info	被写界深度表示のON/OFF
OK Mark ¹⁾	OKマークの付加/削除

1) HDモード時のみ有効

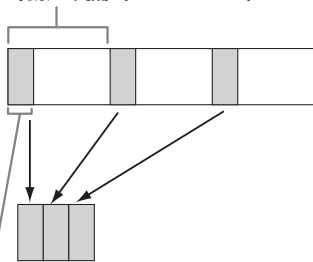
4 メニューを抜ける。

インターバルレック

間欠的に映像を記録するインターバルレック機能は、主に動きの少ない被写体を撮影するとき有効です。

1度に記録するフレーム数 (Number of Frames) と間隔時間 (Interval Time) を設定し、間欠的に映像を自動記録できます。

撮影の間隔 (Interval Time)



1回に記録する画像フレーム数 (Number of Frames)

三脚などに本機を固定して、本体の REC START/STOPボタンの代わりにリモコンのボタンで操作することをお勧めします。

ご注意

- インターバルレックは、フレームレック、キャッシュレック、スロー&クイックモーションと同時に On にすることはできません。インターバルレックを On にすると、フレームレック、キャッシュレック、スロー&クイックモーションは強制的に Off になります。
- インターバルレックモードでは、音声は記録できません。
- OTHERSメニューのVideo FormatでHD SPモードまたはSDモードのフォーマットが選択され、かつi.LINK I/OがHDVまたはDVCAMに設定されているときは、インターバルレックモードにできません。
- OTHERSメニューのVideo FormatがSP 1440/24P に設定されているときは、インターバルレックはできません。

撮影前の設定

インターバルレックで記録を始める前に、あらかじめCAMERA SETメニューで設定を行ってください。

- ◆メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(129ページ)をご覧ください。

1 CAMERA SETメニューのInterval Recを選ぶ。

CAMERA SET	
MF Assist	: Off
Color Bar Type	: Multi
Flicker Reduce	>
Zoom Speed	>
Zoom Trans	>
Interval Rec	>
Frame Rec	>

Setting	
Interval Time	: 1sec
Number of Frames	: 1

2 SettingをOnにする。

インターバルレックモードになります。画面の特殊記録モード表示がONになっているときは、画面右上で「Interval Rec」が点滅します。

3 Interval Timeで撮影の間隔を設定する。

表示をスクロールすることによって、1~10/15/20/30/40/50 sec、1~10/15/20/30/40/50 min、1~4/6/12/24 hour から選択できます。

4 Number of Framesで、1度に記録する画像フレーム数を選択する。

Video Format (47ページ) がHQ 1280/60PまたはHQ 1280/50Pに設定されているときは、2、6、12フレームから選択できます。

それ以外に設定されているときは、1、3、6、9フレームから選択できます。

5 メニューを抜ける。

インターバルレックモードで撮影する

事前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

REC START/STOPボタンを押す。

インターバルレックモードでの記録が開始されます。
画面右上の「Interval Rec」表示が点滅から点灯に変わります。

ご注意

- インターバルレックモードで記録が行われている間は、Interval TimeおよびNumber of Framesの設定値は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- インターバルレックモードで記録を開始すると、インターバル期間を含め、レックレビュー操作はできません。
- インターバルレックモードでは、タイムコードはRec Runモードで記録されます(66ページ参照)。
- インターバルレックモードで記録を停止したときや、記録停止中にスロットを切り換えたときは、余分なフレームが記録されることがあります。

記録を終了する

REC START/STOPボタンを押す。

インターバルレックモードの記録が停止します。
もう1度押すと、インターバルレックモードの記録が再開します。

インターバルレックモードを解除する

CAMERA SETメニューでInterval RecのSettingをOffにします。

ご注意

本機の電源スイッチをOFFにした場合も、Interval RecのSettingは自動的にOffに戻ります。ただしInterval TimeおよびNumber of Framesの設定値は保持されます。

フレームレック: コマ撮りする

フレームレック機能は、クレイアニメなどの撮影をするときに有効です。

記録開始ボタンを押すたびに、あらかじめ設定したフレーム数(Number of Frames)だけ間欠的に映像を記録します。

三脚などに本機を固定して、本体のREC START/STOPボタンの代わりにリモコンのボタンで操作することをお勧めします。

ご注意

- フレームレックは、インターバルレック、キャッシュレック、スロー&クイックモーションと同時にOnにすることはできません。フレームレックをOnにすると、インターバルレック、キャッシュレック、スロー&クイックモーションは強制的にOffになります。
- フレームレックモードでは、音声は記録できません。
- OTHERSメニューのVideo FormatでHD SPモードまたはSDモードのフォーマットが選択され、かつi.LINK I/OがHDVまたはDVCAMに設定されているときは、フレームレックモードにできません。
- OTHERSメニューのVideo FormatがSP 1440/24Piに設定されているときは、フレームレックはできません。

撮影前の設定

フレームレックで記録を始める前に、あらかじめCAMERA SETメニューで設定を行ってください。

- ◆ メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(129ページ)をご覧ください。

1 CAMERA SETメニューのFrame Recを選択する。



2 SettingをOnにする。

フレームレックモードになります。画面の特殊記録モード表示がONになっているときは、画面右上で「Frame Rec」が点滅します。

3 Number of Framesで、1度に記録する画像フレーム数を選択する。

Video Format (47ページ) が、HQ 1280/60PまたはHQ 1280/50Pに設定されているときは、2、6、12フレームから選択できます。

それ以外に設定されているときは、1、3、6、9フレームから選択できます。

4 メニューを抜ける。

フレームレックモードで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

1 REC START/STOPボタンを押す。

フレームレックモードでの記録が始まります。画面右上のFrame Rec表示が点滅から点灯に変わります。

メニューのNumber of Framesで設定したフレーム数を記録すると、自動的にFRM STBY (フレームレックスタンバイ) 状態になります。

2 再度 REC START/STOPボタンを押す。

REC START/STOPボタンを押すたびに、Number of Framesで設定したフレーム数を記録し、自動的にFRM STBY状態になります。

ご注意

- 設定されたフレーム数の記録が終わるまでは、記録途中で停止することはできません。記録途中で電源スイッチがOFFになったときは、設定されたフレーム数の記録が終了してから、電源が切れます。
- フレームレックモードで記録が行われている間は、レックレビュー操作はできません。
- フレームレックモードで記録が行われている間は、Number of Framesの設定値は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- フレームレックモードでは、タイムコードはRec Runモードで記録されます (66ページ参照)。
- フレームレックモード記録を停止したときや、記録停止中にスロットを切り換えたときは、余分なフレームが記録されることがあります。

記録を終了する

CAMERA SETメニューでFrame RecのSettingをOffにする。

記録が停止し、フレームレックモードが解除されます。

ご注意

本機の電源スイッチを OFF にした場合も、Frame RecのSettingは自動的にOffに戻ります。ただしNumber of Framesの設定値は保持されます。

キャッシュレック: さかのぼって記録する

ピクチャーキャッシュ機能を使用すると、撮影している映像を、指定した時間内蔵キャッシュメモリーに蓄えておくことによって、記録開始以前にさかのぼって映像を SxS メモリーカードに記録することができます。蓄積時間は最大15秒です。

ご注意

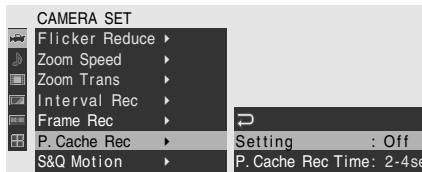
- ピクチャーキャッシュは、フレームレック、インターバルレック、スロー&クイックモーションと同時に On にすることはできません。ピクチャーキャッシュを On にすると、フレームレック、インターバルレック、スロー&クイックモーションは強制的に Off になります。
- 下記の操作を行うとピクチャーキャッシュが Off になります。
 - インターバルレックを On にする。
 - フレームレックを On にする
 - スロー&クイックモーションを On にする
 - 記録フォーマットを切り換える
- ピクチャーキャッシュが On のときは、タイムコードは TC/UB SET メニューの設定に関わらず常に Free Run モードで記録されます (66 ページ参照)。

撮影前の設定

あらかじめ CAMERA SET メニューで設定を行ってください。

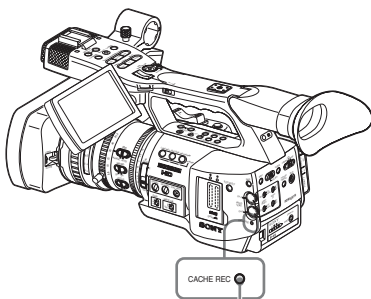
- ◆メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(129 ページ) をご覧ください。

1 CAMERA SETメニューのP.Cache Recを選択する。



2 SettingをOnにする。

ピクチャーキャッシュ機能が有効になり、CACHE RECランプが点灯します。



CACHE RECランプ

アサインボタンに Picture Cache (ピクチャーキャッシュ機能) を割り当てて、ボタン操作で Setting On/Off の切り換えをすることもできます。

- ◆機能の割り当てかたについては、「アサインボタンの機能を変更する」(75 ページ) をご覧ください。

3 P.Cache Rec Timeで蓄積時間を選択する。

0-2 sec、2-4 sec、4-6 sec、6-8 sec、8-10 sec、13-15 sec から選択できます。(実際にさかのぼって記録される時間は、選択した時間の範囲内で条件によって変化します。)

4 メニューを抜ける。

画面上の特殊記録 / 動作状態表示部に「● CACHE」(●は緑) が点灯します。

キャッシュレックを実行する

記録を開始する

CACHE RECランプが点灯していることを確認し、REC START/STOPボタンを押す。

記録が開始され、キャッシュメモリーに蓄積されている映像からSxSメモリーカードに書き込まれます。

キャッシュレック実行中は、画面上の「●CACHE」表示の●が赤に変わります。

記録を終了する

REC START/STOPボタンを押す。

ピクチャーキャッシュ機能を解除する

CAMERA SETメニューのP.Cache RecでSettingをOffにするか、Picture Cacheを割り当てたアサインプルボタンを押します。

ご注意

- 記録フォーマットが変更されると、それまで蓄えていた映像をクリアし、新たに蓄積を開始します。従って、変更直後に記録を開始しても、フォーマット変更前の映像はキャッシュレックできません。
- SxSメモリーカード挿入直後にキャッシュレックの開始 / 終了操作を行った場合は、データがカードに記録されないことがあります。
- 画像の蓄積は、ピクチャーキャッシュ機能をOnにしてから開始されます。したがって、Onにする前の映像はキャッシュレックできません。
- 外部入力信号 (HDV) に対しては、ピクチャーキャッシュ機能は動作しません。
- 再生、レックレビュー、サムネイル画面表示など、SxSメモリーカードにアクセスしている間は映像を蓄えないため、この間の映像はキャッシュレックできません。
- 記録中でもメニュー操作で蓄積時間の設定を変更することができますが、実際に値が変化するのは、記録終了後になります。

スロー&クイックモーション撮影する

本機がHDモードで、ビデオフォーマット(47ページ)が下記のいずれかに設定されているときは、記録時のフレームレートを再生時のフレームレートと異なる値に設定することができます。

NTSC Area

HQ 1920/30P, HQ 1920/24P, HQ 1280/60P
HQ 1280/30P, HQ 1280/24P

PAL Area

HQ 1920/25P, HQ 1280/50P, HQ 1280/25P

再生フレームレートと異なるフレームレートで撮影することによって、通常で撮影した映像を低速再生したり高速再生するよりも、滑らかなスローモーション、クイックモーション映像が得られます。

例

ビデオフォーマットがHQ 1280/24Pのとき、フレームレートを1~23 fpsに設定して撮影するとクイックモーション映像になり、25~60 fpsに設定して撮影するとスローモーション映像になります。

ご注意

- SDモードではスロー&クイックモーション撮影はできません。
- OTHERSメニューのi.LINK I/OがHDVまたはDVCAMに設定されているときは、スロー&クイックモーションモードは使用できません。
- スロー&クイックモーションモードに設定すると、フレームレック、インターバルレック、ピクチャーキャッシュは強制的にOffになります。ただしフレームレック、インターバルレック、キャッシュレックで記録実行中は、スロー&クイックモーションモードに設定することはできません。
- 再生フレームレートと異なる撮影フレームレートを設定した場合、音声は記録できません。

撮影前の設定

スロー&クイックモーションで記録を始める前に、あらかじめCAMERA SETメニューで設定を行ってください。

- ◆メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(129ページ)をご覧ください。

1 CAMERA SETメニューのS&Q Motionを選択する。



2 On Formatでスロー&クイックモーションモードでの撮影ビデオフォーマットを選択する。

3 Frame Rateで撮影フレームレートを選擇する。

設定されているビデオフォーマットによって選択範囲が異なります。

水平画素数1920のフォーマット：

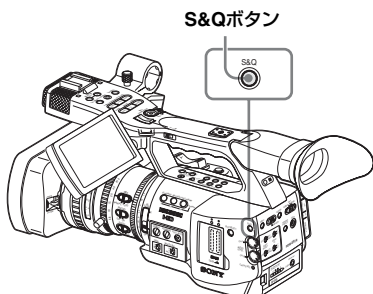
1~30 fps

水平画素数1280のフォーマット：

1~60 fps

4 メニューを抜ける。

5 S&Qボタンを押す。

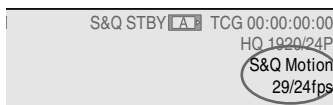


スロー&クイックモーションモードに設定されます。

画面の特殊記録モード表示がオンになっているときは、画面上に「S&Q Motion」が点灯します。

ダイレクトメニューで撮影フレームレートを設定する

画面の特殊記録モード表示がオンになっているときは、S&Q Motionの下に[撮影フレームレート]/[再生フレームレート]fpsが表示されます。



十字スティックまたはジョグダイヤルを使用して、ダイレクトメニューで撮影フレームレートを切り換えることができます。

- ◆ダイレクトメニューについて詳しくは、「ダイレクトメニュー操作」(25ページ)をご覧ください。

スロー&クイックモーションモードで撮影する

記録を開始する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

REC START/STOPボタンを押す。

スロー&クイックモーションモードでの記録が始まります。

S&Q Motionメニューで選択したフォーマット (On Format) とフレームレート (Frame Rate) で記録されます。

ご注意

- スロー&クイックモーション撮影中は、On FormatおよびFrame Rateの設定は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。

- スロー&クイックモーション撮影では、タイムコードはRec Runモードで記録されません（66ページ参照）。

記録を終了する

REC START/STOPボタンを押す。

スロー&クイックモーションモードでの記録が停止します。

ご注意

遅いフレームレートで撮影していた場合は、REC START/STOPボタンを押してから記録が停止するまでに時間がかかる場合があります。

スロー&クイックモーションモードを解除する

S&Qボタンを押します。

ご注意

本機の電源スイッチをOFFにした場合も、スロー&クイックモーションモードは自動的に解除されます。ただし、On FormatとFrame Rateの設定値は保持されます。

フリーズミックス： 位置を合わせる

フリーズミックス機能を使うと、HDモードで記録したクリップの映像の静止画（フリーズ画）と、カメラ入力画像を一時的に重ね合わせて表示することができるため、位置合わせが簡単に行えます。

フリーズミックスを使用する

あらかじめアサインابلボタンのひとつにFreeze Mix（フリーズミックス機能）を割り当てます。

- ◆ 機能の割り当てかたについては、「アサインابلボタンの機能を変更する」（75ページ）をご覧ください。

フリーズミックス表示する

- 1 記録を停止して、**STBY（記録待機）**状態にする。
- 2 **REC REVIEW**ボタンまたは**Freeze Mix**を割り当てた**ASSIGN**ボタンを押してレックレビューする。
- 3 位置合わせをしたいレビュー画像で、**Freeze Mix**を割り当てた**ASSIGN**ボタンを押す。

手順3でASSIGNボタンを押したときの画像が、フリーズ画としてカメラ入力画像に重ねて表示されます。

フリーズミックス表示を解除する

ASSIGNボタンまたはREC START/STOPボタンで解除できます。

- Freeze Mixを割り当てたアサインابلボタンを押してフリーズミックス表示を解除すると、通常のカメラ画像になります。
- REC START/STOPボタンを押してフリーズミックス表示を解除すると、通常の記録が始まります。

ご注意

- SD モードではフリーズミックスは使用できません。
- HDモードでも、記録ビデオフォーマットが SP 1440/24Pに設定されている場合は、フリーズミックスは使用できません。
- 記録された画像とカメラ入力画像の Video Format の設定が異なる場合は、フリーズミックス表示はできません。
- スロー&クイックモーションモード、スローシャッター撮影時は、フリーズミックス表示はできません。
- フリーズミックス表示中は、セットアップメニュー、ピクチャープロファイルメニューは操作できません。

ショットランジション

ショットランジションとは、撮影手順に沿ってカメラの設定や機能をショットとして登録しておくことで、手間のかかる映像効果を容易に得るための機能です。

この機能を使って、あらかじめフォーカス、ズーム、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランス、カラーマトリクス、ディテールレベルの設定をショットとして登録しておくことによって、現在の画像から登録したショット、またはショットから別のショットへ、なめらかに遷移することができます。

例えば、画面手前にフォーカスが合っている状態から徐々に画面奥の被写体にフォーカスを移動したり、アイリスを設定して被写界深度を変化させることができます。また、ホワイトバランスなどの手動調節機能を登録して、屋内の被写体から屋外の被写体へと、異なる撮影環境の間も、なめらかに場面を切り換えることができます。

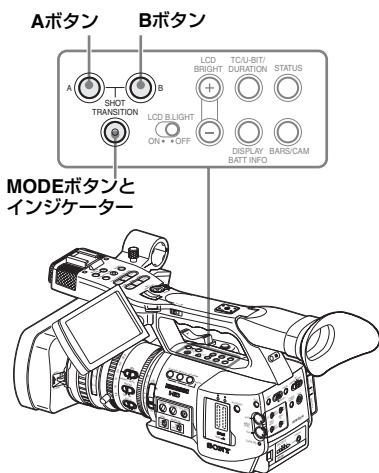
ご注意

- インターバルレック、フレームレック、スロー&クイックモーション、超高感度スローシャッター (EX Slow Shutter) の各機能に、ショットランジションを組み合わせることはできません。
- ショットランジションでフォーカスを遷移させたい場合は、フォーカスをMFまたはAFモードに設定してください(62ページ参照)。Full MFモードになっていると、フォーカスが遷移しません。
- ショットランジションでズームを遷移させたい場合は、ZOOMスイッチをSERVOに設定してください (59ページ参照)。MANUALになっていると、ズームが遷移しません。
- MACRO スイッチを ON にしてマクロ領域のフォーカスポジションを登録した後、MACRO スイッチを OFF に切り換えてショットランジションを実行すると、登

録したフォーカスポジションまで遷移できない場合があります。

ショットトランジション操作部と画面表示

ショットトランジション操作には、本体上面操作パネルの3つのTRANSITION操作ボタンを使用します。



A ボタン、B ボタン

それぞれにショットを登録できます。

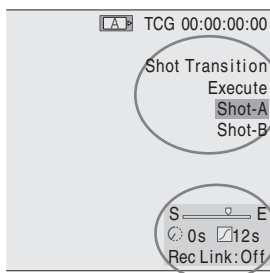
MODE ボタンとインジケーター

押しとショットトランジション操作モードになり、インジケーターが点灯します。画面にショットトランジション操作エリアが表示されます。

ボタンを押すたびに、ショットトランジション操作モードが、Store、Check、Execute、Off (通常のカメラモード) の順で切り換わります。

Executeモードでは、ショットトランジション操作エリアの下にショットトランジション情報エリアが表示されます。

ショットトランジション操作エリア



ショットトランジション情報エリア

ご注意

ショットトランジション操作モードが、Check、Executeになっているときは、カメラ操作はできません。調整が必要なときは、操作モードをStoreに切り換えてください。

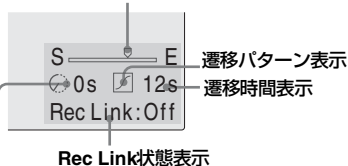
撮影前の設定

ショットトランジションを使って記録を始める前に、あらかじめCAMERA SETメニューのShot Transitionで必要な設定を行ってください。

設定内容は、ショットトランジション操作モードをExecuteにするると画面右下のショットトランジション情報エリアにアイコンなどで表示されます。

ショットトランジション情報エリア

ショットトランジション進捗表示



スタートタイマー表示

設定手順

- 1 CAMERA SETメニューのShot Transitionを選択する。

CAMERA SET	
Gain Setup	Trans Time : 2sec
Shutter	Trans Speed : 5
EX Slow Shutter	Time/Speed : Speed
Shot Transition	Trans Curve : Soft Stop
MF Assist : Off	Start Timer : Off
Color Bar Type : Multi	Rec Link : Off

2 ショットトランジション実行時の条件を設定する。

Trans Time

Time/SpeedをTimeにしたとき、ショットトランジション実行時の遷移時間を、2～15 secの範囲で1 sec刻みで設定します。

Trans Speed

Time/Speed を Speed にしたとき、ショットトランジション実行時のズームの遷移速度（TELE端からWIDE端へ一定速度で移動する時間）を設定します。設定範囲は1～10です。数字が大きければ速くなります。


Time/Speed

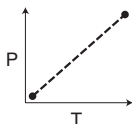
ショットトランジション実行時の遷移時間を、遷移時間で設定するか、ズームの遷移速度で設定するかを選択します。

設定	内容
Time	Transition Timeの設定が有効
Speed	Transition Speedの設定が有効


Trans Curve

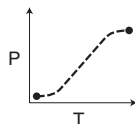
ショットトランジションの遷移パターンを設定します。設定したパターンのアイコンがショットトランジション情報エリアに表示されます。


設定とアイコン	内容
	直線的に遷移する。

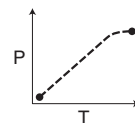


設定とアイコン	内容
---------	----

Soft Trans  開始直後と終了間際はゆっくり遷移し、中間は直線的に遷移する。



Soft Stop  終了間際はゆっくり遷移する。



P:パラメーター量 T:時間の遷移

Start Timer

記録開始から、ショットトランジションの実行開始までの時間を設定します。スタートタイマーによるトランジションの遷移開始前は、ショットトランジション情報エリアにタイマー値がカウントダウン表示されます。

Rec Link

ショットトランジションの実行開始と遷移するショットの選択を記録開始とリンクさせるかどうかを設定します。設定状態はショットトランジション情報エリアに表示されます。

Off : 記録開始とリンクしない。

(ショットトランジションの実行開始とショットの選択をA/Bボタンの操作で行う。)

Shot-A : 記録開始とリンクしてShot-Aへの遷移を開始する。

Shot-B : 記録開始とリンクしてShot-Bへの遷移を開始する。

3 設定が終わったらメニューを抜ける。

ショットを登録する

A、Bの2種類のショットを登録できます。

1 **MODE** ボタンを押して、ショットトランジション操作エリアに**Store**を表示させる。

- 2 ショットに登録したい画像になるようにカメラを調整する。
- 3 調整が終わったら、ショットAボタンまたはショットBボタンを押す。

押したボタンの側にカメラ設定値が登録されます。

登録したカメラ設定値は、次に登録し直すまで保持されます。

登録したショットを確認する

- 1 **MODE** ボタンを押して、ショットトランジション操作エリアに**Check**を表示させる。
- 2 確認したいショットに登録した側のボタン（**A**または**B**）を押す。

登録したショットのカメラ設定値の画像に変わります。

この操作では、実際に遷移する様子を確認することはできません。

ショットトランジション撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

Rec Linkの設定によって操作が異なります。

現在の画像から登録したショットに遷移させる

- 1 記録を開始したい画像になるようにカメラを調整する。
- 2 **MODE** ボタンを押して、ショットトランジション操作エリアに**Execute**を表示させる。
- 3 **REC START/STOP** ボタンを押す。
記録が始まります。
- 4 **Rec Link Off** のときは、ショットトランジションを開始したいタイミングで、遷移したいショットに登録した側のボタン（**A**または**B**）を押す。

記録中のカメラ設定から、ショットに登録したカメラ設定に向かって遷移します。

Rec Linkが**Shot-A**または**Shot-B**のときは、それぞれショットAまたはショットBに登録したカメラ設定値に向かって、自動的に遷移します。Aボタン、Bボタンを押す必要はありません。

ご注意

- ショットトランジションが開始された後は、手順1の状態に戻ることはできません。再現する必要がある場合はショットとして登録してください。
- i.LINK 接続した外部機器を本機の **REC START/STOP** に連動させて記録した場合、外部機器の性能によっては、**Rec Link**を**Shot-A**または**Shot-B**に設定しても、外部機器の録画開始とショットトランジションの開始タイミングが合わない場合があります。

ショットAからショットBに遷移させる

Rec Linkが**Off**または**Shot-B**のときは、ショットAからショットBに遷移させることができます。

- 1 **MODE** ボタンを押して、ショットトランジション表示画面に**Check**を表示させる。
- 2 **A**ボタンを押す。
ショットAに登録したカメラ設定値の画像となります。
- 3 **MODE** ボタンを押して、ショットトランジション表示画面に**Execute**を表示させる。
- 4 **REC START/STOP** ボタンを押す。
ショットAに登録したカメラ設定値で、記録が始まります。
- 5 **Rec Link Off** のときは、ショットトランジションを開始したいタイミングで、**B**ボタンを押す。
Rec Linkが**Shot-B**のときは、ショットBに登録したカメラ設定値に向かって、自

動的に遷移します。Bボタンを押す必要はありません。

ショットBからショットAに遷移させる

Rec LinkがOffまたはShot-Aのときは、ショットBからショットAに遷移させることができます。

- 1 MODE ボタンを押して、ショットトランジション操作エリアにCheckを表示させる。**
- 2 Bボタンを押す。**
ショットBに登録したカメラ設定値の画像になります。
- 3 MODEボタンを押して、ショットトランジション操作エリアにExecuteを表示させる。**
- 4 REC START/STOPボタンを押す。**
ショットBに登録したカメラ設定値で、記録が始まります。
- 5 Rec Link Offのときは、ショットトランジションを開始したいタイミングで、Aボタンを押す。**
Rec LinkがShot-Aのときは、ショットAに登録したカメラ設定値に向かって、自動的に遷移します。Aボタンを押す必要はありません。

記録を終了する

記録が終わったら、REC START/STOPボタンを押してください。

トランジション実行中に記録を中止するには

記録中にREC START/STOPボタンを押すと、ショットトランジション実行中でも、記録が停止します。
停止した時点の設定値でカメラのEE画になります。

ショットトランジションを解除する

MODEボタンを押して、インジケータを消灯させます。

LCDモニター/EVFは通常の画面に戻ります。

フェーダー機能

フェーダー機能を使用すると、フェードインで記録を開始したり、フェードアウトで記録を終了することができます。

アサインブルボタンにフェーダー機能を割り当てて操作することもできます。

- ◆機能の割り当てかたについては、「アサインブルボタンの機能を変更する」(75ページ)をご覧ください。

ご注意

- インターバルレック、フレームレック、スロー&クイックモーション、超高感度スローシャッター (EX Slow Shutter) の各機能と、フェーダーを組み合わせることはできません。
- フェードインで記録したクリップのサムネイル画像 (106ページ参照) は全体が白い画面または黒い画面になります。HDモードのクリップでは代表画を変更すると識別しやすくなります。
- i.LINK 接続した外部機器を本機の REC START/STOP に連動させて記録した場合、外部機器の性能によっては、外部機器の録画開始とフェードインの開始タイミング、外部機器の録画終了とフェードアウトの終了タイミングが合わない場合があります。

撮影前の設定

あらかじめ次の手順でフェーダー機能の設定を行ってください。

- 1 CAMERA SETメニューのFaderを選択する。**

CAMERA SET	
Interval Rec	▶
Frame Rec	▶
P. Cache Rec	▶
S&Q Motion	▶
Rec Review	: 3sec
Fader	▶
TLCS	▶
Fade In	: Off
Fade In Type	: Black
Fade In Time	: 2sec
Fade Out	: Off
Fade Out Type	: Black
Fade Out Time	: 2sec

2 フェードインの条件を設定する。

Fade In

フェードインで開始するときは On にします。
(アサインボタンで操作する場合はメニューで On にする必要はありません。)

Fade In Type

フェードイン時の初期状態を選択します。

White: 全体が白い画面からフェードインする。

Black: 全体が黒い画面からフェードインする。

Fade In Time

フェードインの遷移時間 (1/2/3/5/10 sec) を設定します。

3 フェードアウトの条件を設定する。

Fade Out

フェードアウトで記録を終了するときは On にします。

(アサインボタンで操作する場合はメニューで On にする必要はありません。)

Fade Out Type

フェードアウト時の最終状態を設定します。

White: 全体が白い画面にフェードアウトする。

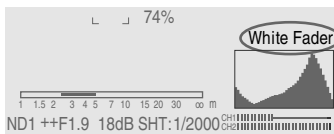
Black: 全体が黒い画面にフェードアウトする。

Fade Out Time

フェードアウトの遷移時間 (1/2/3/5/10 sec) を設定します。

4 メニューを抜ける。

- メニューで Fade In を On にしたときは、メニューを抜けると同時にフェードインスタンバイ状態になります。
- 画面のフェーダー表示が ON になっているときは、Fade In Type で設定したフェードイン時の初期状態「White Fader」または「Black Fader」が点滅します。



アサインボタンを使うときは

アサインボタンに Fader 機能を割り当てた場合は、Fade In/Fade Out の On/Off を、ボタン操作で行えます。

フェードインの設定

本機が STBY (記録待機) モードのときに Fader 機能を割り当てた ASSIGN ボタンを押すと、フェードイン機能がオンになります。

フェードアウトの設定

本機が記録モードのときに Fader 機能を割り当てた ASSIGN ボタンを押すと、フェードアウトスタンバイ状態になります。

フェードインで記録を開始する

事前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

REC START/STOP ボタンを押す。

フェードインで記録が始まります。
設定したフェードインが完了すると、通常の記録モードになります。
フェードインタイプ表示は、フェードイン中は点灯し、フェードインが終わると消灯します。

フェードアウトで記録を終了する

- メニューで Fade Out を On にした場合は、本機が記録モードになると自動的にフェードアウトスタンバイ状態になります。
- 記録開始後に Fader 機能を割り当てた ASSIGN ボタンを押すと、フェードアウトスタンバイ状態になります。

フェードアウトを開始したい時点で REC START/STOP ボタンを押す。

フェードアウトが始まります。

フェードアウトが完了すると同時に記録が停止します。
フェードアウトタイプ表示は、フェードアウト中は点灯し、フェードアウトが終わると消灯します。

フェーダー機能を解除する

FaderメニューのFade In/Fade OutをOffにします。

ASSIGNボタン使用時は、もう一度ボタンを押すとOffになります。

ご注意

本機の電源スイッチを OFF にした場合も、Fade In/Fade Outは自動的にOffに戻ります。ただしメニューのTypeおよびTime設定は保持されます。

ピクチャープロファイル

撮影条件などに合わせて調整した設定値をピクチャープロファイルとして保存し、必要に応じて再現することが可能です。

ピクチャープロファイルを選択するだけで、希望の画質で記録することができます。

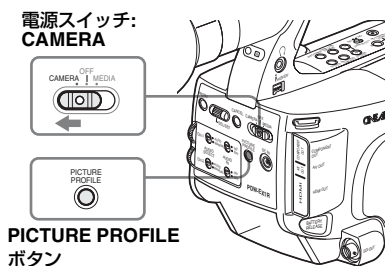
本機では、6種類のピクチャープロファイル(PP1~PP6)を登録することができます。工場出荷時は、すべて標準設定値(ピクチャープロファイルOffの場合と同じ)が登録されています。

ピクチャープロファイルの操作には、PICTURE PROFILEメニューを使用します。

ご注意

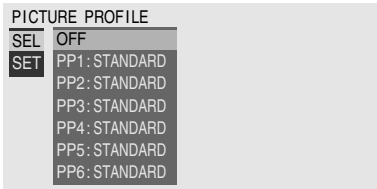
ピクチャープロファイルは、カメラモードでのみ操作できます。メディアモードでは操作できません。

ピクチャープロファイルを登録する

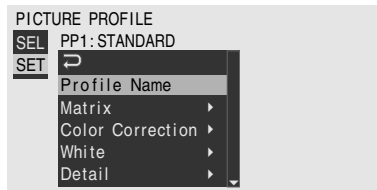


- 1 電源スイッチをCAMERA側にして、本機をカメラモードで起動する。
- 2 PICTURE PROFILEボタンを押す。
PICTURE PROFILEメニューが表示されます。
- 3 ジョグダイヤルまたは十字スティックを操作してSELを選択し、リスト

から登録するピクチャープロファイルの番号を選択する。



- 4 ジョグダイヤルまたは十字スティックを操作してSETを選択し、設定を変更する。



◆それぞれの設定項目については、「ピクチャープロファイル項目」(94ページ)をご覧ください。

- 5 設定が終わったら、PICTURE PROFILEボタンを押してメニューを抜ける。

ピクチャープロファイルを選択する

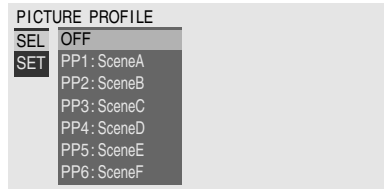
PICTURE PROFILEメニューでピクチャープロファイルを選択する

ピクチャープロファイルを登録しておく、呼び出すだけで登録された画質に調整することができます。

- 1 電源スイッチをCAMERA側にして、本機をカメラモードで起動する。
- 2 PICTURE PROFILEボタンを押す。PICTURE PROFILEメニューが表示されます。
- 3 ジョグダイヤルまたは十字スティックを操作してSELを選択し、リスト

からピクチャープロファイルを選択する。

例：

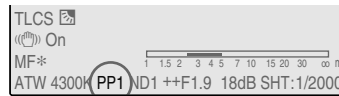


選択したプロファイルに応じた画質に調整されます。
(OFFを選択した場合は、画質は標準設定になり、調整はできません。)

- 4 PICTURE PROFILEボタンを押して、メニューを抜ける。

ダイレクトメニューでピクチャープロファイルを選択する

DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、現在選択されているピクチャープロファイルが画面に表示されます。



十字スティックまたはジョグダイヤルを使用して、ダイレクトメニューでピクチャープロファイルを選択できます。

◆ダイレクトメニューについて詳しくは、「ダイレクトメニュー操作」(25ページ)をご覧ください。

ピクチャープロファイルの設定をコピーする

選択したピクチャープロファイルの設定内容を、別のピクチャープロファイルにコピーすることができます。

- 1 前項「PICTURE PROFILEメニューでピクチャープロファイルを選択する」のように操作して、コピー元のピクチャープロファイルを選択する。

- 2 PICTURE PROFILEメニューのSETからCopyを選択する。**
画面下部にピクチャープロファイルの番号がリスト表示されます。
- 3 コピー先のピクチャープロファイルを指定する。**
Execute/Cancelが表示されます。
- 4 Executeを選ぶ。**
コピーが始まります。

コピーが終了すると、完了メッセージが3秒間表示され、元の画面に戻ります。

ピクチャープロファイルをリセットする

選択したピクチャープロファイルの設定内容を、工場出荷時の設定(標準値)に戻すことができます。

- 1 前述「PICTURE PROFILEメニューでピクチャープロファイルを選択する」のように操作して、リセットしたいピクチャープロファイルを選択する。**
- 2 PICTURE PROFILEメニューのSETからResetを選択する。**
Execute/Cancelが表示されます。
- 3 Executeを選ぶ。**
リセットが実行されます。

リセットが終了すると、完了メッセージが3秒間表示され、元の画面に戻ります。

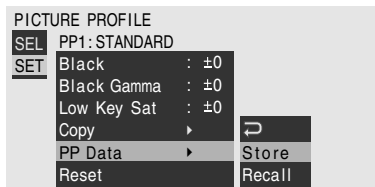
ピクチャープロファイルをSxSメモリーカードに保存する

選択したピクチャープロファイルの設定内容を、ファイル(ファイル名:PPDATA.SUF)としてSxSメモリーカードに書き出して保存することができます。
1枚のカードに1種類のピクチャープロファイルを保存できます。

保存したピクチャープロファイルは、カードから読み込んで直ちに再現することができます。

ピクチャープロファイルを保存する

- 1 電源スイッチをCAMERA側にする。**
本機の電源が入り、カメラモードになります。
- 2 書き込み可能なSxSメモリーカードをスロットに入れる。**
対応するACCESSランプが緑に点灯したことを確認してください。
- 3 保存したいピクチャープロファイルを選択する。**
選択したピクチャープロファイルの番号(PP1~PP6)が、画面下部に表示されます。
◆「ピクチャープロファイルを選択する」(91ページ)参照
- 4 PICTURE PROFILEメニューのSETを選択する。**
- 5 PP DataのStoreを選択する。**



画面下部にメッセージ「PP Data Store Execute/Cancel」が表示されます。

- 6 Executeを選ぶ。**
選択したピクチャープロファイルのSxSメモリーカードへの書き込みが始まります。

書き込みが終了すると、完了メッセージが3秒間表示され、元の画面に戻ります。

ご注意

保存を開始した後は、完了メッセージが表示されるまでSxSメモリーカードを抜かないでください。

保存したピクチャープロファイルを読み込む

- 1 **電源スイッチをCAMERA側にする。**
本機の電源が入り、カメラモードになります。
- 2 **読み込みたいピクチャープロファイルが保存されているSxSメモリーカードをスロットに入れる。**
対応するACCESSランプが、緑に点灯したことを確認してください。
- 3 **読み込む設定を反映させるピクチャープロファイルを選択する。**
選択したピクチャープロファイルの番号(PP1~PP6)が、画面下部に表示されます。
◆「ピクチャープロファイルを選択する」(91ページ) 参照
- 4 **PICTURE PROFILEメニューのSETを選択する。**
- 5 **PP DataのRecallを選択する。**
画面下部左に、メッセージ「PP Data Recall Execute/Cancel」が表示されません。
- 6 **Executeを選ぶ。**
SxSメモリーカードからピクチャープロファイルの読み込みが始まります。

手順3で選択したピクチャープロファイルへの書き込みが終了すると、完了メッセージが3秒間表示され、読み込んだ設定が直ちに反映されます。

ご注意

読み込みを開始した後は、完了メッセージが表示されるまでSxSメモリーカードを抜かないでください。

ピクチャープロフィール項目

PICTURE PROFILEメニューのSELでOffを選択したときの設定値を、太文字(例: **Standard**)で表示します。

PICTURE PROFILE SET			
項目	細目と設定値	内容	
Profile Name ピクチャープロフィール名の変更	プロフィール名	最大8文字のプロフィール名を設定する。 アルファベットの小文字a~z、大文字A~Z、数字0~9、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、およびスペースから選択。	
Matrix マトリクス演算による映像全体の色相の調整	Setting On / Off	Onにすると、マトリクス演算による映像全体の色相調整機能が有効になる。	
	Select Standard /High SAT / FL Light / Cinema	マトリクス演算に使用する内蔵プリセットマトリクスを選択する。	
	Level -99~+99 (±0)	映像全体の色の濃さ (Saturation) を調整する。	
	Phase -99~+99 (±0)	映像全体の色合い (Hue) を調整する。	
	R-G, R-B, G-R, G-B, B-R, B-G -99~+99 (±0)	それぞれ対応する係数を個別に設定し、映像全体の色相を微調整する。	
Color Correction 特定のエリアの色相のみの調整	Setting On / Off	Onにすると、特定エリアの色相調整機能が有効になる。(色相を調整できるのは1エリアのみで、複数エリアの色相の同時調整はできない。)	
	Area Detection ¹⁾ Execute/Cancel	実行すると、画面中央部の色を検出し、その色を中心にTarget Widthで設定された幅のエリアをColor Correctionでの調整対象とする。	
	Area Indication ²⁾ On / Off	Onにすると、画面上のColor Correctionの調整対象エリアに含まれる色の部分に対しゼブラパターンを表示する。	
	Target Phase 0~359 (130)	Color Correctionの調整対象エリアの中心の色を手動で設定する。	
	ご注意		Area Detectionを実行すると、Area Detectionの実行結果によって上書きされます。必要に応じて手動で微調整できます。
	Target Width 0~90 (40)	Color Correctionの対象エリアの色相の幅を設定する。	
	Level -99~+99 (±0)	設定対象の色に対する色の濃さ(Saturation)を設定する。	
Phase -99~+99 (±0)	設定対象の色に対する色合い(Hue)を設定する。		

PICTURE PROFILE SET

項目	細目と設定値	内容
White ホワイトバランスのオフセット、プリセットホワイトの色温度の設定	Offset White On / Off	Onにすると、ホワイトモードがメモリー Aまたはメモリー Bのときのオートホワイトバランス収束値、およびATWのときのATW動作の収束値を、色温度低めあるいは色温度高めにシフトさせる。
	Offset<A> -99~+99 (±0)	それぞれホワイトモードがメモリー A、メモリー B、ATWのときのATWに対するオフセットホワイト量の設定 (収束値のシフト量) を調整する。
	Offset -99~+99 (±0)	
	Offset<ATW> -99~+99 (±0)	
	Preset White 2100~10000 (3200)	ホワイトバランスモードでプリセットが選択されているときのプリセット色温度を100Kステップで調整する。
ご注意		
<ul style="list-style-type: none"> • ホワイトバランスがメモリー A、BモードになっているかATWが起動しているとき以外は、Offset Whiteの設定やOffsetの設定を変更しても、その変化を画面で確認することはできません。 • ホワイトバランスモードでプリセットが選択されているとき以外は、Preset Whiteの設定を変更してもその変化を画面で確認することはできません。 		
Detail HDモードの映像に付加するディテールの調整	Setting On / Off	Onにすると、HD映像にディテールが付加される。
	Level -99~+99 (±0)	HD映像に付加するディテールの大きさを調整する。
	Frequency -99~+99 (±0)	ディテールの中心周波数 (ディテールの太さ) を設定する。 中心周波数を高くするとディテールは細くなり、中心周波数を低くするとディテールは太くなる。
	Crispening -99~+99 (±0)	ノイズ成分を抑制するレベルを調整する。大きくすると、微小なディテール成分がなくなりレベルの大きいディテール成分のみ残るため、ノイズ感が少なくなる。小さくすると、微小なディテール成分も映像に付加されるが、ノイズも多くなる。
	H/V Ratio -99~+99 (±0)	ディテール成分の水平と垂直の比率を調整する。大きくすると垂直のディテール成分が水平に対し大きくなる。
	White Limiter -99~+99 (±0)	白側に付くディテールの大きさを制限する。
	Black Limiter -99~+99 (±0)	黒側に付くディテールの大きさを制限する。
	V DTL Creation NAM / Y / G / G+R	垂直ディテールを生成するための元とする信号を、NAM (GとRのどちらか大きい方)、Y、G、G+Rのいずれかから選択する。
	Knee APT Level -99~+99 (±0)	ニーアパーチャー (ニーポイントより上の部分に付けるディテール量) を調整する。

PICTURE PROFILE SET

項目	細目と設定値	内容
SD Detail SDモードの映像に付加するディテールの調整	Setting On / Off	Onにすると、SD映像にディテールが付加される。
	Level -99~+99 (±0)	SD映像に付加するディテールの大きさを調整する。
	Frequency -99~+99 (±0)	ディテールの中心周波数（ディテールの太さ）を設定する。 中心周波数を高くするとディテールは細くなり、中心周波数を低くするとディテールは太くなる。
	Crispening -99~+99 (±0)	ノイズ成分を抑制するレベルを調整する。大きくすると、微小なディテール成分がなくなりレベルの大きいディテール成分のみ残るため、ノイズ感が少なくなる。小さくすると、微小なディテール成分も映像に付加されるが、ノイズも多くなる。
	H/V Ratio -99~+99 (±0)	ディテール成分の水平と垂直の比率を調整する。大きくすると垂直のディテール成分が水平に対し大きくなる。
	White Limiter -99~+99 (±0)	白側に付くディテールの大きさを制限する。
	Black Limiter -99~+99 (±0)	黒側に付くディテールの大きさを制限する。
	V DTL Creation NAM / Y / G / G+R	垂直ディテールを生成するための元とする信号を、NAM（GとRのどちらか大きい方）、Y、G、G+Rのいずれかから選択する。
	Knee APT Level -99~+99 (±0)	ニーアパーチャー（ニーポイントより上の部分に付けるディテール量）を調整する。

PICTURE PROFILE SET		
項目	細目と設定値	内容
Skin Tone Detail 映像の特定の色相の部分に付加するディテールの大きさの調整	Setting On / Off	Onにすると、映像の特定の色相の部分に付加するディテールレベルの調整が可能になる。Offにするとディテールの大きさは映像の全域で同一になる。
	Level -99~+99 (±0)	映像の特定の色相の部分に付加するディテールレベルを調整する。
	Area Detection ¹⁾ Execute/Cancel	実行すると、画面中央部の色を検出し、その色を中心に幅を持たせた色の範囲をSkin Tone Detailでの調整対象にする。
	Area Indication ²⁾ On / Off	Onにすると、画面上のSkin Tone Detailの調整対象エリアに含まれる色の部分に対しゼブラ1パターンが表示される。
	Saturation -99~+99 (±0)	Skin Tone Detailを効かせる色の彩度（色の濃さ）の範囲を調整する。
Phase 0~359 (130)	Phase 0~359 (130)	Skin Tone Detailの調整対象エリアの色合い方向の中心値を調整する。
	ご注意 Area Detectionを実行すると、検出結果で得られた色の色合い相当の値に自動的に変更されます。	
	Width 0~90 (40)	Phaseで設定された色を中心にSkin Tone Detailの調整対象エリアに幅を持たせるときの色合い方向の幅を調整する。
		ご注意 Area Detectionを実行すると、自動的に40に戻ります。
Knee ニー（高輝度部分に圧縮をかける機能）の調整	Setting On / Off	Onにすると、映像の高輝度部分に圧縮がかかる。
	ご注意 以下のときは、Kneeは固定され、変更できません。 <ul style="list-style-type: none"> • Gamma設定がCINE1~4のとき • 電子シャッターがSLSモードのとき • EX Slow Shutterが動作しているとき 	
	Auto Knee On / Off	Onにすると、ニーをかけるレベルを、撮影している映像の輝度レベルから常に自動で最適に計算して動かす。Offにすると、撮影している映像のレベルに依存せず、ニーをかけるレベルを手動で調整できる。
	Point 50~109 (90)	Auto Kneeの設定がOffのとき、ニーポイントを設定する。
	Slope -99~+99 (±0)	Auto Kneeの設定がOffのとき、ニーの傾き（圧縮度合い）を調整する。
Knee SAT Level 0~99 (50)	ニーポイントより上の部分の色つき具合（ニーサチュレーション）を調整する。	

PICTURE PROFILE SET

項目	細目と設定値	内容
Gamma ガンマ補正のレベルの調整と、ガンマカーブの切り換え	Level -99~+99 (±0)	ガンマ補正のレベルを調整する。
	Select ³⁾ STD1 / STD2 / STD3 / STD4 / CINE1 / CINE2 / CINE3 / CINE4	ガンマ補正の基準カーブの種類を選択する。
Black ブラックの調整	-99~+99 (±0)	マスターブラックのレベルを調整する。
Black Gamma ブラックガンマレベルの調整	-99~+99 (±0)	映像の暗い部分のみを立てて階調をはっきりさせたり、逆に潰してノイズを抑えるブラックガンマ機能のレベルを調整する。
Low Key SAT ローキーサチュレーションの調整	-99~+99 (±0)	映像の暗い部分のみの色を濃くしたり、逆に薄くしてノイズを抑えるローキーサチュレーションのレベルを調整する。
Copy ピクチャープロファイルのコピー	Execute / Cancel	コピーを実行するときはExecuteを選択する。
PP Data ピクチャープロファイルの保存と読み出し	Store	ピクチャープロファイルをSxSメモリーカードに保存する。
	Recall	ピクチャープロファイルをSxSメモリーカードから読み出す。
Reset ピクチャープロファイルのリセット	Execute / Cancel	標準設定に戻すときはExecuteを選択する。

1)Area Detectionを実行するには

1. Area Detectionを選択する。

画面中央に検出領域を示す四角のマーカーが表示され、画面下に Execute/Cancelが表示されます。

2. Executeを選択する。

マーカー領域の色相検出を実行します。検出に成功すると完了メッセージが表示され、元の画面に戻ります。このときColor CorrectionまたはSkin Tone Detailの調整対象エリアはArea Detectionで検出された色を中心とするエリアに変更され、Area Indication（ゼブラパターン）が表示されます。検出に失敗した場合は、エラーメッセージが表示され、元の画面に戻ります。

2)Area IndicationのOn/Offは、PP1~PP6で連動して切り換わります。

3)GammaのSelectで選択できるガンマカーブ

STD1: STD2より暗部のコントラストを弱め、中間域のコントラストを強める。

STD2: STD3より暗部のコントラストを弱める。

STD3: 標準的な設定（工場出荷設定）

STD4: STD3より暗部のコントラストを強める。

CINE1: 暗部のコントラストをなだらかにし、かつ明部の階調変化をはっきりさせて、落ち着いた調子の映像にする。

CINE2: CINE1とほぼ同様の効果が得られるが、編集などにおいてビデオ信号100%以内で扱いたいときは、こちらを選択する。

CINE3: CINE1、CINE2より明部と暗部のコントラストを強め、かつ黒側の階調変化をはっきりさせる。

CINE4: CINE3よりさらに暗部のコントラストを強める。STDより暗部のコントラストは弱く、明部のコントラストは強い。

クリップを削除する

カメラモードでは、直前に記録したクリップの削除 (Last Clip DEL) およびSxSメモリーカードに記録されたクリップの一括削除 (All Clips DEL) が可能です。

◆メディアモードでのクリップ削除については、「クリップを削除する」(118ページ) をご覧ください。

直前に記録したクリップを削除する

Last Clip DEL機能を割り当てたアサインボタンまたはセットアップメニューを使用して、直前に記録したクリップを削除することができます。

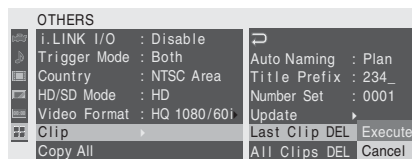
アサインボタンで削除する

あらかじめアサインボタンのいずれかにLast Clip DEL機能を割り当ててください(75ページ参照)。

- 1 Last Clip DEL機能を割り当てたアサインボタンを押す。**
確認メッセージが表示されます。
- 2 十字スティックまたはジョグダイヤルを操作して、「実行」(Execute)を選択する。**
最後に記録されたクリップが SxS メモリーカードから削除されます。

セットアップメニューで削除する

- 1 OTHERS メニューの Clip から Last Clip DELを選択する。**



- 2 Executeを選択する。**

確認メッセージが表示されます。

- 3 再度Executeを選択する。**

最後に記録されたクリップが SxS メモリーカードから削除されます。

◆メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(129ページ) をご覧ください。

クリップを一括削除する

セットアップメニューを使用して、現在選択されているスロットのSxSメモリーカードに記録されているクリップをまとめて削除することができます。

- 1 OTHERS メニューの Clip から All Clips DELを選択する。**
- 2 Executeを選択する。**
確認メッセージが表示されます。
- 3 再度Executeを選択する。**
すべてのクリップがSxSメモリーカードから削除されます。

ご注意

- HDモードとSDモードのクリップが混在記録されているSxSメモリーカードでは、現在選択されているモードのクリップのみ削除されます。
 - OK マークが付加されたクリップは削除されません。
- ◆OKマークについて詳しくは、「OKマークを付ける/OKマークを削除する (HDモードのみ)」(116ページ) をご覧ください。

設定データの保存と呼び出し

本機では、メニューの全設定データ（ピックアップファイルを含む）を、セットアップファイルとしてSxSメモリーカードに保存することができます。

保存したセットアップファイルを呼び出すことによって、適切なセットアップ状態をすばやく再現することができます。

セットアップファイルの保存と呼び出しには、OTHERSメニューのCamera Dataを使用します。

ご注意

Clock Set、Time Zone、Hours Meter（146ページ参照）の値は保存されません。

セットアップファイルを保存する

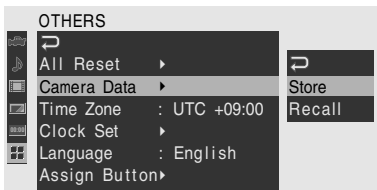
セットアップファイルは、1枚のSxSメモリーカードに1ファイルのみ保存できます。

1 セットアップファイルを保存する SxSメモリーカードをカードスロットに入れる。

入れたスロットに対応するSxSメモリーカードアイコンが画面に表示されることを確認してください。

もう1枚のSxSメモリーカードが選択されている場合は、SLOT SELECTボタンで切り換えてください。

2 OTHERSメニューのCamera Dataを選択する。



3 Storeを選ぶ。

Storeの右に、CancelとExecuteが表示されます。

4 Executeを選ぶ。

SxSメモリーカードへのデータの書き込みが始まります。

書き込み中は、画面に実行中メッセージが表示され、終了すると完了メッセージに変わります。

ご注意

- 手順1で指定したSxSメモリーカードにすでにセットアップファイルが保存されている場合は、上書きを許可するかどうかの確認メッセージが表示されます。
- SxSメモリーカードの容量が足りない場合はエラーメッセージが表示されます。

セットアップファイルを呼び出す

SxSメモリーカードに保存したセットアップファイルを呼び出すと、本機は保存された状態に設定されます。

1 セットアップファイルを保存した SxSメモリーカードをカードスロットに入れる。

画面にアイコンが表示されることを確認してください。もう1枚のSxSメモリーカードが選択されている場合は、SLOT SELECTボタンで切り換えてください。

2 OTHERSメニューのCamera Dataを選択する。

3 Recallを選ぶ。

Recallの右に、CancelとExecuteが表示されます。

4 Executeを選ぶ。

データの読み出しが始まります。

読み出し中は、画面に実行中メッセージが表示され、終了すると完了メッセージに変わり、セットアップファイルに従って本機の設定が変更されます。

標準設定値に戻す

OTHERSメニューでAll Resetを実行すると、メニューやボタン操作で変更した本機の状態を、すべて標準設定値(工場出荷時の設定)に戻すことができます。

プランニングメタデータ

プランニングメタデータとは、撮影・記録の計画情報が記述されている XML ファイルです。
プランニングメタデータファイルで、あらかじめ定義したクリップ名やショットマーク名を使用して、撮影を行うことができます。

プランニングメタデータファイルの例

```
<?xml:version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<PlanningMetadata
  xmlns="http://xmlns.sony.net/pro/metadata/planningmetadata"
  assignId="P0001" creationDate="2011-08-20T17:00:00+09:00"
  lastUpdate="2011-09-28T10:30:00+09:00" load="false" version="1.00">
  <PropriesspropertyId="assignment" update="2011-08-20T09:00:00+09:00"
  modifiedBy="Chris">
  <TitlespusAscii="Typhoon" xml:lang="ja">台風上陸</Title>
</Properties>
</PlanningMetadata>
```

本機では、以下の言語で定義されたクリップ名やショットマーク名を表示することができます。

- 英語
- 中国語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- オランダ語
- ポルトガル語
- スウェーデン語
- ノルウェー語
- デンマーク語
- フィンランド語

ご注意

- 上記以外の言語でクリップ名やショットマーク名を定義した場合、ビューファインダー画面およびLCDモニター画面に表示されない場合があります。
- フランス語、オランダ語、フィンランド語でクリップ名やショットマーク名を定義し

た場合、一部の文字が他の類似のフォントで表示されます。

- 日本語でクリップ名やショットマーク名を定義すると、一部の文字が他のフォントに置き換えられ、ビューファインダー画面に正しく表示されないことがあります。

プランニングメタデータファイルを読み込む

クリップの記録時にプランニングメタデータファイルと一緒に記録するには、撮影前にプランニングメタデータファイルを本機のメモリーに読み込んでおく必要があります。SxSメモリーカードの「BPAV/General/Sony/Planning」ディレクトリーに保存されたファイル(.xml)を読み込んでください。

プランニングメタデータを読み込む

OTHERSメニューのPlan.Metadataで以下の操作を行います。

- ◆メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(129ページ)をご覧ください。

- 1 メモリーカードスロット A または B に SxSメモリーカードを挿入する。
- 2 OTHERSメニューのPlan.MetadataでLoad / Slot(A)またはLoad / Slot(B)を選択し、Executeを選ぶ。

選択したスロットのカードに保存されているプランニングメタデータのファイルリストが表示されます。

ご注意

ファイルリストには、ファイルは64個まで表示されます。

プランニングメタデータファイルの総数が64個以下であっても、SxSメモリーカード内のプランニングメタデータファイルと同じディレクトリー (General/Sony/Planning) に512個以上のファイルがあると、すべてのプランニングメタデータファイルが表示されないことがあります。

- 3 読み込みたいプランニングメタデータファイルを選択する。

選択したプランニングメタデータの詳細情報が表示されます。

4 Loadを選択する。

確認メッセージ「Load Planning Metadata File?」が表示されます。

5 Executeを選択する。

選択したプランニングメタデータの読み込みが始まります。

読み込みが終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

ご注意

読み込みを開始した後は、完了メッセージが表示されるまで、SxSメモリーカードを抜かないでください。

プランニングメタデータの詳細情報を確認する

本機のメモリーに読み込んだプランニングメタデータのファイル名や作成日時、タイトルなどの詳細情報を確認することができます。

- 1 OTHERSメニューのPlan.MetadataでPropertiesを選択する。

2 Executeを選ぶ。

PLANNING METADATA PROPERTIES (プランニングメタデータ詳細情報)画面が表示されます。

以下の情報が表示されます。

項目	情報
File Name	ファイル名
Assign ID	アサインID
Created	ファイルの生成日時
Modified	ファイルの最終更新日時
Modified by	ファイルの更新者
Title1	ファイルで指定されたTitle1の内容 (ASCII形式のクリップ名)
Title2	ファイルで指定されたTitle2の内容 (UTF-8形式のクリップ名)
Material Gp	マテリアルグループ ^{a)} の数
Shot Mark1	ショットマーク1の名前
Shot Mark2	ショットマーク2の名前

a) マテリアルグループ：同じプランニングメタデータを使用して収録したクリップ群

ジョグダイヤルまたは十字スティックで項目をスクロールして表示することができます。

ファイル名やアサイン ID、クリップ名を全画面表示するには

プランニングメタデータ詳細情報画面で File Name または Assign ID、Title1、Title2 を選択し、ジョグダイヤルまたは十字スティックを押すと、選択した項目が全画面表示されます。長いファイル名やフリップ名も全体を表示することができます。

再度ジョグダイヤルまたは十字スティックを押すと、プランニングメタデータ詳細情報画面に戻ります。

ご注意

Shot Mark1 または Shot Mark2 を選んでも、ショットマーク名の全画面表示はできません。

読み込んだプランニングメタデータを消去する

本機のメモリーに読み込んだプランニングメタデータをメモリーから消去します。

1 OTHERS メニューの Plan.Metadata で Clear を選択し、Execute を選ぶ。

確認メッセージ「Clear Planning Metadata File?」が表示されます。

2 Execute を選択する。

消去が始まります。

消去が終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

プランニングメタデータでクリップ名を設定する

プランニングメタデータには、次の2種類のクリップ名文字列を記述することができます。

- ビューファインダー画面上に表示できる ASCII 形式の名称
- 実際にクリップ名として登録される UTF-8 形式の名称

OTHERS メニューの Plan.Metadata 内、Clip Name Disp で、どちらのクリップ名を表示するか選択することができます。

プランニングメタデータでクリップ名を設定すると、ビューファインダー画面の動作状態表示の下にクリップ名が表示されます。

ご注意

プランニングメタデータでクリップ名を設定するときに、ASCII 形式の名称と UTF-8 形式の名称が両方とも定義されている場合は UTF-8 形式の名称がクリップ名となります。プランニングメタデータで、ASCII 形式の名称または UTF-8 形式の名称のどちらか一方しか定義していない場合は、メニューの設定にかかわらず定義されているクリップ名が表示されません。

クリップ名文字列の記述例

テキストエディターを使用して、プランニングメタデータの <Title> タグの内容を変更します。

網掛け部分がクリップ名文字列です。

「Typhoon」は ASCII 形式（44 文字以下）で記述しています。「台風東京上陸」は UTF-8 形式（44 バイト以下）で記述しています。

「sp」はスペース、← は改行を表します。

```
<?xmlspversion="1.0"spencoding="UTF-8"?>←
<PlanningMetadataspxmlns="http://xmlns.sony.net/pro/metadata/planningmetadata"spassignId="P0001"spcreationDate="2011-08-20T17:00:00+09:00"splastUpdate="2011-09-28T10:30:00+09:00"spversion="1.00">←
  <PropertiessppropertyId="assignment"spupdate="2011-09-28T10:30:00+09:00"spmodifiedBy="Chris">←
    <TitlesspusAscii="Typhoon"spxml:lang="ja">台風東京上陸
  </Titles>←
</Properties>←
</PlanningMetadata>←
```

ご注意

- 実際にファイルを作成する場合は、改行位置でのみ改行し、「sp」が表示されていない位置にはスペースは入れずに1つの文として記述してください。
- クリップ名に使用できる有効文字数は 44バイト（または44文字）です。UTF-8形式で44バイトを超えるクリップ名を定義すると、44バイトまでの文字列がクリップ名に使用されます。ASCII形式のクリップ名のみ定義している場合は、ASCII形式の44文字までの文字列がクリップ名に使用されます。ASCII形式で記述した文字列、UTF-8形式で記述した文字列が、いずれもクリップ名として使用できない場合、クリップ名は標準形式となります。

プランニングメタデータで記述したクリップ名をつける

1 クリップ名を記述したプランニングメタデータファイルを本機のメモリーに読み込む（102ページ）。

2 OTHERSメニューのClipのAuto NamingでPlanを選択する。

記録を行うたびに、プランニングメタデータファイルに記述したクリップ名が、アンダーバー（_）と4桁の通し番号（0001～9999）が付加された形式で自動生成されます。

例：台風東京上陸_0001、台風東京上陸_0002、...
通し番号が9999に達したら、次の記録操作で0001に戻ります。

ご注意

他のプランニングメタデータを読み込むと、4桁の通し番号は0001に戻ります。

クリップ名の表示形式を選択するには

ASCII形式とUTF-8形式の両方の名前を定義しているときは、どちらの形式の名前をLCDモニター画面またはビューファインダー画面に表示するかを、OTHERS メニューのPlan.Metadata内、Clip Name Dispで選択することができます。

ASCII形式の名前を表示するときは：Title1を選択します。

クリップ名は「台風東京上陸_通し番号」となりますが、画面には「Typhoon_通し番号」が表示されます。

UTF-8形式の名前を表示するときは：Title2を選択します。

クリップ名は「台風東京上陸_通し番号」となり、画面に表示されます。

ご注意

日本語のクリップ名は、一部の文字が他のフォントで表示されることがあります。

プランニングメタデータでショットマーク名を設定する

ショットマーク1、2を記録するとき、プランニングメタデータで定義した文字列でショットマーク名を記録することができます。

ショットマーク名文字列の記述形式

テキストエディターを使用して、プランニングメタデータの<Meta name>タグの内容を変更します。

網掛け部分がショットマーク名文字列です。ASCII形式（32文字以下）、またはUTF-8形式（16文字以下）で記述します。「sp」はスペース、←は改行を表します。

ご注意

ASCII形式以外の文字が1文字以上含まれていれば、その文字列の最大長は16文字になります。

```
<?xmlspversion="1.0"spencoding="UTF-8"?>←
<PlanningMetadata xmlns="http://xmlns.sony.net/pro/metadata/planningmetadata"spassignId="H00123"spcreationDate="2011-04-15T08:00:00Z"splastUpdate="2011-04-15T15:00:00Z"spversion="1.00">←
<PropertiessppropertyId="assignment"spclass="original"spupdate="2011-04-15T15:00:00Z"sp
```



```

modifiedBy="Chris">←
  <Title_sp usAscii="Football
  Game" _sp xml:lang="ja">
  Football Game 15/04/2011
  </Title>←
    <Meta_sp name="_ShotMark1" _sp
    content="Goal"/>←
    <Meta_sp name="_ShotMark2" _sp
    content="Shoot"/>←
  </Properties>←
</PlanningMetadata>←

```

ご注意

実際にファイルを作成する場合は、改行位置でのみ改行し、ショットマーク名文字列以外では「`_sp`」が表示されていない位置にはスペースは入れずに1つの文として記述してください。

プランニングメタデータを一括コピーする

1枚のSxSメモリーカードのGeneralフォルダに記録されているプランニングメタデータを、別のSxSメモリーカードにまとめてコピーすることができます。

- 1 **OTHERSメニューのCopy AllからGeneral Filesを選択する。**
- 2 **コピーの方向を選択する。**
 A⇒B: スロットAのカードからスロットBのカードにコピーするとき
 B⇒A: スロットBのカードからスロットAのカードにコピーするとき
 確認メッセージ「Copy General Files?」が表示されます。
- 3 **Executeを選択する。**
 コピーが始まります。

SxSメモリーカードのGeneralフォルダに記載されているすべてのファイルがコピーされます。
 コピーが終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

サムネイル画面

電源スイッチをMEDIA側にして起動すると、本機はメディアモードになり、SxSメモリーカードに収録されているクリップが、サムネイル（縮小画）画面に表示されます。

（クリップが記録されていないカードを入れた場合は、メッセージが表示されます。）

サムネイル画面で選択したクリップから再生を開始することができます。

再生画像は、LCDモニター/EVF、外部ビデオモニターに表示できます。

◆外部ビデオモニターの接続については、「外部モニターを接続する」（150ページ）をご覧ください。

ご注意

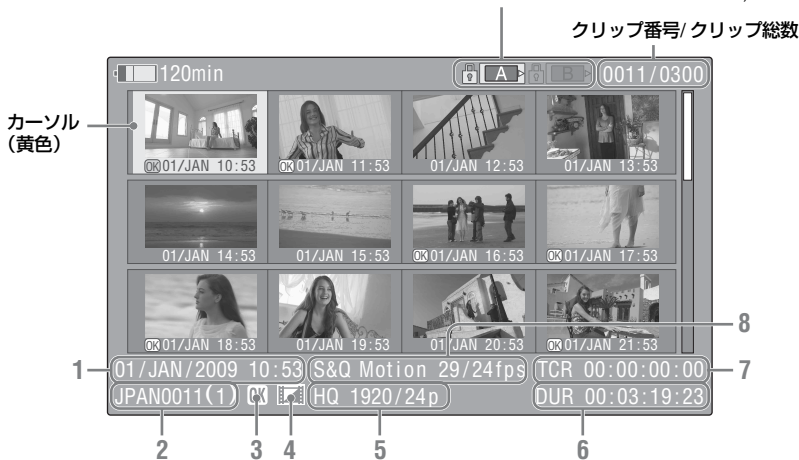
通常のサムネイル画面では、同じ SxSメモリーカードにHDモードとSDモードのクリップが混在して記録されている場合でも、現在 OTHERSメニューのHD/SD Modeで選択されているモード（48ページ）のクリップのみ表示されます。

HD/SDモードにかかわらず記録されている全クリップを表示したい場合は、オールクリップサムネイル画面（108ページ）に切り換えます。ただし、オールクリップサムネイル画面から再生を開始することはできません。

サムネイル画面の構成

HDモード

現在選択されているSxSメモリーカードをハイライト表示
（プロテクトされている場合は左にロックマーク表示）



各クリップの代表画像が、サムネイル（縮小画）として表示されます。

記録時にはクリップの先頭フレームが自動的に代表画に設定されます。

任意のフレームに変更することもできます（121ページ参照）。

それぞれの代表画像の下に、クリップの記録日と記録開始時刻が表示されます（OKマークが付加されている場合はOKマーク表示）。

1~8には、カーソル位置のクリップの情報が表示されます。

1. 収録日と録画開始時刻

2. クリップ名

3. OKマーク

選択したクリップにOKマーク（116ページ参照）が付加されている場合のみ表示されます。

4. AV単独ファイルアイコン

選択したクリップがAV単独ファイルの場合のみ表示されます。コンピューターでSxSメモリーカードに直接追加したファイルなど正規の管理ファイルがない場合で、すべての

操作と表示ができない可能性があることを示します。

5. 記録時のビデオフォーマット

6. クリップの収録時間（Duration）

7. タイムコード

代表画のタイムコードが表示されます。

8. 特殊記録撮影情報

特殊記録モード(S&Q Motion / Interval Rec / Frame Rec)で記録されたクリップの場合、そのモードが表示されます。S&Q Motion記録されたクリップの場合は、右に [撮影フレームレート / 再生フレームレート] が表示されます。

SDモード

現在選択されているSxSメモリーカードをハイライト表示
(プロテクトされている場合は左にロックマーク表示)



各クリップの先頭フレームが、サムネイル(縮小画)として表示されます。それぞれの先頭フレーム画像の下に、クリップの記録日と記録開始時刻が表示されます。ファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップの場合は、[] マークが表示されます。それぞれの分割ファイルは、クリップエクスポンド画面（119ページ）で見ることができます。

1~7には、カーソル位置のクリップの情報が表示されます。

1. 収録日と録画開始時刻

2. クリップ名

ファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、クリップ名の後に/ (スラッシュ) で区切ってクリップの分割数を表示します。

3. AV単独ファイルアイコン

選択したクリップがAV単独ファイルの場合のみ表示されます。コンピューターでSxSメモリーカードに直接追加したファイルなど正規の管理ファイルがない場合で、すべての操作と表示ができない可能性があることを示します。

4. 記録時のビデオフォーマット

5. クリップの収録時間 (Duration)

6. タイムコード

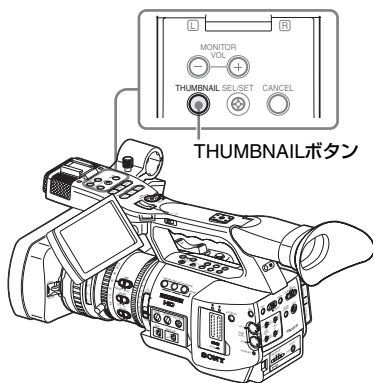
代表画のタイムコードが表示されます。

7. 特殊記録撮影情報

特殊記録モード (Interval Rec/Frame Rec) で記録されたクリップの場合は、そのモードが表示されます。

サムネイル画面の種類を変更する

THUMBNAILボタンを押すことによって、サムネイル画面の種類を切り換えることができます。



HD モード

ボタンを押すごとに、通常のサムネイル画面、OKクリップサムネイル画面、オールクリップサムネイル画面が切り換わります。

SD モード

ボタンを押すごとに、通常のサムネイル画面とオールクリップサムネイル画面が切り換わります。

OKクリップサムネイル画面を表示する (HDモード)

OKクリップサムネイル画面には、選択されているSxSメモリーカードに記録されたクリップの中で、OKマークが付加されたクリップのみが表示されます。

通常のサムネイル画面が表示されているときにTHUMBNAILボタンを押すと、OKクリップサムネイル画面に切り替ります。

- ◆カメラモードで OK マークを付加する方法については、「OKマークを付加する」(73ページ) をご覧ください。
- ◆メディアモードで OK マークを付加する方法については、「OK マークを付ける /OK マークを削除する (HDモードのみ)」(116ページ) をご覧ください。

オールクリップサムネイル画面を表示する

オールクリップサムネイル画面に切り換えると、HDモード、SDモードにかかわらず、記録されているすべてのクリップが表示され、選択されている SxS メモリーカードに他のモードのクリップも記録されているかどうかを確認することができます。

HDモードでは、OKクリップサムネイル画面が表示されているときに、THUMBNAILボタンを押すとオールクリップサムネイル画面に切り換ります。

SDモードでは、通常のサムネイル画面が表示されているときに、THUMBNAILボタンを押すとオールクリップサムネイル画面に切り換ります。

ご注意

オールクリップサムネイル画面から再生を開始することはできません。

もう一度THUMBNAILボタンを押すと通常のサムネイル画面に戻り、再生やクリップ操作が可能になります。

SxSメモリーカードを切り換える

SxSメモリーカードが2枚装着されているときは、SLOT SELECTボタンを押して切り換えます。

ご注意

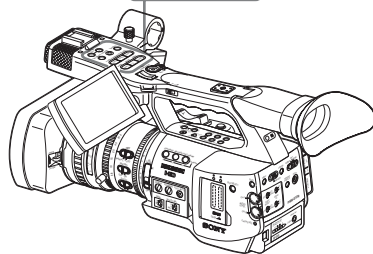
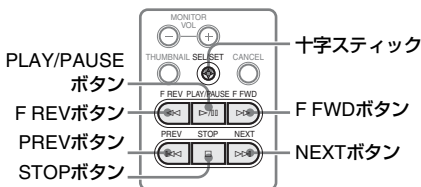
メディアモードでは、サムネイル画面が表示されているとき、またはSTOPボタンを押して外部入力画像が表示されているときのみ、切り換え可能です。

再生中にSxSメモリーカードを切り換えることはできません。

またスロットAからスロットBへの連続再生はできません。

クリップの再生

再生にはハンドル面操作パネルの再生コントロールボタンを使用します。



- 赤外線リモコンを有効にしたときは、リモコンのボタンでも操作できます (34ページ参照)。
- 十字スティックには、その時点のモードに応じて再生コントロールボタンの機能が割り当てられます (110ページ参照)。
- サムネイル画面でのカーソル移動や確定操作は、ジョグダイヤルで実行することもできます。

選択したクリップ以降のクリップを連続再生する

- 1 十字スティックを倒すかジョグダイヤルを回して、再生を開始したいクリップのサムネイルにカーソルを合わせる。
- 2 **PLAY/PAUSE**ボタンを押す。
選択したクリップの先頭から再生が始まります。

選択したクリップ以降のすべてのクリップを連続再生します。

最後のクリップの再生が終わると、最後のクリップの最終フレームで PAUSE（静止画）モードになります。

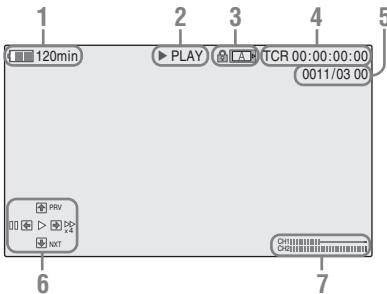
THUMBNAILボタンを押すと、サムネイル画面に戻ります。

ご注意

- クリップとクリップの境界では、一時的に画像が乱れたり、静止画になる場合があります。またこの間は、再生コントロールボタンやTHUMBNAILボタンは操作できません。
- サムネイル画面でクリップを選択して再生を開始すると、クリップの先頭部分の再生映像が乱れる場合があります。クリップの先頭から乱れない映像で再生するには、一度再生モードにした後で一時停止にし、PREV ボタンを押してクリップの先頭に戻して再生を行ってください。

再生中の画像に表示される情報

再生画像には、次のような情報が重ねて表示されます。



1. バッテリー残量/DC IN電圧表示

2. 再生モード表示

3. SxSメモリーカード表示

SxSメモリーカードがプロテクトされている場合は、左に マークが表示されます。

4. タイムデータ表示

再生画像のタイムデータが表示されます。TC/U-BIT/DURATIONボタンを押すたびに、

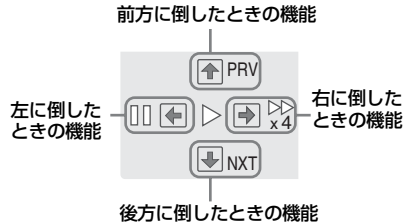
タイムコード (TCR) 表示とユーザービット (UB表示) が切り替わります。

5. クリップ番号/クリップ総数

6. 十字スティック操作ガイド表示

その時点での十字スティックの機能を表示します。

再生中の表示例：



ガイド表示	動作
	順方向高速再生 (x4, x15, x24)
	逆方向高速再生 (x4, x15, x24)
	標準再生
	一時停止
PRV	現在のクリップの先頭へ
NXT	次のクリップの先頭へ

7. オーディオレベル表示

記録時のオーディオレベルを表示します。

再生を一時停止する

PLAY/PAUSEボタンを押します。もう一度押すと再生モードに戻ります。

再生を中止する

次のいずれかで再生が中止されます。

THUMBNAILボタンを押す。

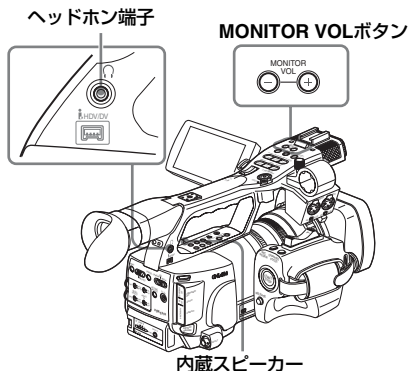
再生モードが解除され、サムネイル画面に戻ります。

STOPボタンを押す。

再生モードが解除され、外部入力画面またはブルー画面になります。サムネイル画面を表示させたいときはTHUMBNAILボタンを押してください。

音声を聞く

標準再生モードでは、記録されている音声を内蔵スピーカーまたはヘッドホンでモニターできます。



ヘッドホン端子にヘッドホンをつなぐと、内蔵スピーカーはオフになります。MONITOR VOLボタンを押して音量を調整します。調整中は、画面に音量レベルがバー表示されます。モニターするチャンネルは、AUDIO SETメニューのAudio Output (138ページ) で選択できます。

高速再生する

4倍速、15倍速、24倍速で、順方向、逆方向に高速再生できます。15倍速および24倍速の高速再生時は音声はオフになります。

順方向に高速再生するには

F FWDボタンを押します。

ボタンを押すたびに、再生速度(4倍速/15倍速/24倍速)が切り換わります。

逆方向に高速再生するには

F REVボタンを押します。

ボタンを押すたびに、再生速度(4倍速/15倍速/24倍速)が切り換わります。

標準再生に戻るには

PLAY/PAUSEボタンを押します。

頭出しする

現在のクリップの先頭に戻るには

PREVボタンを押します。

- 再生中またはF FWD中に押すと、現在のクリップの先頭にジャンプして再生を開始します。
- F REV 中または一時停止中に押すと、現在のクリップの先頭にジャンプして静止画を表示します。
- 続けて押すと、押すたびにひとつずつ前のクリップに移動します。

最初のクリップの先頭から再生するには

PREVボタンとF REVボタンを同時に押すと、SxSメモリーカードの最初に記録されたクリップの先頭にジャンプします。

後ろのクリップの先頭にジャンプするには

NEXTボタンを押します。

- 再生中または F FWD 中に押すと、次のクリップの先頭にジャンプして再生を開始します。
- F REV中または一時停止中に押すと、次のクリップの先頭にジャンプして静止画を表示します。
- 続けて押すと、押すたびにひとつずつ後ろのクリップに移動します。

最後のクリップの先頭から再生するには

F FWD ボタンと NEXT ボタンを同時に押すと、SxSメモリーカードの最後に記録されたクリップの先頭にジャンプします。

再生中にショットマークを追加する (HDモード)

記録時と同様に、ボタンを押すことによって再生中のクリップに、ショットマークを追加することができます。

ショットマークを入れたい部分で、**Shot Mark1**または**Shot Mark2**の記録機能を割り当てたアサインボタン、またはリモコンの**SHOTMARK 1**または**2**ボタンを押す。

ご注意

- SxS メモリーカードがプロテクトされている場合にはショットマークは記録できません。
- クリップの先頭と末尾にはショットマークは記録できません。

クリップ操作

メディアモードでは、クリップ操作メニューを使用してクリップの操作、詳細情報の確認、付随データの変更などが可能です。

下記の画面からそれぞれ対応するクリップ操作メニューを選択できます。

クリップ操作メニュー構成

サムネイル画面 (114ページ)

- CANCEL
- DISP CLIP INFO
- OK MARK ADD
- OK MARK DEL
- COPY CLIP
- DELETE CLIP
- SHOT MARK
- SHOT MARK1
- SHOT MARK2
- EXPAND CLIP

再生一時停止の静止画像 (114ページ)

- CANCEL
- DISP CLIP INFO
- OK MARK ADD
- SHOT MARK1 ADD
- SHOT MARK2 ADD
- EXPAND CLIP

クリップエクスパンド画面 (119ページ)

- CANCEL
- EXPAND(COARSE)
- EXPAND(FINE)
- PAUSE
- SET INDEX PIC
- SHOT MARK1 ADD
- SHOT MARK2 ADD
- SHOT MARK1 DEL
- SHOT MARK2 DEL
- DIVIDE CLIP

ショットマーク画面 (120ページ)

- CANCEL
- PAUSE
- SET INDEX PIC
- SHOT MARK1 DEL
- SHOT MARK2 DEL
- DIVIDE CLIP

ご注意

SDモードでは選択できるメニューが制限されます。

クリップ操作メニューの基本操作

クリップ操作メニューを表示させる

十字スティックまたはジョグダイヤルを押します。

表示されている画面に対応するクリップ操作メニューが表示されます。

クリップ操作メニューを選択する

ジョグダイヤルを回すか十字スティックを倒して機能を選択し、ジョグダイヤルまたは十字スティックを押してください。

CANCELボタンを押すと、操作前の画面に戻ります。

クリップ操作メニューでCANCELを選択すると、クリップ操作メニューが消えます。

ご注意

- SxSメモリーカードがプロテクトされているときは、クリップのコピー・削除・分割、代表画の変更、OKマーク、ショットマークの付加・削除はできません。
- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。

サムネイル画面のクリップ操作メニュー

サムネイル画面(106ページ)で十字スティックまたはジョグダイヤルを押すと、カーソル位置のクリップの操作メニューが表示されません。

項目	機能
DISP CLIP INFO	クリップの詳細情報画面を表示する(115ページ)。
OK MARK ADD ¹⁾	OKマークを付加する(116ページ)。
OK MARK DELETE ¹⁾	OKマークを削除する(116ページ)。
COPY CLIP	クリップを別のSxSメモリーカードにコピーする(116ページ)。
DELETE CLIP	クリップを削除する(118ページ)。
SHOT MARK ¹⁾	ショットマークが記録されているフレームをサムネイル表示する(120ページ)。

項目	機能
SHOT MARK1 ¹⁾	ショットマーク1が記録されているフレームのみをサムネイル表示する(120ページ)。
SHOT MARK2 ¹⁾	ショットマーク2が記録されているフレームのみをサムネイル表示する(120ページ)。
EXPAND CLIP	クリップエクスパンド画面に切り換える(118ページ)。

¹⁾HDモードでのみ有効。SDモードでは選択できません。

再生一時停止のクリップ操作メニュー

一時停止モードで静止画が表示されているときに十字スティックまたはジョグダイヤルを押すと、一時停止中のクリップの操作メニューが表示されます。

項目	機能
DISP CLIP INFO	クリップの詳細情報画面を表示する(115ページ)。
OK MARK ADD ¹⁾	OKマークを付加する(116ページ)。
SHOT MARK1 ADD ¹⁾	ショットマーク1を付加する(121ページ)。
SHOT MARK2 ADD ¹⁾	ショットマーク2を付加する(121ページ)。
EXPAND CLIP	クリップエクスパンド画面に切り換える(118ページ)。

¹⁾HDモードでのみ有効。SDモードでは選択できません。

クリップの詳細情報を表示する

クリップ操作メニューでDISP CLIP INFOを選択すると、クリップの詳細情報画面になります。

HD モード



SD モード



1. 現在のクリップの画像

2. 前のクリップの画像

PREVボタンを押すと、ひとつ前のクリップの詳細情報画面になります。

3. 次のクリップの画像

NEXTボタンを押すと、次のクリップの詳細情報画面になります。

4. クリップ名

SDモードでは、ファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、クリップ名の後にクリップの分割数が表示されます。

12文字以上のクリップ名の場合、最初の5文字と最後の5文字のみ表示されます。

省略された部分を確認したいときは、ジョグダイヤルまたは十字スティックを押すと、クリップ名全体が表示されます（ロング表示モード）。もう一度ジョグダイヤルまたは十字スティックを押すとロング表示モードは解除されます。PREV/NEXTで前または次のクリップに切り換えた場合にも、ロング表示モードは解除されます。

5. OKマーク（HDモードのみ）

OKマークが付加されている場合のみ表示されます。

6. 収録日と録画開始時刻

7. 記録時のビデオフォーマット

8. 特殊記録撮影情報

特殊記録されたクリップの場合は、S&Q Motion (HDモードのみ) / Interval Rec / Frame Recのいずれかを表示します。
S&Q Motion記録の場合は、右に[撮像フレームレート / 再生フレームレート] fpsが表示されます。

9. 表示されている画像のタイムコード

10. 記録開始点のタイムコード

11. 記録終了点のタイムコード

12. 収録時間

13. 記録音声チャンネル

OKマークを付ける/OKマークを削除する (HDモードのみ)

クリップにOKマークを付加することによって、必要なクリップのみマーキングして、THUMBNAILボタンを押したときに必要なクリップのみサムネイル画面に表示されるように設定することができます。

OKマークを付加したクリップは、削除・分割が禁止されます。削除・分割したいときは、OKマークを削除してから操作してください。

OKマークを付加する

1 クリップ操作メニューでOK MARK ADDを選択する。

クリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に確認メッセージが表示されます。

2 「実行」(Execute) を選択し、ジョグダイヤルまたは十字スティックを押す。

選択されているクリップにOKマークが付加されます。

OKマークを削除する

すでにOKマークが付加されているクリップの場合は、サムネイル画面のクリップ操作メニューでOK MARK DELが表示されます。

1 クリップ操作メニューでOK MARK DELを選択する。

クリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に確認メッセージが表示されます。

2 削除を実行するときは、「実行」(Execute) を選択して、ジョグダイヤルまたは十字スティックを押す。

選択されているクリップからOKマークが削除されます。

クリップをコピーする

クリップを別のSxSメモリーカードにコピーすることができます。

コピー先のSxSメモリーカードには同じクリップ名でコピーされます。

ご注意

- コピー先のSxSメモリーカードに同名のクリップが存在している場合は、オリジナルのクリップ名に1桁の括弧数字を付加したクリップ名でコピーされます。括弧数字は、コピー先に存在しない最小値になります。
例：
ABCD0002→ABCD0002(1)
ABCD0002(1)→ABCD0002(2)
ABCD0005(3)→ABCD0005(4)
- コピー回数が10回を超えた場合など、括弧数字(1)～(9)がすでに存在するカードには、それ以上コピーできません。
- コピー先のSxSメモリーカードの残量が不足しているときはメッセージが表示されますので、コピー先のSxSメモリーカードを交換してください。
- 複数のクリップが記録されたSxSメモリーカードをコピーする場合は、容量が同じSxSメモリーカードであっても、使用条件やメモリーの特性などにより、すべてのク

リップを最後までコピーできない場合があります。

クリップを指定してコピーする

サムネイル画面で選択したクリップをコピーします。

1 現在選択されているSxSメモリーカードのサムネイル画面でコピーしたいクリップを選び、十字スティックまたはジョグダイヤルを押す。

サムネイル画面のクリップ操作メニューが表示されます。

2 クリップ操作メニューでCOPY CLIPを選択する。

クリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に、確認メッセージが表示されます。

3 コピーを実行するときは、「実行」(Execute)を選択して、ジョグダイヤルまたは十字スティックを押す。コピーが始まります。

コピー中は実行メッセージと進捗バーが表示されます。

コピーが完了すると、サムネイル画面に戻ります。

コピーを中止するには

CANCELボタンを押してください。

コピーを中止して、サムネイル画面に戻ります。

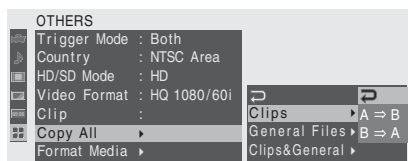
クリップを一括コピーする

セットアップメニューを使用すると、同じSxSメモリーカードに記録されているクリップを、別のSxSメモリーカードにまとめてコピーすることができます。

HDモードとSDモードのクリップが混在記録されているSxSメモリーカードでは、現在選択されているモードのクリップのみコピーされますので、同一モードのクリップのみ抽出したいときにも便利です。

1 通常のサムネイル画面表示または停止モードでMENUボタンを押し、本機をメニューモードにする。

2 OTHERSメニューのCopy AllからClipsを選択する。

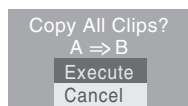


3 コピーの方向を選択する。

A ⇨ B: スロットAのカードからスロットBのカードにコピーするとき

B ⇨ A: スロットBのカードからスロットAのカードにコピーするとき

確認メッセージが表示されます。



4 Executeを選択する。

コピーが始まります。

コピー実行中は進捗状況が表示されます。HDモードで実行した場合は、HDモードのクリップのみコピーされます。SDモードで実行した場合は、SDモードのクリップのみコピーされます。

コピーを中止するには

CANCELボタンを押してください。

コピーを中止して、OTHERSメニュー画面に戻ります。

コピーが完了したら

完了メッセージが表示され、OTHERSメニュー画面に戻ったら、MENUボタンを押して、メニューモードを解除します。

クリップとプランニングデータを同時にコピーするには

上記の手順2でCopy AllのClips&Generalを選択します。クリップと同時にSxSメモリーカードのGeneralフォルダ内に記録されてい

るプランニングデータを含むすべてのファイルがコピーされます。

クリップを削除する

SxSメモリーカードからクリップを削除することができます。

ご注意

OKマークが付加されたHDクリップは削除できません。

削除したいときは、先にOKマークを削除してください（116ページ参照）。

クリップを指定して削除する

サムネイル画面で選択したクリップを削除します。

1 サムネイル画面で削除したいクリップを選び、十字スティック/ジョグダイヤルを押す。

サムネイル画面のクリップ操作メニューが表示されます。

2 クリップ操作メニューでDELETE CLIPを選択する。

クリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に確認メッセージが表示されます。

3 削除を実行するときは、「実行」(Execute)を選択して、ジョグダイヤルまたは十字スティックを押す。
クリップが削除されます。

サムネイル画面では、削除したクリップの次に降がひとつずつ繰り上がります。

クリップを一括削除する

セットアップメニューを使用すると、同じSxSメモリーカードに記録されているクリップをまとめて削除することができます。

ご注意

- HDモードとSDモードのクリップが混在記録されているSxSメモリーカードでは、現在選択されているモードのクリップのみ削除されます。

- HDモードで削除を実行しても、OKマークが付加されたクリップは削除されません。

1 通常のサムネイル画面表示または停止モードでMENUボタンを押し、本機をメニューモードにする。

2 OTHERSメニューのClipからAll Clips DELを選択する。

3 Executeを選択する。
確認メッセージが表示されます。

4 再度Executeを選択する。
削除が始まります。

削除実行中は進捗状況が表示されます。

HDモードで実行した場合は、HDモードのクリップのみ削除されます。

SDモードで実行した場合は、SDモードのクリップのみ削除されます。

削除を中止するには

CANCELボタンを押ししてください。

削除を中止して、OTHERSメニュー画面に戻ります。

削除が完了したら

完了メッセージが表示され、OTHERSメニュー画面に戻ったら、MENUボタンを押して、メニューモードを解除します。

クリップエクスパンド画面を表示させる

HDモードでは、選択したクリップを時間で12分割し、各ブロックの先頭フレームをサムネイルとして表示することができます。

SDモードでは、ファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、分割されたファイルの先頭のフレームをサムネイルとして表示することができます。

記録時間の長いクリップで、目的のシーンにすばやくキューアップしたい場合などに有効です。

クリップエクスパンド画面は、サムネイル画面で選択したクリップ、または再生を一時停止して静止画が表示されているクリップから選択できます。

1 クリップの再生を一時停止するか、サムネイル画面でクリップを選び、十字スティック/ジョグダイヤルを押す。
対応するクリップ操作メニューが表示されます。

2 クリップ操作メニューでEXPAND CLIPを選択する。
再生を一時停止したクリップまたはサムネイル画面で選択したクリップのエクスパンド画面が表示されます。

HDモードのクリップエクスパンド画面

HDモードでは、選択したクリップを時間で12分割した各ブロックの先頭フレームがサムネイル表示されます。
再生一時停止のクリップ操作メニューで選択したHDモードのクリップエクスパンド画面では、分割数を増やした最も細かい時間間隔で表示されます。

選択されているフレームの番号



画面下部にクリップの詳細情報が表示されません。

下記の項目以外は、通常のサムネイル画面で表示される項目と共通です。

1. フレーム情報

選択したフレームの情報をアイコンで表示します。

	代表画
	ショットマーク1が付加されたフレーム
	ショットマーク2が付加されたフレーム

それぞれのサムネイル画像の下にも同じアイコンが表示されます。ただし、同じフレームに複数の情報が付加されている場合には、代表画→ショットマーク1→ショットマーク2の優先順位で表示されます。

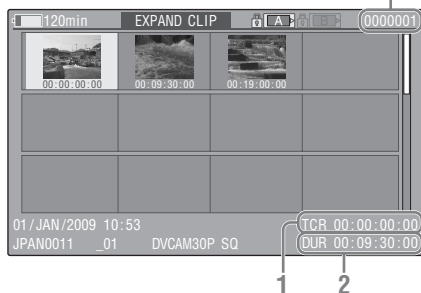
2. タイムコード表示

エクスパンド画面で選択したフレームのタイムコードを表示します。

SDモードのクリップエクスパンド画面

SDモードでは、ファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、分割されたファイルの先頭のフレームがサムネイル表示されます。

選択されているフレームの番号



画面下部にクリップの詳細情報が表示されません。

下記の項目以外は、通常のサムネイル画面で表示される項目と共通です。

1. タイムコード表示

選択されている分割されたファイルのタイムコードを表示します。

2. 収録時間 (Duration)

選択されている分割されたファイルの収録時間を表示します。

クリップエクスパンド画面のクリップ操作メニュー

HDモード

クリップエクスパンド画面でフレームを選択して、十字スティック/ジョグダイヤルを押すと、クリップ操作メニューがポップアップ表示され、さらに細かく分割表示したり、選択

したフレーム以降を別のクリップとして保存するなどの操作が可能です。

項目	機能
EXPAND (COARSE)	クリップの分割数を減らす。
EXPAND (FINE)	クリップの分割数を増やす。
PAUSE	選択したフレームで再生一時停止モードにする。
SET INDEX PIC	選択したフレームを代表画に設定する (120ページ)。
SHOT MARK1 ADD	選択したフレームにショットマーク1を付加する (121ページ)。
SHOT MARK2 ADD	選択したフレームにショットマーク2を付加する (121ページ)。
SHOT MARK1 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク1を削除する (121ページ)。
SHOT MARK2 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク2を削除する (121ページ)。
DIVIDE CLIP	選択したフレーム位置で2つのクリップに分割する (122ページ)。

SD モード

SD モードのクリップエクスパンド画面からは、PAUSEのみ選択できます。

ショットマーク画面を表示する (HDモードのみ)

HD モードでは、クリップにひとつ以上のショットマークが記録されている場合、ショットマークの付加されているフレームだけをサムネイル形式で表示することができます。

- 1 サムネイル画面でクリップを選ぶ。
- 2 十字スティックまたはジョグダイヤルを押す。
クリップ操作メニューが表示されます。
- 3 SHOT MARK、SHOT MARK1、またはSHOT MARK2を選択する。

SHOT MARK:ショットマーク1が付加されているフレームとショットマーク

2が付加されているフレームの両方がサムネイル表示されます。

SHOT MARK1:ショットマーク1が付加されているフレームのみサムネイル表示されます。

SHOT MARK2:ショットマーク2が付加されているフレームのみサムネイル表示されます。

ショットマーク画面例 (SHOT MARK 選択時)



1

画面下部にクリップの詳細情報が表示されません。

以下の項目以外は、クリップエクスパンド画面で表示される項目と共通です。

1. タイムコード表示

ショットマーク画面で選択されているフレームのタイムコード

ショットマーク画面でのクリップ操作メニュー

ショットマーク画面でフレームを選択して十字スティックまたはジョグダイヤルを押すと、クリップ操作メニューがポップアップ表示され、ショットマークを削除するなどの操作が可能です。

項目	機能
PAUSE	選択したフレームで再生の一時停止モードにする。
SET INDEX PIC	選択したフレームを代表画に設定する (120ページ)。
SHOT MARK1 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク1を削除する (121ページ)。

項目	機能
SHOT MARK2 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク2を削除する（121ページ）。
DIVIDE CLIP	選択したフレーム位置で2つのクリップに分割する（122ページ）。

ショットマークを追加・削除する（HDモードのみ）

HDモードでは、記録済みのクリップにショットマークを追加したり、記録されているショットマークを削除することができます。

一時停止中にショットマークを追加する

- 1 ショットマークを追加したいフレームで再生を一時停止モードにして、十字スティックまたはジョグダイヤルを押す。
クリップ操作メニューが表示されます。
- 2 クリップ操作メニューから、**SHOT MARK1 ADD**または**SHOT MARK2 ADD**を選択する。
確認メッセージが表示されます。
- 3 「実行」(Execute) を選択する。

クリップエクスパンド画面でショットマークを追加する

- 1 クリップエクスパンド画面でショットマークを追加したいフレームを選択し、十字スティックまたはジョグダイヤルを押す。
クリップ操作メニューが表示されます。
- 2 クリップ操作メニューから**SHOT MARK1 ADD**または**SHOT MARK2 ADD**を選ぶ。
選択したフレームの詳細表示画面になり、画像の下に確認メッセージが表示されます。
- 3 「実行」(Execute) を選択する。

ショットマークを削除する

クリップエクスパンド画面（118ページ）またはショットマーク画面（120ページ）で削除できます。

- 1 クリップエクスパンド画面またはショットマーク画面でショットマークを削除したいフレームを選択し、十字スティックまたはジョグダイヤルを押す。
クリップ操作メニューが表示されます。
- 2 クリップ操作メニューから**SHOT MARK1 DEL**または**SHOT MARK2 DEL**を選ぶ。
選択したフレームの詳細表示画面になり、画像の下に確認メッセージが表示されます。
- 3 「実行」(Execute) を選択する。

クリップの代表画を変更する（HDモードのみ）

HDモードのクリップでは、クリップエクスパンド画面（118ページ）やショットマーク画面（120ページ）で選択したフレームを代表画に設定することができます。

- 1 クリップエクスパンド画面またはショットマーク画面で代表画にしたいフレームを選択し、十字スティックまたはジョグダイヤルを押す。
- 2 クリップ操作メニューから**SET INDEX PIC**を選ぶ。
選択したフレームの詳細表示画面になり、画像の下に確認メッセージが表示されます。
- 3 「実行」(Execute) を選択する。

ご注意

先頭以外のフレームを代表画に設定しても、サムネイル画面で再生を開始した場合は、常に先頭フレームから再生されます。

クリップを分割する（HDモードのみ）

HDモードのクリップは、クリップエクスパンド画面（118ページ）やショットマーク画面（120ページ）で選択したフレーム位置で2つのクリップに分割することができます。

- 1 クリップエクスパンド画面またはショットマーク画面で、分割点のフレームを選択し、十字スティックまたはジョグダイヤルを押す。**
クリップ操作メニューが表示されます。
- 2 クリップ操作メニューからDIVIDE CLIPを選ぶ。**
選択したフレームの詳細表示画面になり、画像の下に確認メッセージが表示されます。
- 3 「実行」（Execute）を選択する。**
選択したフレーム位置で分割され、2つの別の名前のクリップが新たに作成されます。

クリップ名の前半4文字は元のクリップの名前を引き継ぎ、後半4文字は最新の連続番号になります。

例：新たに記録した場合にEFGH0100というクリップが作られる状態で、ABCD0002という名前のクリップを分割した場合、ABCD0100とABCD0101の2つのクリップが作成されます。

ご注意

SxSメモリーカードの残量が、クリップ分割に必要な容量に満たない場合は、残量不足を知らせるメッセージが表示されます。

ステータス画面を表示する

本機では、カメラモードで5種類、メディアモードで4種類のステータス画面を表示して、本機の設定や状態を確認することができます。

ステータス画面は、LCDモニター/EVF、外部ビデオモニターに表示できます。

◆外部ビデオモニターの接続については、「外部モニターを接続する」(150ページ)をご覧ください。

表示できるステータス画面

- カメラステータス画面 (カメラモードでのみ表示) (124ページ)
- オーディオステータス画面 (125ページ)
- ビデオステータス画面 (126ページ)
- ボタン/リモートステータス画面 (127ページ)
- バッテリー/メディアステータス画面 (127ページ)

ステータス画面を表示させる

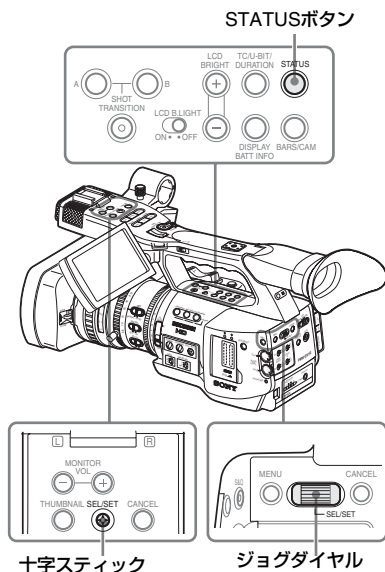
STATUSボタンを押す。

ステータス画面を切り換える

十字スティックまたはジョグダイヤルを操作すると順次切り換わります。

ステータス画面を消す

STATUSボタンをもう一度押すと、ステータス画面が消えます。



カメラステータス画面

撮像に関する設定や状態を表示します。カメラステータス画面は、カメラモードでのみ表示されます。メディアモードでは表示されません。



White Bal: ホワイトバランスの状態

表示	内容
B	ホワイトメモリーBに保存されている色温度を表示します。ホワイトメモリーBの色温度は、メモリーBモードでオートホワイトバランスを実行すると検出/保存されます。
A	ホワイトメモリーAに保存されている色温度を表示します。ホワイトメモリーAの色温度は、メモリーAモードでオートホワイトバランスを実行すると検出/保存されます。
PRST	プリセットホワイトに設定されている色温度を表示します。プリセットホワイトの色温度は、PICTURE PROFILEメニューで設定します。

Gain: GAIN スイッチの設定

CAMERA SETメニューでGAINスイッチのL、M、Hの3ポジションのそれぞれに登録されたゲイン値を表示します。

Handle Zoom Speed : ハンドルズームスピードの設定表示

CAMERA SETメニューでハンドル上のZOOM ボタンの各ポジションに設定されたズームスピードを表示します。

表示	内容
H	ズームスピードスイッチのH側に割り当てられているスピード
L	ズームスピードスイッチのL側に割り当てられているスピード

Zebra: ゼブラの状態

表示	内容
1	LCD/VF SETメニューのZebra Selectで1またはBothが選択されているとき、ZEBRAボタンでゼブラをOnにするとOn表示になり、右側にLCD/VF SETメニューのZebra1 Levelの設定値が表示されます。ゼブラがOffのとき、またはZebra Selectで2が選択されているときはOffが表示されます。
2	LCD/VF SETメニューのZebra Selectで2またはBothが選択されているとき、ZEBRAボタンでゼブラをOnにすると、On表示になります。ゼブラがOffのとき、またはZebra Selectで1が選択されているときはOffが表示されます。

Skin Tone Detail: スキントーンディテールの状態

PICTURE PROFILEメニューで、Skin Tone DetailのSettingの状態(OnまたはOff)を表示します。

Picture Profile: ピクチャープロファイルの選択状態

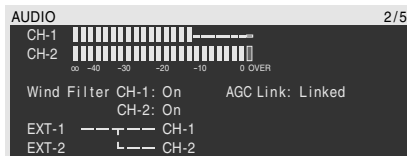
現在選択されているピクチャープロファイル番号とピクチャープロファイル名を表示します(ピクチャープロファイルがOffのときはOffを表示)。

オーディオステータス画面

オーディオ信号に関連する情報を表示します。

カメラモード時とメディアモードでは表示される項目が異なります。

カメラモード時



CH-1/CH-2: オーディオレベルメーター

CH-1、CH-2に入力されているオーディオのレベル(EE音声のレベル)を表示します。

Wind Filter: 風音低減フィルター設定

AUDIO SETメニューのWind Filter CH-1とWind Filter CH-2の設定を表示します。

AGC Link: AGC リンク設定

AUDIO SETメニューのAGC Linkの設定(LinkedまたはSeparate)を表示します。

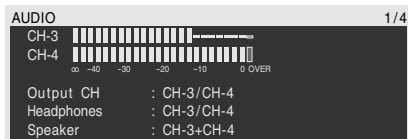
INT/EXT-CH-1/CH-2: 音声入力設定

AUDIO SETメニューのEXT CH Selectの設定とAUDIO INスイッチの状態に応じて、CH-1、CH-2に入力される信号を表示します。

AUDIO IN スイッチ	EXT CH Select	表示
CH-1 INT CH-2 INT	—	INT-L ----- CH-1 INT-R ----- CH-2
CH-1 EXT CH-2 INT	—	EXT-1 ----- CH-1 INT-R ----- CH-2
CH-1: INT CH-2: EXT	—	INT-L ----- CH-1 EXT-2 ----- CH-2
CH-1: EXT CH-2: EXT	CH-1/CH-2	EXT-1 ----- CH-1 EXT-2 ----- CH-2

AUDIO IN スイッチ	EXT CH Select	表示
CH-1: EXT CH-2: EXT	CH-1	EXT-1 --- CH-1 EXT-2 --- CH-2

メディアモード時



CH-1/CH-2/CH-3/CH-4: オーディオレベルメーター

AUDIO SETメニューのOutput CHの設定に応じて、CH-1、CH-2、またはCH-3、CH-4の再生音声レベルを表示します。

STOP 状態または外部入力信号を記録中に、i.LINK端子から音声の入力がある場合は、入力音声レベルを表示します。この場合は、AUDIO SETメニューのOutput CHの設定にかかわらず、左端のチャンネル表示はCH-1、CH-2になります。

上記以外の条件のときは、オーディオレベルメーターは動作しません。

Output CH: 出力チャンネル設定

AUDIO SETメニューのOutput CHの設定を表示します。

Headphones: ヘッドホン出力

ヘッドホンに出力される音声チャンネルを表示します。AUDIO SETメニューのMonitor CHの設定をそのまま表示します。

Speaker: スピーカー出力

内蔵スピーカーに出力される音声チャンネルを表示します。

スピーカーはモノラル出力のため、Monitor CHがステレオ設定の場合、CH-1+CH-2またはCH-3+CH-4と表示します。

ステレオ以外のときは、AUDIO SETメニューのMonitor CH の設定をそのまま表示します。

ビデオステータス画面

ビデオフォーマットとCOMPONENT OUT端子、SDI OUT端子、HDMI OUT端子、A/V OUT端子の映像出力とダウンコンバーターのモード、i.LINK I/Oの設定を表示します。

VIDEO	3/5
Video Format	: 1920/60i
Rec Mode	: HQ
Output Select	: 1920/60i
A/V Out	: Off
Down Converter	: Squeeze
i.LINK I/O	: Disable

Video Format: ビデオフォーマット

OTHERSメニューのVideo Formatで設定されているビデオフォーマットを表示します。HDモードでは、水平画素数、フレームレート、スキャン方式を表示します。SDモードでは、フレームレート、スキャン方式、アスペクト(SQ/EC)を表示します。

Rec Mode: 記録ビットレート (HDモードのみ)

OTHERSメニューのVideo Formatで設定されているビデオフォーマットのビットレート(HQまたはSP)を表示します。

Output Select: コンポーネント / デジタル出力設定

VIDEO SETメニューのOutput Selectの設定によって、COMPONENT OUT端子、SDI OUT端子、HDMI OUT端子に実際に出力されている信号のビデオフォーマットを表示します。

A/V Out: A/V OUT 端子の映像出力

VIDEO SETメニューのOutput Selectの設定が Composite 以外のときは Off を表示し、Output Selectの設定がCompositeのときは、実際にA/V OUT端子から出力されているアナログコンポジット信号のフォーマット(NTSC/PAL)を表示します。

Down Converter: SD 出力のダウンコンバーター設定 (HD モードのみ)

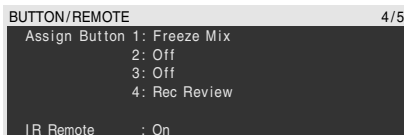
VIDEO SETメニューのDown Converterの設定 (Squeeze、Edge Crop、Letterbox) を表示します。

i.LINK I/O: i.LINK 使用状況

OTHERSメニューのi.LINK I/Oの設定(HDV/DVCAM/Disable)を表示します。

ボタン/リモート ステータス画面

各アサインブルボタンに割り当てられた機能名と、赤外線リモコンの有効/無効の状態を表示します。



Assign Button: ボタンアサイン状態

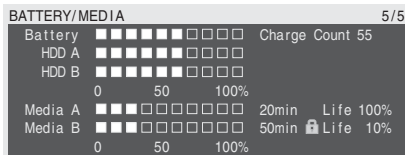
OTHERSメニューのAssign Buttonの設定で各アサインブルボタンに割り当てられている機能名を表示します。

IR Remote: 赤外線リモコンの有効/無効

赤外線リモコンの有効(On)になっているか、無効(Off)かを表示します。

バッテリー/メディア ステータス画面

バッテリーおよびSxSメモリーカードの状態を表示します。



Battery: バッテリーパック残量

装着されているバッテリーパックの残量を表示します。

Charge Count: 充電繰り返し回数

装着されているバッテリーパックの累積充電繰り返し回数を表示します。

HDD A/HDD B: PHU-120R のバッテリー残量

プロフェッショナルハードディスクユニット PHU-120Rが装着されている場合は、それぞれ対応するスロットに接続されている PHU-120Rのバッテリーの残量を表示します。

Media A/Media B: メディアの残量、残記録可能時間、書き換え寿命目安

それぞれ対応するスロットに挿入されている SxS メモリーカードの空き記録容量をメーター表示します。

空き記録容量メーターの右には、現在の記録ビットレートで撮影を行った場合に記録可能な残り時間を計算して分単位で表示します。

対応するスロットに SxSメモリーカードが挿入されていないときや使用できないメモリーカードが挿入されている場合は、「—min」表示となり、書き込み防止になっている場合は、右に🔒マークが表示されます。

Lifeの値は、寿命表示に対応したカードが装着されている場合のみ表示されます。未使用状態を100%として、それぞれのカードの残り寿命の目安を示します。

セットアップメニューの構成と階層

本機では、LCDモニター/EVF画面に表示されるセットアップメニューを使用して、撮影や再生に必要な各種の設定を行います。

セットアップメニューは、外部ビデオモニターに表示させることもできます。

◆ 外部ビデオモニターの接続については、「外部モニターを接続する」(150ページ)をご覧ください。

セットアップメニューの構成

MENUボタンを押すと、下記のメニューアイコンが表示され、それぞれ対応するメニューを選択できます。



CAMERA SET メニュー

画質以外の撮影に関する設定を行います (132ページ)。

画質に関する設定にはPICTURE PROFILEメニュー (94ページ) を使用します。



AUDIO SET メニュー

音声に関する設定を行います (138ページ)。



VIDEO SET メニュー

映像出力に関する設定を行います (139ページ)。



LCD/VF SET メニュー

LCDモニターとEVF表示に関する設定を行います (140ページ)。



TC/UB SET メニュー

タイムコードとユーザービットに関する設定を行います (143ページ)。



OTHERS メニュー

その他の設定を行います (144ページ)。

セットアップメニューの階層

MENU

- CAMERA SET
 - Gain Setup
 - Shutter
 - EX Slow Shutter
 - Shot Transition
 - MF Assist
 - Color Bar Type
 - Flicker Reduce
 - Zoom Speed
 - Zoom Trans
 - Interval Rec
 - Frame Rec
 - P.Cache Rec
 - S&Q Motion
 - Rec Review
 - Fader
 - TLCS
 - Shockless White
 - White Switch
 - ATW Speed
 - Wide Conversion
 - Steady Shot
 - Image Inversion
- AUDIO SET
 - Audio Input
 - Audio Output
- VIDEO SET
 - Output Select
 - YPbPr/Digital Out Display
 - Video Out Display
 - Setup
 - Down Converter
 - 24P System
- LCD/VF SET
 - LCD
 - EVF
 - Peaking
 - Marker
 - Zebra
 - Display On/Off

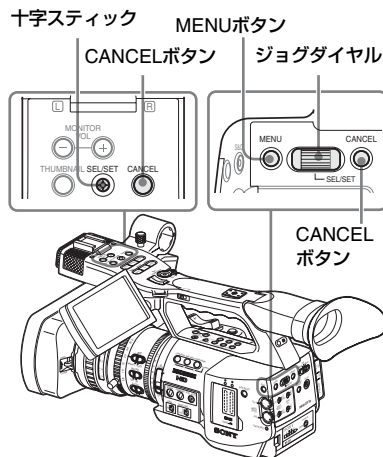
(続く)

TC/UB SET	Timecode
	Users Bit
	TC Format
OTHERS	All Reset
	Camera Data
	Time Zone
	Clock Set
	Language
	Assign Button
	Tally
	Hours Meter
	IR Remote
	Battery Alarm
	Battery INFO
	Direct Menu
	i.LINK I/O
	Trigger Mode
	Country
	HD/SD Mode
	Video Format
	Clip
	Copy All
	Format Media
	Plan.Metadata
Version	
Version Up	

セットアップメニュー の基本操作

本項では、セットアップメニューの基本的な設定方法を説明します。

メニュー操作部



MENU ボタン

セットアップメニューを操作するメニューモードをON/OFFします。

十字スティック (SEL/SET ボタン)

前後左右に倒すと、カーソルが上下左右に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。

ジョグダイヤル (SEL/SET ダイアル)

回すとカーソルが上下に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。

CANCEL ボタン

一つ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

セットアップメニューを表示させる

MENUボタンを押す。

本機がメニューモードになり、画面にメニューアイコンが表示されます。前回設定したメニューのアイコンにカーソルが表示され、右に対応するメニュー項目選択エリアが表示されます。

例： (CAMERA SET メニューのアイコン) にカーソルがある場合

メニューアイコン



メニュー項目選択エリア

ご注意

EXPAND FOCUSモード (62ページ参照) になっていると、セットアップメニューは操作できません。EXPAND FOCUSボタンを押して解除してください。

メニューを設定する

1 ジョグダイヤルを回すか十字スティックを前後に倒して、設定したいメニューのアイコンにカーソルを合わせ

る。アイコン右のメニュー項目選択エリアに、選択できるメニュー項目が表示されます。

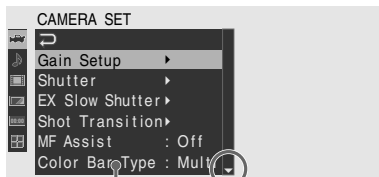
2 ジョグダイヤルまたは十字スティックを押す。

カーソルがメニュー項目選択エリアに移動します。

十字スティックを右に倒してカーソルをメニュー項目選択エリアに移動することもできます。

- メニュー項目選択エリアは最大7行表示です。選択できる項目が1度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。項目選択エリアの右上隅または右下隅に、

スクロール可能なことを示す三角マークが表示されます。



メニュー項目がまだ下にあるとき表示されます (上にあるときは上端に▲)。

メニュー項目選択エリア

- さらに設定細目を選択する項目の場合は、右に▶が表示されます。
- 細目のない項目の場合は、右に現在の設定値が表示されます。
- ◀を選ぶか十字スティックを左に倒すと一つ前の階層に戻ります。

3 ジョグダイヤルを回すか十字スティックを前後に倒して、設定したいメニュー項目にカーソルを合わせ、ジョグダイヤルまたは十字スティックを押して決定する。

メニュー項目選択エリアの右に設定エリアが表示され、カーソルが先頭の細目に移動します。



設定エリア

- 細目と現在の設定値が表示されます。
- ◀を選ぶか十字スティックを左に倒す、またはCANCELボタンを押すとひとつ前の階層に戻ります。

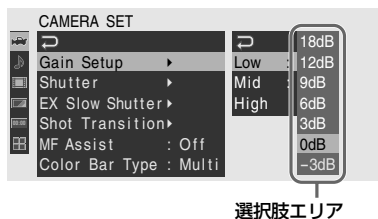
On/Offや切り換えのみで細目のない項目を選択した場合は、項目の右に選択肢が表示され、現在選択されている値にカーソルが移動します。この場合は、手順5に進んでください。

例



- 4** 細目がある項目では、ジョグダイヤルを回すか十字スティックを前後に倒して、設定したい細目にカーソルを合わせ、押して決定する。

選択した細目の選択肢が表示され、現在選択されている値にカーソルが移動します。



- 選択肢エリアは最大7行表示です。選択肢が1度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。選択肢エリアの右上隅または右下隅に、スクロール可能なことを示す三角マークが表示されます。
- 選択肢の範囲が大きい項目の場合（例：-99～+99）は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定変更が可能な状態であることを示します。

- 5** ジョグダイヤルを回すか十字スティックを前後に倒して設定したい値を選び、押して決定する。

設定が変更され、変更後の状態が表示されます。

実行項目で Execute を選択した場合は、対応する機能が実行されます。

実行前に確認が必要な項目では

手順3で、実行前に確認が必要な項目を選択すると、いったんメニューが消え、確認メッセージが表示されます。メッセージに従って、実

行するかキャンセルするかを選択してください。

文字列を入力する

タイムデータやファイル名など、文字列を設定する項目を選択した場合は、文字列の入力エリアがハイライト表示になり、右端にSETが表示されます。

- 1** ジョグダイヤルを回すか十字スティックを前後に倒して文字を選択し、押し決定する。

カーソルが次の欄に移動します。前の欄に戻りたいときは、十字スティックを左に倒します。

- 2** 同様に最後の桁・欄まで設定する。カーソルがSETに移動します。

- 3** ジョグダイヤルか十字スティックを押す。設定が完了します。

メニュー操作を終了する

MENUボタンを押す。

通常のカメラ画像に戻ります。

セットアップメニュー一覧

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

なお、出荷時の初期設定値は、太文字（例：**Speed**）で示します。

メニュー項目欄に☒が表示されている項目は、メディアモードでは設定できません。

CAMERA SETメニュー

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Gain Setup GAINスイッチの各ポジションへのゲインレベル割り当て	Low -3 / 0 / 3 / 6 / 9 / 12 / 18 dB	スイッチをLにしたとき反映されるゲインレベルを設定する。
	Mid -3 / 0 / 3 / 6 / 9 / 12 / 18 dB	スイッチをMにしたとき反映されるゲインレベルを設定する。
	High -3 / 0 / 3 / 6 / 9 / 12 / 18 dB	スイッチをHにしたとき反映されるゲインレベルを設定する。
Shutter 電子シャッターの動作条件の設定 (EX Slow ShutterのSettingがOnのときは選択不可)	Mode Speed / Angle / ECS / SLS	電子シャッターのモードを選択する。
	Shutter Speed 1/100	Speed モード 選択時、シャッタースピードを設定する。 ◆ 設定値は、選択されているビデオフォーマットのフレーム周波数によって異なります (56ページ参照)。
	Shutter Angle 180° / 90° / 45° / 22.5° / 11.25°	Angleモード 選択時、開角度を設定する。
	ECS Frequency 60.02	ECS モード 選択時、ECS周波数を設定する。 ◆ 設定値は、選択されているビデオフォーマットのフレーム周波数によって異なります。
	SLS Frame 2 ~8 (Off)	SLS モード 選択時、蓄積フレーム数を設定する。 (Off): S&Qモーション、SP 24Pフォーマット時 (変更不可)
	EX Slow Shutter 超高感度スローシャッターモードの設定	Setting On / Off
	Number of Frames 16 / 32 / 64	蓄積フレーム数を設定する。

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Shot Transition ショットトランジションの動作条件の設定	Trans Time 2~15 sec (4 sec)	遷移時間を設定する。
	Trans Speed 1~10 (5)	遷移速度を設定する。
	Time / Speed Time / Speed	遷移を時間で設定するか、速度で設定するかを選択する。
	Trans Curve Linear / Soft Trans / Soft Stop	遷移パターンを選択する。 Linear：直線的に遷移する。 Soft Trans：開始と終了地点付近はゆっくり遷移し、中間は直線的に遷移する。 Soft Stop：終了地点に近づいたらゆっくり遷移する。
	Start Timer Off / 5 sec / 10 sec / 20 sec	ショットトランジション開始までの待ち時間を設定する。
	Rec Link Off / Shot-A / Shot-B	記録開始と同時にショットトランジションを開始させる機能を設定する。 Off：ショットトランジションを記録開始にリンクさせず、ボタン操作で行う。 Shot-A：記録開始とリンクしてShot-Aへの遷移を開始する。 Shot-B：記録開始とリンクしてShot-Bへの遷移を開始する。
MF Assist MFアシスト機能のOn/Off	On / Off	Onにすると、手動でラフにフォーカス合わせをした後、最後に自動で正確にフォーカスを合わせ直す。
Color Bar Type カラーバーの種類選択	Multi / 75% / 100%	BARS/CAMボタンを押したときに出力されるカラーバーの種類を選択する。 Multi：マルチフォーマットカラーバーを出力する。 75%：75%カラーバーを出力する。 100%：100%カラーバーを出力する。
Flicker Reduce フリッカー補正機能の設定	Mode Auto / On / Off	フリッカー補正機能の動作を設定する。 On：常に動作させる。 Auto：フリッカーを検出すると自動で動作する。 Off：動作させない。
	Frequency 50Hz / 60Hz	フリッカーの原因となっている照明の電源周波数に合わせる。
Zoom Speed ズームスピードの設定	High 8~99 (70)	スピードスイッチをH側にしてハンドル上のZOOM ボタンを押したときのズームスピードを設定する。
	Low 8~99 (30)	スピードスイッチをL側にしてハンドル上のZOOM ボタンを押したときのズームスピードを設定する。
	Remote 8~99 (50)	赤外線リモコンのZOOMボタンを押したときのズームスピードを設定する。
ご注意		
赤外線リモコンの受光が正しくできないと、ズームがスムーズに動作しない場合があります		
Zoom Trans ズーム動作の設定	Linear / Soft	ハンドル上のZOOM ボタンを使用したズームの開始・終了時の動作モードを設定する。

CAMERA SET

メニュー項目	細目と設定値	内容
Interval Rec インターバル レック機能の設 定	Setting On / Off	インターバルレック機能をON/OFFする。
	Interval Time 1~10/15/20/30/40/50 sec 1~10/15/20/30/40/50 min 1~4/6/12/24 hour	インターバルレックによる録画間隔を設定する。
	Number of Frames 1 / 3 / 6 / 9 または 2 / 6 / 12 (HQ 1280/60P, HQ 1280/50P)	インターバルレックでの1回の録画フレーム数を設定する。
Frame Rec フレームレック 機能の設定	Setting On / Off	フレームレック機能をON/OFFする。
	Number of Frames 1 / 3 / 6 / 9 または 2 / 6 / 12 (HQ 1280/60P, HQ 1280/50P)	フレームレックでの1回の録画フレーム数を設定する。
P.Cache Rec ピクチャー キャッシュレック の設定	Setting On / Off	ピクチャーキャッシュ機能をON/OFFする。
	P.Cache Rec Time 0-2sec / 2-4sec / 4-6sec / 6-8sec / 8-10sec / 13-15sec	ピクチャーキャッシュメモリーに画像を蓄積する時間 (キャッシュレック開始時にさかのぼる時間)を設定する。
S&Q Motion スロー&クイック モーション機 能の設定	On Format CountryがNTSC Areaのとき HQ 1920/30P HQ 1920/24P HQ 1280/60P HQ 1280/30P HQ 1280/24P	スロー&クイックモーションモードでの撮影ビデオ フォーマットを設定する。
	CountryがPAL Areaのとき HQ 1920/25P HQ 1280/50P HQ 1280/25P	
	Frame Rate On FormatがHQ 1280/60P、 HQ 1280/30P、HQ 1280/24P のとき (NTSC) 1~60 (30)	スロー&クイックモーションモードでの撮影フレーム レートを設定する。
	On FormatがHQ 1920/30P、 HQ 1920/24Pのとき (NTSC) 1~30	
	On FormatがHQ 1280/50P、 HQ 1280/25Pのとき (PAL) 1~60 (25)	
	On FormatがHQ 1920/25Pのと き (PAL) 1~30	
Rec Review レックレビュー による再生時間 の設定	3 sec / 10 sec / Clip	レックレビューで直前に記録したクリップを再生する 時間を設定する。 3 sec: 最後の3秒 10 sec: 最後の10秒 Clip: クリップ全体

CAMERA SET

メニュー項目	細目と設定値	内容
フェードイン/ フェードアウト 機能の設定	Fade In On / Off	フェードイン機能をON/OFFする。
	Fade In Type White / Black	フェードインのモードを選択する。 White: 白い画面からフェードイン Black: 黒い画面からフェードイン
	Fade In Time 1 sec / 2 sec / 3 sec / 5 sec / 10 sec	フェードインにかかる時間を設定する。
	Fade Out On / Off	フェードアウト機能をON/OFFする。
	Fade Out Type White / Black	フェードアウトのモードを選択する。 White: 白い画面にフェードアウト Black: 黒い画面にフェードアウト
	Fade Out Time 1 sec / 2 sec / 3 sec / 5 sec / 10 sec	フェードアウトにかかる時間を設定する。


CAMERA SET

メニュー項目	細目と設定値	内容
TLCS トータルレベル コントロール (ゲイン、アイリス、シャッターの自動調整) システムの設定	Level +1.0 / + 0.5 / ±0 / -0.5 / -1.0	TLCS制御におけるオートアイリスの制御目標レベル(明るめ/暗め)を設定する(AGCにおけるゲインの制御、オートシャッターにおけるシャッタースピードの制御にも連動)。 +1.0: 1絞り相当開いた状態 +0.5: 0.5絞り相当開いた状態 ±0: 標準 -0.5: 0.5絞り相当閉じた状態 -1.0: 1絞り相当閉じた状態
	Mode Backlight / Standard / Spotlight	TLCS制御におけるオートアイリスの制御モードを設定する。 Backlight: バックライトモード(中心となる被写体が逆光のとき、黒沈みを軽減するモード) Standard: 標準モード Spotlight: スポットライトモード(中心となる被写体にスポットライトがあたっているとき、白濁りを軽減するモード)
	Speed -99 ~ +99 (+50)	TLCS制御の追従スピードを設定する。
	AGC On / Off	AGC(オートゲインコントロール)機能をON/OFFする。
	AGC Limit 3 / 6 / 9 / 12 / 18 dB	AGC制御における最大ゲインを設定する。
	AGC Point F5.6 / F4 / F2.8	AGC機能がOnのときのオートアイリス制御とAGC制御の切り換えアイリスポイントを設定する。
	Auto Shutter On / Off	オートシャッターコントロール機能をON/OFFする。
	A.SHT Limit 1/100 1/150 1/200 1/250	オートシャッター制御における最速シャッタースピードを設定する。
	A.SHT Point F5.6 / F8 / F11 / F16	オートシャッター機能がOnのときのオートアイリス制御とオートシャッター制御の切り換えアイリスポイントを設定する。
	Shockless White	ホワイトバランスのモード切り換え時の変化のスピードを選択する。
	White Switch WHITE BALス イッチの設定	Offにすると瞬時に切り換わり、数字が大きいほど、ゆっくりとホワイトバランスを補間しながら切り換える。
White Switch WHITE BALス イッチの設定	WHITE BALスイッチをBに設定したときに選択されるホワイトバランス調整モードを選択する。	
ATW Speed 自動追尾ホワイ トバランスの設 定	1 / 2 / 3 / 4 / 5 ATWの追従スピードを設定する。 (数字が大きいほど速くなる。)	

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Wide Conversion ワイドコンバージョンレンズの設定	On / Off	ワイドコンバージョンレンズの装着(On)/非装着(Off)を設定する。
Steady Shot 手ぶれ補正機能の設定	On / Off	手ぶれ補正機能をON/OFFする。
Image Inversion 画像反転機能の設定	Normal / H INV / V INV / H+V	Normal: 通常 H INV: 水平方向の反転 V INV: 垂直方向の反転 H+V: 水平方向、垂直方向共反転 Executeで実行（反転処理中は画面が黒くなる。）

AUDIO SETメニュー

AUDIO SET

メニュー項目	細目と設定値	内容
Audio Input 音声の入力関係 の設定 	TRIM CH-1 -20dBu ~ -65dBu (-41dBu)	外部マイク入力チャンネル1の感度を3 dBステップで微調整する（音声レベル調整がMANUALモードのとき）。
	TRIM CH-2 -20dBu ~ -65dBu (-41dBu)	外部マイク入力チャンネル2の感度を3 dBステップで微調整する（音声レベル調整がMANUALモードのとき）。
	INT MIC Level -12dB / -6dB / 0dB / +6dB / +12dB	内蔵マイクレベルを選択する（音声レベル調整がMANUALモードのとき）。
	Limiter On / Off	オーディオリミッターをON/OFFする。
	MIC AGC High / Low	マイク入力の感度を選択する。
	AGC Link Linked / Separated	音声レベル調整がAUTOモードのときのゲインのリンク状況を選択する。 Linked: チャンネル1と2のゲインを連動して動かす。 Separated: それぞれのレベルに応じて独立して動かす。
	1KHz Tone On / Off	1KHzの基準音声信号をON/OFFする。
	Wind Filter CH-1 On / Off	チャンネル1の風音低減フィルターをON/OFFする。
	Wind Filter CH-2 On / Off	チャンネル2の風音低減フィルターをON/OFFする。
	EXT CH Select CH-1 CH-1/CH-2	CH-1: チャンネル1の外部入力信号を、チャンネル1とチャンネル2の両方に記録する。 CH-2のAUDIO SELECT(AUTO/MANUAL)スイッチとAUDIO LEVEL調整つまみ（70ページ）、および上記TRIM CH-2の設定は、CH-1と揃えておくことを推奨します。 CH-1/CH-2: それぞれ対応するチャンネルの外部入力信号を記録する。
Audio Output 音声の出力関係 の設定	Monitor CH CH-1/CH-2 (CH-3/CH-4) CH-1+CH-2 (CH-3+CH-4) CH-1 (CH-3) CH-2 (CH-4)	ヘッドホンおよびスピーカーに出力する音声チャンネルを選択する。 CH-1/CH-2 (CH-3/CH-4): ステレオ CH-1+CH-2 (CH-3+CH-4): ミックス CH-1 (CH-3): チャンネル1（チャンネル3）のみ CH-2 (CH-4): チャンネル2（チャンネル4）のみ ()は、Output CHでCH-3/CH-4を選択した場合
	Output CH CH-1/CH-2 CH-3/CH-4	音声出力をチャンネル1と2にするか、チャンネル3と4にするかを選択する。
	Alarm Level 0~7 (4)	アラーム音量を設定する。
	Beep On / Off	操作音を出す/出さないを選択する。

VIDEO SETメニュー


VIDEO SET		
メニュー項目	設定値	内容
Output Select 出力信号の選択	HD Modeのとき HD SDI/Component SD SDI/Component HD HDMI SD HDMI Interlace SD HDMI Progressive Composite SD Modeのとき SD SDI/Component SD HDMI Interlace Composite	HD SDI/Component: COMPONENT OUT端子からHDアナログコンポーネント信号、SDI OUT端子からHD SDI信号を出力する。 SD SDI/Component: COMPONENT OUT端子からSDアナログコンポーネント信号、SDI OUT端子からSD SDI信号を出力する。 HD HDMI: HDMI OUT端子からHD HDMI信号を出力する。 SD HDMI Interlace: HDMI OUT端子からSD HDMIインターレース信号を出力する。 SD HDMI Progressive: HDMI OUT端子からSD HDMIプログレッシブ信号を出力する。 Composite: A/V OUT端子からコンポジット信号を出力する。
YPbPr/Digital Out Display コンポーネント、 デジタル出力への 文字情報の設 定	On / Off	COMPONENT OUT端子、SDI OUT端子、HDMI OUT端子からの出力信号に、LCDモニター /EVF画面に表示されるのと同じメニューやステータスを加えるかどうかを選択する(Output SelectがCompositeのときは変更不可)。 ご注意 この項目の設定にかかわらず、サムネイル画面やクリップエクスパンド画面、ショットマーク画面では、常にLCDモニター /EVF画面に表示されるのと同じメニューやステータスを加えて表示されます。
Video Out Display コンポジット出 力への文字情報 の設定	On / Off	A/V OUT端子からの出力信号に、LCDモニター /EVF画面に表示されるのと同じメニューやステータスを加えるかどうかを選択する (Output SelectがComposite以外のときは変更不可)。 ご注意 この項目の設定にかかわらず、サムネイル画面やクリップエクスパンド画面、ショットマーク画面では、常にLCDモニター /EVF画面に表示されるのと同じメニューやステータスを加えて表示されます。
Setup コンポジット信 号へのセット アップ付加の設 定	On / Off	NTSCのフォーマットの出力が選択されているとき、A/V OUT端子からの出力信号に7.5%のセットアップを付加するかどうかを選択する。(PALフォーマット選択時は無効)



VIDEO SET

メニュー項目	設定値	内容
Down Converter ダウンコンバーターの動作モード選択	Squeeze / Letterbox / Edge Crop	A/V OUT端子から出力するとき、またはHDモードでCOMPONENT OUT端子、SDI OUT端子にSD信号出力を選択したとき、出力モード（アスペクト）を設定する（Output SelectがSDフォーマットのときは変更不可）。 Squeeze：16:9画像を左右方向に縮小して4:3画像として出力 Letterbox：4:3画像の上下をマスクして、画面中央に16:9映像を表示 Edge Crop：16:9画像の両端をカットして4:3画像として出力
24P System 24Pモードの設定	60i / 24PsF	ビデオフォーマットがHQ 1920/24P、HQ 1440/24Pのときの出力フォーマットを選択する（HQ 1920/24P、HQ 1440/24P以外では選択不可）。


LCD/VF SETメニュー

LCD/VF SET

メニュー項目	細目と設定値	内容
LCD LCDモニターに関する設定	Color -99～+99 (±0)	LCD映像の色の濃さを調整する。
	Contrast -99～+99 (±0)	LCD映像のコントラスト(明暗の差)を調整する。
	Brightness -99～+99 (±0)	LCD映像の明るさを調整する。
EVF ビューファインダーに関する設定	Backlight High / Low	EVFのバックライトの明るさを調整する。
	Mode Color / B&W	カメラモードでのEVFの表示モードを選択する。 Color: カラーモード B&W: モノクロモード
	Contrast -99～+99 (±0)	EVF映像のコントラスト(明暗の差)を調整する。
	Brightness -99～+99 (±0)	EVF映像の明るさを調整する。
	Power Auto / On	EVFをONにする条件を設定する。 Auto: LCDモニターを閉じたときと開いて反転させたときはON On: LCDモニターの開閉にかかわらずON
Peaking LCDモニター、EVFのピーキング(輪郭強調)に関する設定 	Color White / Red / Yellow / Blue	ピーキング信号の色を選択する。 White: 白 Red: 赤 Yellow: 黄色 Blue: 青
	Level High / Mid / Low	ピーキング信号の大きさを設定する。

LCD/VF SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Marker LCDモニター、 EVF映像に付加 するマーカー類 の設定 	Setting On / Off	すべてのマーカー表示をまとめてON/OFFする。
	Safety Zone On / Off	セーフティゾーンマーカーをON/OFFする。
	Safety Area 80% / 90% / 92.5% / 95%	セーフティゾーンマーカーの大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。
	Center Marker On / Off	センターマーカーをON/OFFする。
	Aspect Marker Line / Mask / Off	アスペクトマーカーを選択する。 Line: 白線で表示 Mask: マーカー範囲外のビデオ信号レベルを下げて表示 Off: 表示しない。
	Aspect Select 4:3 / 13:9 / 14:9 / 15:9 / 1.66:1 / 1.85:1 / 2.35:1 / 2.4:1	アスペクトマーカーの比を選択する。
	Aspect Mask 90% / 80% / 70% / 60% / 50% / 40% / 30% / 20% / 10% / 0%	Aspect MarkerがMaskのとき、アスペクトマーカーの外側の映像の明るさを選択する。
	Guide Frame On / Off	ガイドフレームマーカーをON/OFFする。
Zebra ゼブラパターン に関する設定 	Zebra Select 1 / 2 / Both	ゼブラパターン表示を選択する。 1: ゼブラ1のみ表示 2: ゼブラ2のみ表示 Both: ゼブラ1、ゼブラ2共に表示する。
	Zebra1 Level 50~107 (70)	ゼブラパターン1の表示レベルを設定する。

LCD/VF SET

メニュー項目	細目と設定値	内容
Display On/Off LCDモニター/ EVF画面に表示 する項目の選択 	Video Level Warnings On / Off	映像が明るすぎるときや暗すぎるときの警告表示をON/OFFする。
	Brightness Display On / Off	映像の明るさを表す数値表示をON/OFFする。
	Histogram Display On / Off	映像のレベル分布を示すヒストグラム表示をON/OFFする。
	Lens Info Meter / Feet / Off	被写界深度表示を選択する。 Meter: メートルで表示 Feet: フィートで表示 Off: 表示しない
	Zoom Position Number / Bar / Off	レンズのズームのポジション表示を選択する。 Number: 数値で表示 Bar: バーで表示 Off: 表示しない
	Audio Level Meter On / Off	オーディオレベルメーター表示をON/OFFする。
	Timecode On / Off	タイムデータ (タイムコード、ユーザービット、デューレーション) 表示をON/OFFする。
	Battery Remain On / Off	バッテリー残量/DC入力電圧表示をON/OFFする。
	Media Remain On / Off	メディア残量表示をON/OFFする。
	TLCS Mode On / Off	TLCS動作モード表示をON/OFFする。
	Steady Shot On / Off	手ぶれ補正モード表示をON/OFFする。
	Focus Mode On / Off	フォーカス動作モード表示をON/OFFする。
	White Balance Mode On / Off	ホワイトバランスモード表示をON/OFFする。
	Picture Profile On / Off	ピクチャープロフィール表示をON/OFFする。
	Filter Position On / Off	NDフィルター設定表示をON/OFFする。
	Iris Position On / Off	アイリス (レンズ絞り) 位置表示をON/OFFする。
	Gain Setting On / Off	ゲイン設定表示をOn/Offする。
	Shutter Setting On / Off	シャッターモードとスピード表示をON/OFFする。
	Fader Status On / Off	フェーダー動作モード表示をON/OFFする。
	Rec Mode On / Off	特殊録画モード(Frame Rec、Interval Rec、S&Q Motion)の状態表示をON/OFFする。
	Video Format On / Off	ビデオフォーマット表示をON/OFFする。


TC/UB SETメニュー

TC/UB SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Timecode タイムコードに 関する設定	Mode Preset / Regen / Clock	タイムコードの歩進モードを設定する。 Preset: プリセットモード (設定された状態から歩進) Regen: リジエネモード (前のクリップのタイムコード に続けて歩進) Clock: クロックモード (現在時刻をタイムコードとし て使用)
	Run Rec Run / Free Run	タイムコードの歩進モードがプリセットのとき、歩進 方法を設定する。 Rec Run: 記録時のみ歩進 Free Run: 記録に関係なく常に歩進
	Setting	タイムコードを任意の値に設定する。 SET: 決定
	Reset Execute/Cancel	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。 Execute: 実行
Users Bit ユーザービット に関する設定	Mode Fix / Date	ユーザービットのモードを設定する。 Fix : ユーザービットに任意の固定値を使用 Date : ユーザービットに現在年月日を使用
	Setting	ユーザービットを任意の値に設定する。
TC Format タイムコードの フォーマットの 設定	DF / NDF	タイムコードのフォーマットを設定する。 DF: ドロップフレーム NDF: ノンドロップフレーム

OTHERSメニュー

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
All Reset 工場出荷状態へのリセット	Execute/Cancel	Executeを選択するとリセットを実行する。
Camera Data 全メニュー設定値のSxSメモリーカードへの保存と呼び出し	Store Execute/Cancel	Executeを選択すると保存を実行する。
	Recall Execute/Cancel	Executeを選択すると呼び出しを実行する。
Time Zone 時差の設定	UTC -12:00 ~ +14:00 (+09:00)	UTCからの時差を30分単位で設定する。
Clock Set 内蔵時計に関する設定	Date/Time	現在日時を設定する。
	12H/24H 12H / 24H	時刻の表示形式を選択する。 12H: 12時間表示 24H: 24時間表示
	Date Mode YYMMDD / MMDDYY / DDMMYY	年月日の表示方式を選択する。 YYMMDD: 年月日の順 MMDDYY: 月日年の順 DDMMYY: 日月年の順
Language メニューとメッセージ表示言語の切り換え	English / Japanese / Chinese	English: 英語表示 Japanese: 日本語表示 Chinese: 中国語表示
	<div style="background-color: #cccccc; padding: 2px; display: inline-block;">ご注意</div> <p>日本語表示は警告や注意メッセージのみです。 メニューやステータス表示の言語は切り換わりません。</p>	

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Assign Button アサインابلボタンへの機能割り当て設定	<1> Off / Marker / Last Clip DEL / ATW / ATW Hold / Rec Review / Rec / Picture Cache / Freeze Mix / Expanded Focus / Spotlight / Backlight / IR Remote / Shot Mark1 / Shot Mark2 / Fader / EVF Mode / BRT Disp / Histogram / Lens Info / OK Mark	それぞれ対応する番号のASSIGNボタンに機能を割り当てる。 選択できる項目は共通です。 Marker: マーカー On/Off機能 Last Clip DEL: ラストクリップデリート実行機能 ATW: ATW On/Off機能 ATW Hold: ATWホールド実行機能 Rec Review: レックレビュー実行機能 Rec: 録画スタート/ストップ実行機能 Picture Cache: ピクチャーキャッシュ On/Off機能 Freeze Mix: フリーズミックス実行機能
	<2> Off / Marker / Last Clip DEL / ATW / ATW Hold / Rec Review / Rec / Picture Cache / Freeze Mix / Expanded Focus / Spotlight / Backlight / IR Remote / Shot Mark1 / Shot Mark2 / Fader / EVF Mode / BRT Disp / Histogram / Lens Info / OK Mark	Expanded Focus: エクスパンドフォーカスOn/Off機能 Spotlight: TLCSモードのスポットライト補正モードへの切り換え機能 Backlight: TLCSモードのバックライト補正モードへの切り換え機能 IR Remote: 赤外線リモコン有効/無効切り換え機能 Shot Mark1: ショットマーク1付加機能 (HDモードのみ) Shot Mark2: ショットマーク2付加機能 (HDモードのみ) Fader: フェーダー On/Off機能
	<3> Off / Marker / Last Clip DEL / ATW / ATW Hold / Rec Review / Rec / Picture Cache / Freeze Mix / Expanded Focus / Spotlight / Backlight / IR Remote / Shot Mark1 / Shot Mark2 / Fader / EVF Mode / BRT Disp / Histogram / Lens Info / OK Mark	EVF Mode: EVFのカラー /モノクロ切り換え機能 BRT Disp: 輝度レベル表示のOn/Off機能 Histogram: ヒストグラム表示のOn/Off機能 Lens Info: 被写界深度表示のOn/Off機能 OK Mark: OKマーク付加機能 (HDモードのみ。ただしメディアモードでは無効) Off: 無効
	<4> Off / Marker / Last Clip DEL / ATW / ATW Hold / Rec Review / Rec / Picture Cache / Freeze Mix / Expanded Focus / Spotlight / Backlight / IR Remote / Shot Mark1 / Shot Mark2 / Fader / EVF Mode / BRT Disp / Histogram / Lens Info / OK Mark	
Tally タリーに関する設定	Front High / Low / Off	正面のタリーランプの明るさを設定する。 High: 明るく点灯 Low: 暗く点灯 Off: 点灯しない
	Rear On / Off	後面のタリーランプをOn/Offする。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Hours Meter 積算時計の表示	Hours (Sys)	積算使用時間を表示する (リセット不可)。
	Hours (Reset)	積算使用時間を表示する (リセット可)。
	Reset Execute/Cancel	Hours (Reset)表示を0にリセットする。 Executeで実行
IR Remote リモコンのOn/ Off	On / Off	付属の赤外線リモコンを使用するときOnにする。 ご注意 本体の電源を切ると自動的にOffに戻ります。
Battery Alarm 電圧低下警告の 設定	Low BATT 5% / 10% / 15% / ... / 45% / 50%	バッテリー電圧低下警告を表示する残量を設定する (5%刻み)。
	BATT Empty 3% ~ 7% (3%)	バッテリー切れ警告を表示する残量を設定する。
	DC Low Volt1 11.5 V ~ 17.0 V (11.5 V)	DC INへの入力電圧の低下警告を表示する電圧を設定 する。
	DC Low Volt2 11.0 V ~ 14.0 V (11.0 V)	DC INへの入力電圧の不足警告を表示する電圧を設定 する。
Battery INFO バッテリーパッ クに関する情報 の表示 (表示のみ)	Type	タイプ(製品名)を表示する。
	MFG Date	製造年月日を表示する。
	Charge Count	累積充放電回数を表示する。
	Capacity	満充電時の推定全容量を表示する。
	Voltage	現在の出力電圧を表示する。
Remaining	現在の残容量を表示する。	
Direct Menu ダイレクトメ ニュー機能の設 定 	All / Part / Off	All: ダイレクトメニューがすべて可能 Part: 一部の機能に関してのみダイレクトメニュー操作 が可能 (GAIN, SHUTTER, WHITE BALスイッチ の設定によって操作が制限される。) Off: ダイレクトメニュー操作は不可
i.LINK I/O i.LINK端子から の信号入出力の 有効/無効の設定 	HDV / DVCAM / Disable	HDV: HDVストリームを入出力する (HDモードのみ)。 DVCAM: DVCAMストリームを入出力する。 Disable: 無効 ご注意 <ul style="list-style-type: none"> i.LINK I/OをHDVまたはDVCAMに設定すると、SDI OUT端子からは信号が出力されません。 i.LINK I/OをHDVまたはDVCAMに設定すると、スロー&クイックモーションモードは使用できません。 HDVは、ビデオフォーマットがHD SPモード以外 のときは入出力できません。
Trigger Mode 録画開始/停止の 操作をi.LINK端 子に接続した外 部記録機器に対 して行うか行わ ないかの設定 	Internal / Both / External	Internal: 録画開始/停止の操作を内蔵スロットのSxSメモリーカードに対してのみ行う。 Both: 録画開始/停止の操作を内蔵スロットのSxSメモリーカードとi.LINK端子に接続した外部記録機器の両方に対して行う。 External: 録画開始/停止の操作をi.LINK端子に接続した外部記録機器に対してのみ行う。
Country 使用地域の設定	NTSC Area / PAL Area	使用する地域のカラー方式を選択する。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
HD/SD Mode HD/SDの切り換え	HD / SD	HDモード/SDモードを切り換える（Executeで実行）。
Video Format ビデオフォーマットの切り換え	HDモードのとき CountryがNTSC Areaのとき HQ 1920/60i HQ 1440/60i SP 1440/60i HQ 1920/30P HQ 1440/30P HQ 1920/24P HQ 1440/24P SP 1440/24P HQ 1280/60P HQ 1280/30P HQ 1280/24P CountryがPAL Areaのとき HQ 1920/50i HQ 1440/50i SP 1440/50i HQ 1920/25P HQ 1440/25P HQ 1280/50P HQ 1280/25P SDモードのとき CountryがNTSC Areaのとき DVCAM60i SQ DVCAM60i EC DVCAM30P SQ DVCAM30P EC CountryがPAL Areaのとき DVCAM50i SQ DVCAM50i EC DVCAM25P SQ DVCAM25P EC	ビデオフォーマットを設定する。 HDモード <ul style="list-style-type: none"> ビットレート HQまたはSP 水平画素数 1980、1440、1280のいずれか フレームレート 24、25、30、50、60のいずれか スキャン方式 i (インターレース) または P (プログレッシブ) SDモード <ul style="list-style-type: none"> フレームレート 25、30、50、60のいずれか スキャン方式 i (インターレース) または P (プログレッシブ) アスペクト SQ (スクイーズ) または EC (エッジクロップ)

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Clip クリップの名称 や削除に関する 設定	Auto Naming Title / Plan	クリップ名の設定方法を選択する。 Title: Title Prefixで任意に設定する。 Plan: プランニングメタデータで設定したクリップ名がある場合はその名称にする。ない場合はTitle Prefixで設定した名称にする。
	Title Prefix nnn_ (nnnはシリアルNo.の 下3桁) (最大7文字表示)	クリップ名のタイトル部分 (4~46文字) を設定する Character Set画面を呼び出す。 Character Set画面の構成 文字選択エリア (3行) : Title Prefixエリアのカーソル位置に挿入する文字 を選択する。 !#\$%()+,-.;=@[]^_`0123456789 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ カーソル操作エリア (1行) : Space: カーソル位置の文字をスペースに変更する。 INS: カーソル位置にスペースを挿入する。 DEL: カーソル位置の文字を削除する。 ←: カーソルを左に移動する。 →: カーソルを右に移動する。 ESC: 変更をキャンセルしてCharacter Set画面を閉 じる。 END: 変更を実行してCharacter Set画面を閉じる。 Title Prefixエリア (1行) : タイトルを入力するエリア。
		タイトルを設定するには 1 十字スティックを使って、文字選択エリアからTitle Prefixエリアのカーソル位置に入れる文字を選択 (ハイライト表示) し、ジョグダイヤルまたは十字スティックを押す。(選択した文字が入り、カーソルが右に移動する。) 2 手順1を繰り返し、タイトルを設定する。(必要に応じて、Space、INS、DELを使用する。) 3 タイトル名の設定が終わったら、ENDを選択してCharacter Set画面を閉じる。
	Number Set 0001~9999	クリップ名の最後の番号部分 (4桁) を設定する。
	Update Media(A)/Media(B)	選択したスロットのSxSメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 ¹⁾ (確認画面のExecuteで実行)
	Last Clip DEL Execute/Cancel	最後に記録したクリップを削除する。 Executeで 実行
	All Clips DEL Execute/Cancel	SxSメモリーカード内のすべてのクリップを削除する。 Executeで実行
		ご注意 OKマークが付加されたクリップは削除できません。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Copy All ²⁾ クリップや Generalフォルダ のファイルの 一括コピーに関 する設定	Clips A⇔B B⇔A	SxSメモリーカード内のすべてのクリップをコピーする。 (確認画面のExecuteで実行)
	General Files A⇔B B⇔A	SxSメモリーカード内のGeneralフォルダにあるすべてのファイルをコピーする。 (確認画面のExecuteで実行)
	Clips&General A⇔B B⇔A	SxSメモリーカード内のすべてのクリップとGeneralフォルダにあるすべてのファイルをコピーする。 (確認画面のExecuteで実行)
Format Media SxSメモリー カードの初期化	Media(A) Execute/Cancel	スロットAのSxSメモリーカードを初期化する。 Executeで実行
	Media(B) Execute/Cancel	スロットBのSxSメモリーカードBを初期化する。 Executeで実行
Plan.Metadata プランニングメ タデータの操作 に関する設定	Load / Slot(A) Execute/Cancel	スロットAのSxSメモリーカードからプランニングメ タデータを読み込む。 Executeを選択するとスロットAのSxSメモリーカード に保存されているプランニングメタデータのファイル リストが表示される。ファイルを選択し、Load → Executeで読み込み実行。
	Load / Slot(B) Execute/Cancel	スロットBのSxSメモリーカードからプランニングメ タデータを読み込む。 Executeを選択するとスロットBのSxSメモリーカード に保存されているプランニングメタデータのファイル リストが表示される。ファイルを選択し、Load → Executeで読み込み実行。
	Properties Execute/Cancel	本機のメモリーに読み込まれているプランニングメ タデータの内容を表示する。 Executeで実行
	Clear Execute/Cancel	本機のメモリーに読み込まれているプランニングメ タデータの内容を消去する。
	Clip Name Disp Title1 / Title2	プランニングメタデータでクリップ名を設定する場 合の表示形式を設定する。 Title1：ASCII形式のクリップ名 Title2：UTF-8形式のクリップ名
	Version 本機のバージ ョンを表示	Vx.xx
Version Up 本機のバージ ョンアップ	Execute/Cancel	本機のバージョンアップが必要になったとき使用する。 Executeで 実行
ご注意		
SxSメモリーカードが挿入されていないときは選択で きません。		

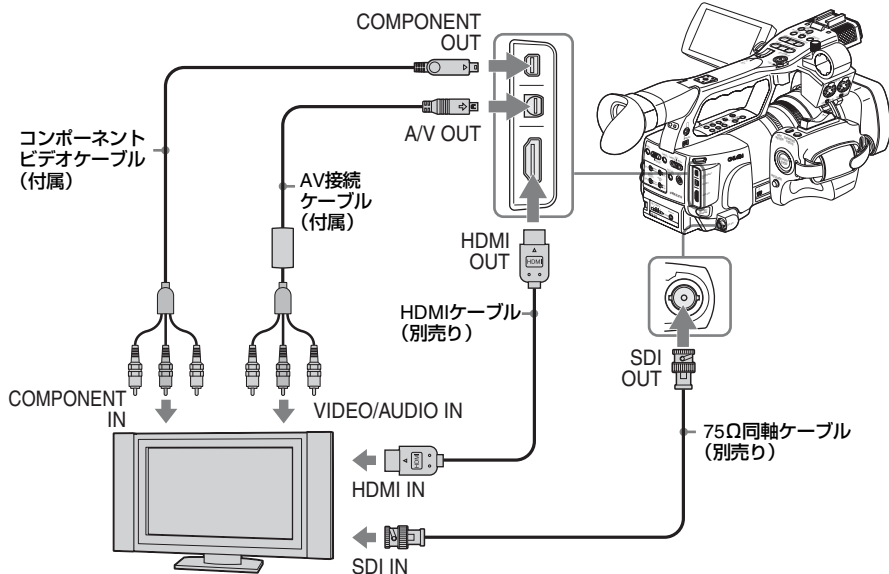
1)本機以外の機器で操作されたカードが記録・再生できない状態になったときなど、管理ファイルを更新することによって、症状が改善される場合があります。

2)複数のクリップやファイルが記録されたSxSメモリーカードをコピーする場合は、カードの容量が同じであっても使用条件やメモリーの特性により、全クリップやファイルを最後までコピーできない場合があります。

外部モニターを接続する

記録・再生画像を外部モニターに表示させるときは、本機の出力信号を選択し、接続する

モニターに応じた接続ケーブルを使用してください。



HD信号、SD信号を問わず、外部モニターにLCDモニター/EVFと同様の各種ステータス情報やメニューなどを表示させることができます。

モニターに出力する信号に応じて、VIDEO SETメニュー（139ページ）のYPbPr/Digital Out DisplayまたはVideo Out DisplayをOnに設定してください。

HDモードでSD信号を出力するときは、あらかじめVIDEO SETメニューのDown Converter（140ページ）で出力モード（Squeeze / Letterbox / Edge Crop）を選択してください。

ご注意

ダウンコンバートされて出力されるSD信号には、次のような制約があります。

50P/50i/25P の映像は PAL 信号、59.94P/59.94i/29.97Pの映像はNTSC 信号、23.98Pの映像は2-3 プルダウン処理されたNTSC 信号として出力されます。

SDI OUT端子（BNC型）

工場出荷時は、HD SDI信号を出力するように設定されています。

本機をSDモードに設定するとSD SDI信号を出力します。

VIDEO SETメニューのOutput Select（139ページ）を使用して、HDモードでもダウンコンバートされたモニター用SD SDI信号を出力するように変更することができます（HD/SDの設定は、COMPONENT OUT端子と連動して切り換わります）。

接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

接続したモニターにメニューやステータスを表示させるには

VIDEO SETメニューのYPbPr/Digital Out Display (139ページ) をOnにしてください。

ご注意

i.LINK (HDTV/DV) 端子での入出力が有効なとき (154ページ) は、SDI OUT端子からは信号が出力されません。

COMPONENT OUT端子 (ミニD端子)

工場出荷時はモニター用 HD アナログコンポーネント信号を出力するように設定されています。

本機をSDモードに設定するとSD アナログコンポーネント信号を出力します。

VIDEO SETメニューのOutput Select (139ページ) を使用して、HDモードでもダウンコンバートされたモニター用SDアナログコンポーネント信号を出力するように変更することができます。(HD/SDの設定は、SDI OUT端子と連動して切り換わります)。

接続には、付属のコンポーネントビデオケーブルを使用します。

接続したモニターにメニューやステータスを表示させるには

VIDEO SETメニューのYPbPr/Digital Out Display (139ページ) をOnに設定してください。

HDMI OUT端子 (Type Aコネクター)

VIDEO SETメニューのOutput Select (139ページ) の設定を変更することによって、信号を出力することができます。

HDモードでは、HD HDMI、SD HDMIインターレース、SD HDMI プログレッシブから選択して出力します。

SDモードではSD HDMI インターレース信号を出力します。

接続には、市販のHDMI接続ケーブルを使用します。

接続したモニターにメニューやステータスを表示させるには

VIDEO SETメニューのYPbPr/Digital Out Display (139ページ) をOnにしてください。

A/V OUT端子 (音声/映像複合マルチコネクター)

VIDEO SETメニューのOutput Select (139ページ) をCompositeに設定すると、2チャンネルの音声信号とダウンコンバートされたモニター用SDアナログコンポジット信号を出力します。

接続には、付属のAV接続ケーブルを使用します。

接続したモニターにメニューやステータスを表示させるには

VIDEO SETメニューのVideo Out Display (139ページ) をOnに設定してください。

コンピューターでクリップを管理・編集する

本機でSxSメモリーカードに記録したクリップを、コンピューター上で管理したり、別売りのノンリニア編集ソフトで編集することができます。

SxSメモリーカードをコンピューターに直接装着したり、USB ケーブルを使って PMW-EX1R 本体または SxS メモリーカード USB リリーダー/ライター SBAC-US10 (別売り) をコンピューターに接続して、本機で記録したクリップを管理・編集する方法を説明します。

準備

コンピューターの ExpressCard スロットを使う

ExpressCard/34 または ExpressCard/54 スロットがあるコンピューターの場合は、本機でクリップを記録したSxSメモリーカードを直接挿入して、ファイルにアクセスすることができます。

◆コンピューターの動作環境については「ソフトウェアの使いかた」(16ページ)をご覧ください。

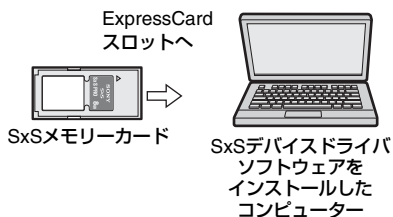
ご注意

付属のCD-ROMに収録されているSxSデバイスドライバソフトウェアのインストールが必要です。

◆SxS デバイスドライバソフトウェアのインストール方法については、付属のCD-ROMに収録されている ReadMe をご覧ください。

◆SxS デバイスドライバソフトウェアのサポート関連情報については、下記URLをご覧ください。

<http://www.sony.net/SxS-Support/>



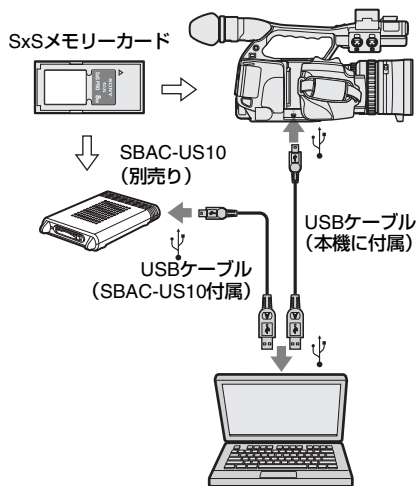
Windows コンピューターでは、マイコンピュータにリムーバブルディスクが追加されていることを確認してください。追加されていれば正常に動作しています。

Macintosh コンピューターでは、メニューバーにアイコンが表示されます。

USB ケーブルを使って接続する

本機またはSxSメモリーカードUSBリーダー/ライター SBAC-US10 (別売り) を、それぞれに付属の USB ケーブルを使って接続すると、スロットに装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。

本機の場合、2枚のメモリーカードが挿入されているときは、コンピューターでは2つのドライブとして認識されます。



ご注意

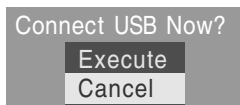
◆コンピューターに接続するときは、USB コネクタの形と向きに注意してください。

- 本機、SBAC-US10とも、コンピューターからのバスパワーでは動作しません。それぞれに電源を用意してください。

本機への接続の確認

1 本機の電源スイッチをCAMERAまたはMEDIAにして電源を入れる。

LCDモニター /EVF画面にUSBの接続を有効にするかどうかを確認するメッセージが表示されます。



ご注意

SxSメモリーカードのフォーマットや修復など、実行を確認するメッセージや実行中のメッセージが表示されている間は、USB接続確認メッセージは表示されません。フォーマットや修復などの実行が終了後に表示されます。

またクリップの詳細情報表示中もUSB接続確認メッセージは表示されません。処理が終了するか、サムネイル画面に戻ると表示されます。

2 ジョグダイヤルまたは十字スティックで「実行」(Execute)を選ぶ。

次のような画面が表示されます。



3 Windowsの場合、「マイコンピュータ」にリムーバブルディスクとして追加されていることを確認する。

Macintoshの場合、デスクトップにNO NAMEまたはUntitledフォルダ(フォルダ名は任意に変更可)が作成されていることを確認する。

追加・作成されていれば正常に動作しています。

ご注意

アクセスランプが赤く点灯しているときは、次の操作をしないでください。

- 電源を切る。電源コードを抜く。
 - SxSメモリーカードを抜く。
 - USBケーブルを抜く。
- ◆SBAC-US10を使用するときは、SBAC-US10の取扱説明書をご覧ください。

SxSメモリーカードを取りはずす

Windows の場合

1. コンピューターのタスクバーに表示されている「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックする。
2. 表示されたメニューから「SxS Memory Card ドライブ (X:) を安全に取り外します」を選択する。
3. 安全に取り外すことができることを知らせるメッセージが表示されたら、カードを抜く。

Macintosh の場合

デスクトップにあるSxSメモリーカードのアイコンを「ゴミ箱」(イジェクトアイコン)にドラッグします。

ファインダ上にSxSメモリーカードのアイコンがある場合は、横のイジェクトアイコンをクリックしてください。

ご注意

メニューバーに表示されているSxSメモリーカードのアイコンから「カード電源 切」を選択しないでください。

付属のアプリケーションソフトウェアを使う

コンピューターのローカルディスクにクリップをコピーする場合などは、付属のCD-ROMに収録されている専用アプリケーションソフトウェアをインストールして使用します。

使用するコンピューターに、付属のCD-ROMに収録されている専用アプリケーションソフトウェアをインストールしてください。

記録した素材は、情報が複数のファイル、複数のフォルダーにまたがって置かれていますが、専用アプリケーションソフトウェアでは、これらの情報やディレクトリ構造を、ユー

ザーが意識することなく、容易に扱えるようになっていきます。

ご注意

Explorer (Windows環境) やFinder (Mac環境) を使用して、SxSメモリーカード内のクリップのコピーなどを行うと、クリップが持つ情報を保持できなくなることがあります。そのような状況を避けるため、専用アプリケーションソフトウェアを使用してください。

- ◆動作環境やインストール方法、使いかたについては「XDCAM EX web site」(15ページ)または付属のCD-ROMに収録されているユーザーガイドをご覧ください。
- ◆専用アプリケーションソフトウェアのサポート情報については、「XDCAM EX web site」(15ページ)または付属のCD-ROMの表紙ページに記載されているURLをご覧ください。

ノンリニア編集システムを使う

ノンリニア編集システムには、本機で記録したフォーマットに対応した編集ソフトウェア(別売)が必要です。

付属の専用アプリケーションソフトウェアを使って、あらかじめコンピューターのHDDに編集したいクリップを保存しておきます。使用する編集ソフトによっては正しく動作しない場合があります。ご使用になる前に、必ず本機で記録したフォーマットに対応することをご確認ください。

アップル社製ソフトウェア Final Cut Pro を使うときは

アップルコンピュータ製Final Cut Proで編集できるファイルに変換する必要があります。

- ◆変換に用いるアプリケーションソフトウェアについて詳しくは、「XDCAM EX web site」(15ページ)または付属のCD-ROMの表紙ページに記載されているURLをご覧ください。

外部機器を接続する (i.LINK接続)

HDV互換のビデオフォーマット (SP 1440/60i, SP 1440/50i, SP 1440/24P) または DVCAM互換のビデオフォーマット (SDモードのフォーマット) が選択されているときは、OTHERSメニューのi.LINK I/OをHDVまたはDVCAM に設定することによって、i.LINK (HDV/DV) 端子を介した信号の入出力が可能でず。

i.LINK(HDV/DV) 端子に接続した外部機器で本機のメモリーカードに記録されるのと同じ画像を記録したり、外部機器の再生画像(HDVストリーム)を本機で記録することができます。

再生は、ロックオーディオ16ビット2チャンネルのDVCAMストリームに対応します。

また、HDVフォーマット対応のノンリニア編集ソフトを使って編集することもできます。

ご注意

- DVCAM ストリームを本機で記録することはできません。
- OTHERSメニューのi.LINK I/OをHDVまたはDVCAMにすると、SDI OUT端子からは信号が出力されません。また、i.LINK I/OがHDVまたはDVCAMのときは、スロー&クイックモーションモードは使用できません。
- また、スロー&クイックモーションモードは使用できません。
- i.LINK接続は1対1で使用してください。
- i.LINK接続中にOTHERSメニューのi.LINK I/O、HD/SD Mode、Video Format、VIDEO SETメニューのOutput Select、Down Converterなど、i.LINK(HDV/DV)端子から出力される信号に影響がある設定を変更するときは、i.LINKケーブルを抜いてから変更してください。i.LINK接続中に設定を変更した場合、接続されたi.LINK機器が正常に動作できなくなることがあります。

本機の画像を外部機器で記録する

本機をカメラモードにすると、本機で撮影している画像が i.LINK(HDV/DV) 端子を介して HDV または DVCAM ストリームとして出力されます。本機の REC START/STOP 操作に連動して、接続した HDV レコーダーや DVCAM レコーダーで記録することもできます。

1 本機で事前に必要な設定を行う。

- OTHERS メニューの i.LINK I/O (146 ページ) を HDV または DVCAM に設定する。

HDV: HD モードでビデオフォーマットを SP 1440/60i、SP 1440/50i、SP 1440/24P のいずれかに設定し、HDV ストリームを出力するとき

DVCAM: SD モードで DVCAM ストリームを出力するとき

- OTHERS メニューの Trigger Mode (146 ページ) を Both または External に設定する。

Both: 本機のメモリーカードと外部機器の両方に記録するとき

External: 外部機器でのみ記録するとき

2 外部機器を録画スタンバイ状態にする。

◆外部機器の操作については、その機器の取扱説明書を参照してください。

3 本機の電源スイッチをCAMERA側にしてカメラモードにする。

4 本機のREC START/STOPボタンを押す。

同期して外部機器が記録モードになります。

本機の LCD モニター/EVF の i.LINK 状態表示部 (24 ページ) に外部機器の状態が表示されます。

表示	外部機器の状態
STBY 	HDV 録画待機中
●REC 	HDV 録画中
STBY 	DV 録画待機中
●REC 	DV 録画中

ご注意

- 外部機器の種類によっては、動作が異なる場合があります。
- 本機の REC START/STOP ボタンを押してから、i.LINK 状態表示が切り換わるまでタイムラグがあります。Trigger Mode が Both に設定されていても、接続されている i.LINK 機器では同期がかかるまで記録が開始されません。
- メモリーカードには撮影中にショットマークを記録することができますが、外部機器で記録される画像には付加されません。

ノンリニア編集する

本機をメディアモードにして、i.LINK(HDV/DV) 端子に接続したノンリニア編集システムにストリーム転送することができます。

ご注意

- 本機の i.LINK(HDV/DV) 端子は 4 ピンです。接続するコンピューターの i.LINK 端子のピン数をご確認のうえ、適切な i.LINK ケーブルをお使いください。
- コンピューター上で本機の画像を検索するとき、画像の表示がコンピューター画面に反映されるまでに時間がかかる場合があります。
- クリップが短い場合や再生開始点からクリップ終端までが短い場合、クリップの境界で i.LINK 信号が途切れることがあります。また、このような信号をノンリニア編集機でキャプチャしようとした場合、アプリケーションによっては誤動作することがあります。
- ノンリニア編集機で ×4 倍、×15 倍、×24 倍以外のサーチ速度を指定すると、i.LINK 信号は出力されません。またこの場合 LCD モニター画面は静止画のままになることがあります。
- ノンリニア編集ソフトウェアによっては、高速再生画がコンピューター上に出ない場合があります。

本機の設定

OTHERS メニューの i.LINK I/O を HDV または DVCAM にしてください。

- ◆ ノンリニア編集ソフトウェアの操作については、そのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

外部入力信号を記録する

i.LINK(HDV/DV) 端子に接続した機器からのHDVストリーム入力を、本機に装着したSxSメモリーカードに記録することができます。タイムコードは、本機の設定にかかわらず、i.LINK入りに重畳されているタイムコードが記録されます。

ご注意

DVCAMストリームは記録できません。

1 外部信号を本機で記録できるフォーマットに設定する。

本機のVideo Format (147ページ) がSP 1440/60iまたはSP 1440/24Pに設定されているときは1440×1080/59.94iの信号、SP 1440/50iのときは1440×1080/50iの信号を記録できます。それ以外のVideo Formatと入力信号の組み合わせでは記録できません。

2 OTHERSメニューのi.LINK I/O (146ページ) をHDVIに設定する。

3 メディアモードにする。

4 STOPボタンを押して、STOPモードにする。

入力映像が、LCD モニター/EVF 画面、COMPONENT OUT端子 (またはAV OUT端子) に接続したモニターに表示されます。音声信号は、内蔵スピーカー、ヘッドホン端子に接続したヘッドホン、AV OUT端子に接続したモニターのスピーカーから出力されます。

5 ハンドル面操作パネルのREC START/STOPボタンを押す。

記録が始まります。

ご注意

- グリップのREC START/STOPボタンは機能しません。
- 次のような場合、エラー表示になります。エラー表示になった場合は、REC START/

STOPボタンを押して、記録モードを解除してください。

—本機で設定されているビデオフォーマットと異なる信号が入力されている。

—コピー禁止ストリームが入力されている。

- 記録中に本機への入力が無信号となった場合はタリーランプおよびLCDモニター/EVF画面のi.LINK状態表示の「●REC」が点滅し、SxSメモリーカードに何も記録されていないことを表示します。

再び信号が入力されると記録が再開しますが、本機でのクリップ番号が繰り上がります。

i.LINKについて

ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。

複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。

ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

ご注意

i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるHDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

S100（最大転送速度 約100Mbps¹⁾）

S200（最大転送速度 約200Mbps）

S400（最大転送速度 約400Mbps）

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。

1)最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

Mbps とは？

「Mega bits per second」の略で「メガビットパーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

他のi.LINK（HDV）対応機器と接続して使用方法については、154ページをご覧ください。

接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトウェアの有無などについては、接続する機器の取扱説明書を併せてご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニー製の6ピン↔4ピンまたは4ピン↔4ピンの i.LINK ケーブルをお使いください（HDVダビング時）。

i.LINKとは商標です。

使用上のご注意

安全にご使用いただくために、「安全のために」(2ページ)、「**△ 警告**」(9ページ)、「**△ 注意**」(10ページ)、「電池についての安全上のご注意」(11ページ)と併せてご覧ください。

取り扱い・保管上のご注意

強い衝撃を与えない

- 内部構造や外観の変形などの損傷を受けることがあります。
- アクセサリーシューに装着した部品に強い衝撃が与えられた場合、アクセサリーシューが損傷する場合があります。この場合は使用を中止し、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

動作中は布などで包まないでください

内部の温度が上がり、好ましくありません。

使い終わったら

電源スイッチを切ってください。

長時間使わないときは

バッテリーを抜いておいてください。

運搬するときは、ハンドルを持つ

フロントマイク部、LCDパネル部など、ハンドル以外の場所を持って運搬すると、本機が落下してけがの原因になることがあります。

レンズを太陽光に向けて放置しない

太陽光がレンズを通して内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

輸送

- メモリーカードは必ず取り出しておいてください。
- トラック、船、航空機など、本機を貨物として扱う輸送では、お買い上げ時の梱包材をご使用ください。

お手入れ

レンズの表面に付着したゴミやほこりは、ブローアールで吹き払います。

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。ひどい汚れは、中性洗剤液を少し含ませた布で拭いた後、カラ拭きします。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品類は、表面が変質したり、塗料がはげることがありますので、使わないでください。
ビューファインダー内部にゴミが入ったときは、ビューファインダー取りはずしつまみを下にずらしたまま、接眼部をはずしてください。



万一、異常が生じたときは

お買い上げ店かソニーのサービス窓口にご相談ください。

バッテリー端子に関するご注意

機器に搭載されているバッテリー端子(バッテリーバックやACアダプターとの接点部分)は消耗品です。

振動や衝撃によって端子が変形したり、曲がったり、あるいは長期の屋外での使用などによって表面が腐食したりすると、本体に電源が供給されなくなります。

長期間機器を使用していただくために、定期点検を実施することを願います。点検につきましては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

使用場所・保管場所

水平な場所、空調のある場所に保管してください。

次のような場所での使用・保管は避けてください。

- 極端に寒い所、暑い所（使用温度は0℃～40℃）。
真夏、窓を閉め切った自動車内は50℃を越えることがあります。
- 湿気・ほこりの多い所。
- 雨があたる所。
- 激しく振動する所。
- 強い磁気を発生するものの近く。
- 強力な電波を発生するテレビやラジオの送信所の近く。
- 直射日光が長時間当たる場所や暖房器具の近く。

携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。

本機の近くでは、携帯電話などの電源はできるだけ切ってください。

レーザービームについてのご注意

レーザービームはCMOSイメージセンサーに損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CMOSイメージセンサー表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。

LCD（液晶）画面について

LCD画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が現れたり、白、赤、青、緑の点が消えないことがあります。

この現象は故障ではなく、これらの点が記録されることはありませんので、安心してお使いいただくことができます。

CMOSイメージセンサー特有の現象

撮影画面に出る下記の現象は、CMOSイメージセンサー特有の現象で、故障ではありません。

白点

CMOSイメージセンサーは非常に精密な技術で作られていますが、宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。これは撮像素子の原理に起因するもので故障ではありません。

また、以下の場合、白点が見えやすくなります。

- 高温の環境で使用するとき
- マスターゲイン(感度)を上げたとき
- スローシャッターモードのとき

折り返しひずみ

細かい模様、線などを撮影すると、ぎざぎざやちらつきが見えることがあります。

フリッカー

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面が明滅したり、色が変化したり、横縞が流れるように見えることがあります。



このようなときは、フリッカー補正機能をAutoにしてください（65ページ参照）。条件によってはフリッカー補正機能が低減しない場合があります。

電子シャッタースピードを、50Hzの地域では1/100に、60Hzの地域では1/60に設定することをお勧めします。

フォーカルプレーン

撮像素子(CMOSセンサー)の映像信号を読み出す方法の性質により、撮像条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

フラッシュバンド

フラッシュ光や、すばやく点滅する光源を撮影したときに、画面の上下で輝度が変わることがあります。

画面表示に関するご注意

- 次のような場合、LCDモニターやEVFの映像が乱れることがあります。
 - フォーマットを切り換えたとき
 - レックレビュー時
 - サムネイル画面から再生を開始したとき
 - LCDパネルを反転したとき
 - エクスパンドフォーカス表示切り換え時
- EVF 内で視線を動かした場合などに、赤、緑、青の原色が見えることがあります。故障ではありません。また、これらの原色が実際にメディアに記録されることはありません。

他のXDCAM EXシリーズモデルとの互換性について

- 本機で記録したメディアを PMW-EX1、PMW-EX3、またはPMW-EX30で再生する場合、PMW-EX1/EX3/EX30が対応していないビデオフォーマットのクリップを記録したメディアは使用できません。
- 本機のピクチャープロファイルなどの設定データ(100ページ参照)をPMW-EX1/EX3/EX30、PMW-10MD、PMW-350で使用することはできません。
- PMW-EX30、PMW-10MD、PMW-350の設定データを本機で使用することはできません。
- PMW-EX1/EX3 の設定データを本機で 사용할ことができます。ただし下記の項目は反映されません。
 - Color Correction (94ページ)
 - Knee (97ページ)PMW-EX1/EX3と同等の画質を再現することはできません。

ファイルの断片化について

画像が正しく記録・再生されないときは記録メディアをフォーマット(初期化)してください。長期間、映像の記録・クリップの消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化(フラグメンテーション)して、映像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、クリップのバックアップを取ったあと、OTHERSメニューのFormat Media(149ページ)で記録メディアのフォーマット(初期化)を行ってください。

出力のフォーマットと制限

ビデオフォーマットと出力信号について

COMPONENT OUT端子、SDI OUT端子、HDMI OUT端子からの出力信号は、HD/SDモード設定、記録・再生のビデオフォーマット、および出力信号の種類(VIDEO SETメニューのOutput Selectの設定)に応じてフォーマットが切り換わります。

ご注意

- COMPONENT OUT端子とSDI OUT端子は同時に使用することができませんが、HDMI OUT端子、A/V OUT端子は、他の出力端子と同時に使用することはできません。
- OTHERSメニューのi.LINK I/OがHDVまたはDVCAMに設定されているときは、SDI OUT端子からは信号は出力されません。

E-Eモード（撮影スタンバイ状態）/撮影時の出力フォーマット（カメラモード）

COMPONENT OUT端子からのアナログコンポーネント信号は、OTHERS メニューのVideo Formatの設定と、VIDEO SETメニューのOutput Selectの設定に応じて、下表に示すフォーマットで出力されます。

SDI OUT端子からは、COMPONENT OUT端子から出力されるアナログコンポーネント信号と同じフォーマットのシリアルデジタル信号が出力されます。

Video Format設定	出力フォーマット			
	Output Select設定： HD SDI/Component HD HDMI	Output Select設定： SD SDI/Component SD HDMI Interlace Composite	Output Select設定： SD HDMI Progressive	
HQ 1920/60i	1920×1080/59.94i	720×480/59.94i	720×480/59.94P	
HQ 1440/60i				
SP 1440/60i				
HQ 1920/30P	1920×1080/29.97PsF	720×480/29.97PsF		
HQ 1440/30P				
HQ 1920/24P (24P System: 60i)	1920×1080/59.94i ¹⁾	720×480/59.94i ¹⁾		
HQ 1920/24P (24P System: 24PsF)	1920×1080/23.98PsF ²⁾			
HQ 1440/24P (24P System: 60i)	1920×1080/59.94i ¹⁾			
HQ 1440/24P (24P System: 24PsF)	1920×1080/23.98PsF ²⁾			
SP 1440/24P	1920×1080/59.94i ¹⁾			
HQ 1280/60P	1280×720/59.94P			720×480/59.94i ³⁾
HQ 1280/30P	1280×720/59.94P ⁴⁾			720×480/29.97PsF ⁵⁾
HQ 1280/24P	1280×720/59.94P ³⁾			720×480/59.94i ¹⁾
DVCAM/60i SQ	Output Select選択不可	720×480/59.94i SQ	Output Select選択不可	
DVCAM/60i EC		720×480/59.94i EC		
DVCAM/30P SQ		720×480/29.97PsF SQ		
DVCAM/30P EC		720×480/29.97PsF EC		
HQ 1920/50i	1920×1080/50i	720×576/50i	720×576/50P	
HQ 1440/50i				
SP 1440/50i				
HQ 1920/25P	1920×1080/25PsF	720×576/25PsF		
HQ 1440/25P				
HQ 1280/50P	1280×720/50P	720×576/50i ⁶⁾		
HQ 1280/25P	1280×720/50P ⁷⁾	720×576/25PsF ⁸⁾		
DVCAM/50i SQ	Output Select選択不可	720×576/50i SQ	Output Select選択不可	
DVCAM/50i EC		720×576/50i EC		
DVCAM/25P SQ		720×576/25PsF SQ		
DVCAM/25P EC		720×576/25PsF EC		

1)23.98Pを2-3プルダウンして59.94iとしたもの

2)Output SelectがHD HDMIの場合は、この設定を無視して2-3プルダウンした1920/60i信号を出力します。

3)59.94Pから59.94iに変換したもの

4)29.97Pを2フレームずつ同じ絵を出して59.94Pとしたもの

5)29.97Pから29.97PsFに変換したもの

6)50Pから50iに変換したもの

7)25Pを2フレームずつ同じ絵を出して50Pとしたもの

8)25Pから25PsFiに変換したもの

9)23.98Pを、2フレーム～3フレームと同じ絵を繰り返して59.94Pとしたもの

サムネイル画面表示時の出力フォーマット（メディアモード）

COMPONENT OUT端子からのアナログコンポーネント信号は、OTHERS メニューのVideo Formatの設定と、VIDEO SETメニューのOutput Selectの設定に応じて、下表に示すフォーマットで出力されます。

SDI OUT端子からは、COMPONENT OUT端子から出力されるアナログコンポーネント信号と同じフォーマットのシリアルデジタル信号が出力されます。

Video Format設定	出力フォーマット		
	Output Select設定： HD SDI/Component HD HDMI	Output Select設定： SD SDI/Component SD HDMI Interlace Composite	Output Select設定： SD HDMI Progressive
HQ 1920/60i	1920×1080/59.94i	720×480/59.94i	720×480/59.94P
HQ 1440/60i			
SP 1440/60i			
HQ 1920/30P			
HQ 1440/30P			
HQ 1920/24P			
HQ 1440/24P			
SP 1440/24P			
HQ 1280/60P	1280×720/59.94P		
HQ 1280/30P			
HQ 1280/24P			
DVCAM/60i SQ	Output Select選択不可		Output Select選択不可
DVCAM/60i EC			
DVCAM/30P SQ			
DVCAM/30P EC			
HQ 1920/50i	1920×1080/50i	720×576/50i	720×576/50P
HQ 1440/50i			
SP 1440/50i			
HQ 1920/25P			
HQ 1440/25P			
HQ 1280/50P			
HQ 1280/25P			
DVCAM/50i SQ	Output Select選択不可		Output Select選択不可
DVCAM/50i EC			
DVCAM/25P SQ			
DVCAM/25P EC			

クリップ再生時の出力フォーマット（メディアモード）

COMPONENT OUT端子からのアナログコンポーネント信号は、OTHERS メニューのVideo Formatの設定、再生するクリップのビデオフォーマット、およびVIDEO SETメニューのOutput Selectの設定（HDまたは

SD）に応じて、下表に示すフォーマットで出力されます。

SDI OUT端子からは、COMPONENT OUT端子から出力されるアナログコンポーネント信号と同じフォーマットのシリアルデジタル信号が出力されます。

ビデオフォーマットのフレームレート設定が 60i/60P/30P/24P のとき

再生するクリップのビデオフォーマット	出力フォーマット			
	Output Select設定： HD SDI/Component HD HDMI	Output Select設定： SD SDI/Component SD HDMI Interlace Composite	Output Select設定： SD HDMI Progressive	
HQ 1920/60i	1920×1080/59.94i	720×480/59.94i	720×480/59.94P	
HQ 1440/60i				
SP 1440/60i				
HQ 1920/30P	1920×1080/29.97PsF	720×480/29.97PsF		
HQ 1440/30P				
HQ 1920/24P (24P System: 60i)	1920×1080/59.94i ¹⁾	720×480/59.94i ¹⁾		
HQ 1920/24P (24P System: 24PsF)	1920×1080/23.98PsF ²⁾			
HQ 1440/24P (24P System: 60i)	1920×1080/59.94i ¹⁾			
HQ 1440/24P (24P System: 24PsF)	1920×1080/23.98PsF ²⁾			
SP 1440/24P	1920×1080/59.94i ¹⁾			
HQ 1280/60P	1280×720/59.94P			720×480/59.94i ³⁾
HQ 1280/30P	1280×720/59.94P ⁴⁾			720×480/29.97PsF ⁵⁾
HQ 1280/24P	1280×720/59.94P ⁶⁾			720×480/59.94i ¹⁾
DVCAM/60i SQ	Output Select選択不可	720×480/59.94i SQ	Output Select選択不可	
DVCAM/60i EC		720×480/59.94i EC		
DVCAM/30P SQ		720×480/30PsF SQ		
DVCAM/30P EC		720×480/30PsF EC		
HQ 1920/50i	1920×1080/59.94i ⁷⁾	720×480/59.94i ⁷⁾	なし	
HQ 1440/50i				
SP 1440/50i				
HQ 1920/25P	1920×1080/29.97PsF ⁷⁾	720×480/29.97PsF ⁷⁾		
SP 1440/25P				
HQ 1280/50P	1280×720/60P ⁷⁾	720×480/59.94i ⁷⁾		
HQ 1280/25P		720×480/29.97PsF ⁷⁾		
DVCAM/50i SQ	Output Select選択不可	なし	Output Select選択不可	
DVCAM/50i EC				
DVCAM/25P SQ				
DVCAM/25P EC				

1)23.98Pを2-3ブルダウンして59.94iとしたもの

2)Output SelectがHD HDMIの場合は、この設定

を無視して2-3ブルダウンした1920/60i信号を出力します。

- 3)59.94Pから59.94iに変換したもの
 4)29.97Pを2フレームずつ同じ絵を出して59.94Pとしたもの
 5)29.97Pから29.97PsFに変換したもの
 6)23.98Pを2フレーム～3フレームと同じ絵を繰り返して59.94Pとしたもの。

7)簡易再生、コンポーネントのみ。出力信号の実際のフレームレートは、表記の1.001倍になります。フレームレート変換のため、同じ絵が繰り返しとなるフレームがあります。SDI、HDMIは出力されません。

ビデオフォーマットのフレームレート設定が 50i/50P/25P のとき

再生するクリップのビデオフォーマット	出力フォーマット		
	Output Select設定： HD SDI/Component HD HDMI	Output Select設定： SD SDI/Component SD HDMI Interlace Composite	Output Select設定： SD HDMI Progressive
HQ 1920/60i	1920×1080/50i ¹⁾	720×576/50i ¹⁾	なし
HQ 1440/60i			
SP 1440/60i			
HQ 1920/30P	1920×1080/25PsF ¹⁾	720×576/25PsF ¹⁾	
HQ 1440/30P			
HQ 1920/24P	1920×1080/50i ²⁾	720×576/50i ¹⁾	
HQ 1440/24P			
SP 1440/24P			
HQ 1280/60P	1280×720/50P ¹⁾		
HQ 1280/30P			
HQ 1280/24P	1280×720/50P ³⁾	720×576/50i ²⁾	なし
DVCAM/60i SQ	Output Select選択不可	なし	Output Select選択不可
DVCAM/60i EC			
DVCAM/30P SQ			
DVCAM/30P EC			
HQ 1920/50i	1920×1080/50i	720×576/50i	720×576/50P
HQ 1440/50i			
SP 1440/50i			
HQ 1920/25P	1920×1080/25PsF	720×576/25PsF	
SP 1440/25P			
HQ 1280/50P	1280×720/50P	720×576/50i ⁴⁾	
HQ 1280/25P	1280×720/50P ⁵⁾	720×576/25PsF ⁶⁾	
DVCAM/50i SQ	Output Select選択不可	720×576/50i SQ	Output Select選択不可
DVCAM/50i EC		720×576/50i EC	
DVCAM/25P SQ		720×576/25PsF SQ	
DVCAM/25P EC		720×576/25PsF EC	

- 1)簡易再生、コンポーネントのみ。出力信号の実際のフレームレートは、表記の1/1.001になります。フレームレート変換のため、間引かれるフレームがあります。
 2)2-3プルダウン後簡易再生。フレームレート変換のため、間引かれるフレームがあります。
 3)23.98Pを2フレーム～3フレームと同じ絵を繰り返した後簡易再生。フレームレート変換のため、間引かれるフレームがあります。

- 4)50Pから50iに変換したもの
 5)25Pを2フレームずつ同じ絵を出して50Pとしたもの
 6)25Pから25PsFに変換したもの

入出力制限

メニューの設定によって、下表のように入出力が制限されます。

カメラモード / メディアモード再生時の出力制限

× : 無信号

メニュー設定				各端子からの出力					
HD/SD Mode	Video Format	i.LINK I/O	Output Select	SDI OUT	HDMI OUT	COMPONENT OUT	A/V OUT	i.LINK	
HD	HQ	Disable	HD SDI/Component	HD	×	HD	×	×	
			SD SDI/Component	SD	×	SD	×	×	
			HD HDMI	×	HD	×	×	×	
			SD HDMI Progressive	×	SD P	×	×	×	
			SD HDMI Interlace	×	SD i	×	×	×	
			Composite	×	×	×	SD	×	
	SP	SP	Disable	HD SDI/Component	HD	×	HD	×	×
				SD SDI/Component	SD	×	SD	×	×
				HD HDMI	×	HD	×	×	×
				SD HDMI Progressive	×	SD P	×	×	×
				SD HDMI Interlace	×	SD i	×	×	×
				Composite	×	×	×	SD	×
SD	SD	Disable	SD SDI/Component	SD	×	SD	×	×	
			SD HDMI Progressive	×	×	×	×	×	
			SD HDMI Interlace	×	SD i	×	×	×	
			Composite	×	×	×	SD	×	

メニュー設定				各端子からの出力				
HD/SD Mode	Video Format	i.LINK I/O	Output Select	SDI OUT	HDMI OUT	COMPONENT OUT	A/V OUT	i.LINK
HD	HQ	HDV	HD SDI/Component	×	×	HD	×	×
			SD SDI/Component	×	×	×	×	×
			HD HDMI	×	HD	×	×	×
			SD HDMI Progressive	×	SD P	×	×	×
			SD HDMI Interlace	×	SD i	×	×	×
			Composite	×	×	×	SD	×
		DVCAM ¹⁾	HD SDI/Component	×	×	×	×	DV
			SD SDI/Component	×	×	SD	×	DV
			HD HDMI	×	×	×	×	DV
			SD HDMI Progressive	×	×	×	×	DV
			SD HDMI Interlace	×	SD i	×	×	DV
			Composite	×	×	×	SD	DV
	SP	HDV	HD SDI/Component	×	×	HD	×	HDV
			SD SDI/Component	×	×	SD	×	HDV
			HD HDMI	×	HD	×	×	HDV
			SD HDMI Progressive	×	SD P	×	×	HDV
			SD HDMI Interlace	×	SD i	×	×	HDV
			Composite	×	×	×	SD	HDV
		DVCAM	HD SDI/Component	×	×	×	×	DV
			SD SDI/Component	×	×	SD	×	DV
			HD HDMI	×	×	×	×	DV
SD HDMI Progressive			×	×	×	×	DV	
SD HDMI Interlace			×	SD i	×	×	DV	
Composite			×	×	×	SD	DV	
SD	SD	DVCAM	SD SDI/Component	×	×	SD	×	DV
			SD HDMI Progressive	×	×	×	×	DV
			SD HDMI Interlace	×	SD i	×	×	DV
			Composite	×	×	×	SD	DV

¹⁾HQ 1920/24P、HQ 1440/24P、HQ 1280/24PのときはDVCAMストリームは出力されません。

メディアモード i.LINK 入力時の入出力制限

- i.LINK入力時は、SDI OUT端子、HDMI OUT端子からは信号は出力されません。
- DVまたはHDV入力時、記録動作や出力に制限がある場合でも、LCDモニター/EVF画面には表示できます。
- i.LINK I/OがDisableに設定されているときは、i.LINK入力は受け付けられません。
- i.LINK 入力を受け付けないモードでは、青画面表示になります。

×：無信号

メニュー設定			入力		各端子からの出力				
HD/SD Mode	Video Format	i.LINK I/O	Output Select	i.LINK	SDI OUT	HDMI OUT	COMPONENT OUT	A/V OUT	
HD	HQ	HDV	HD SDI/Component	受け付けない	×	×	HD	×	
			SD SDI/Component	受け付けない	×	×	SD	×	
			HD HDMI	受け付けない	×	×	×	×	
			SD HDMI Progressive	受け付けない	×	×	×	×	
			SD HDMI Interlace	受け付けない	×	×	×	×	
			Composite	受け付けない	×	×	×	SD	
		DVCAM	HD SDI/Component	DV	×	×	×	×	
			SD SDI/Component	DV	×	×	SD	×	
			HD HDMI	DV	×	×	×	×	
			SD HDMI Progressive	DV	×	×	×	×	
			SD HDMI Interlace	DV	×	×	×	×	
			Composite	DV	×	×	×	SD	
	SP	HDV	HDV	HD SDI/Component	HDV	×	×	HD	×
				SD SDI/Component	HDV	×	×	SD	×
				HD HDMI	HDV	×	×	×	×
				SD HDMI Progressive	HDV	×	×	×	×
				SD HDMI Interlace	HDV	×	×	×	×
				Composite	HDV	×	×	×	SD
DVCAM		DV	DV	HD SDI/Component	DV	×	×	×	×
				SD SDI/Component	DV	×	×	SD	×
				HD HDMI	DV	×	×	×	×
				SD HDMI Progressive	DV	×	×	×	×
				SD HDMI Interlace	DV	×	×	×	×
				Composite	DV	×	×	×	SD

メニュー設定				入力	各端子からの出力			
HD/SD Mode	Video Format	i.LINK I/O	Output Select	i.LINK	SDI OUT	HDMI OUT	COMPONENT OUT	A/V OUT
SD	SD	DVCAM	SD SDI/Component	DV	×	×	SD	×
			SD HDMI Progressive	DV	×	×	×	×
			SD HDMI Interlace	DV	×	×	×	×
			Composite	DV	×	×	×	SD

バックアップ電池の交換

本機はバックアップ電池によって各種データを保持します。

工場出荷時に、バックアップ用リチウム電池 CR2032 が装着されています。

バッテリーパックやACアダプターをはずした状態でも、バックアップ電池によって日付・時刻、およびFree Runモードのタイムコードを保持し歩進させます。

警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

バックアップ電池の交換時期

バックアップ電池の電圧が低下すると、LCDモニター/ビューファインダー画面に警告メッセージが表示されます。

できるだけ早く新しい電池と交換してください。

ご注意

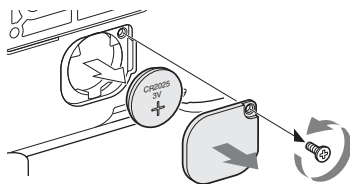
- 市販の CR2032 リチウム電池を使用してください。指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。必ず指定の電池に交換してください。
- CR2032 が入手できない場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。
- 使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

バックアップ電池を交換する

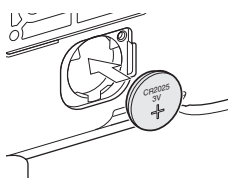
ご注意

- バックアップ電池を交換するときは、必ず電源スイッチをOFFにしてください。
- はずしたネジを本体内に落とさないようにご注意ください。

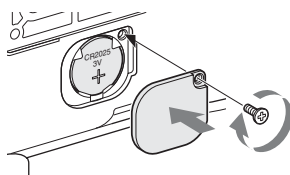
- 1 ネジをはずしてバックアップ電池取り付け部（底面）のカバーを開け、中の電池を取り出す。



- 2 +表示を外側にして新しいバックアップ電池（CR2032）を入れる。



- 3 カバーを元どおり取り付け。



トラブル時の対処

電源

症状	原因	対処
電源スイッチをCAMERAまたはMEDIAにしても電源が入らない。	バッテリーパックからの電源、DC IN電源のどちらも供給されていない。	バッテリーパックを取り付ける（27ページ）か、BC-U1/U2を使用してAC電源を接続する（29ページ）。
電源が途中で切れる。	バッテリーパックが完全に消耗している。	充電済みのバッテリーパックと交換する（27ページ）。
バッテリーパックがすぐ消耗する。	温度が極端に低いところで使用している。	バッテリーパックの特性によるもので、故障ではありません。
	充電が不十分。	バッテリーパックをもう一度充電し直す（27ページ）。フル充電してもすぐに消耗する場合は、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックに交換してください。

記録・再生

症状	原因	対処
REC START/MEDIAボタンを押しても記録が始まらない。	電源スイッチがOFFまたはMEDIAになっている。	電源スイッチをCAMERA側にする。
	SxSメモリーカードがプロテクトされている。	プロテクトを解除する（37ページ）か、またはプロテクトされていないSxSメモリーカードに交換する。
	SxSメモリーカードの容量がいっぱいになっている。	十分な空き容量のあるSxSメモリーカードに交換する。
	修復が必要なSxSメモリーカードが入っている。	SxSメモリーカードを修復する（40ページ）。
PLAYボタンを押しても再生が始まらない。	電源スイッチがOFFまたはCAMERAになっている。	電源スイッチをMEDIA側にする。
付属のリモコンが動かない	リモコン操作が無効になっている。	リモコン操作を有効にする（34ページ）。
	リモコンの電池が消耗している。	電池を交換する（35ページ）。
音声記録できない。	AUDIO LEVEL (CH-1/CH-2) つまみが最小の位置になっている。	AUDIO LEVEL (CH-1/CH-2) つまみの設定を調整する（70ページ）。
記録した音声かひずんでいる。	音声レベルが高すぎる。	AUDIO LEVEL (CH-1/CH-2) つまみを調節して、記録し直す（70ページ）。
雑音が多い。	音声レベルが低すぎる。	AUDIO LEVEL (CH-1/CH-2) つまみを調節して、記録し直す（70ページ）。

外部機器

症状	原因	対処
i.LINK接続しても接続先の機器に画像が映らないなど、接続先の機器が反応しない。	認識するまでに時間がかかる場合がある。	約15秒間、そのまま待つ。それでも認識しないときは、以下を行う。 <ul style="list-style-type: none">• i.LINKケーブルを差し込み直すなどして、接続状態を確認する。• 電源をOFFにして、接続し直す。• i.LINKケーブルを交換する。

エラー / 警告表示

本機では警告、注意、動作確認などが必要な状況では、LCDモニター/EVF画面のメッセージ表示、タリーランプの点滅、および警告音で対応します。
警告音は、内蔵スピーカーまたはヘッドホン端子に接続したヘッドホンに出力します。

警告音の音量は、AUDIO SETメニューAudio Output (138ページ) のAlarm Levelの設定で調整できます。

エラー表示

次のような表示が出た場合は、本機は動作を停止します。

LCD/EVF警告表示	警告音	タリーランプ	原因と対策
E+エラーコード	連続音	高速点滅	本体の異常の可能性があります。LCDモニター/EVF画面上に●RECと表示されていても記録は止まっています。 電源を切り、接続している機器やケーブル類、メディアに異常がないか確認してください。これらに異常がないときは、再度電源を入れ、エラーが継続する場合はソニーのサービス窓口にご連絡ください。 (電源スイッチをOFFにしても電源が切れない場合は、バッテリーパックとDC IN電源もはずしてください。)

警告表示

次のような表示が出た場合は、メッセージに従って対策してください。
(OTHERSメニューのLanguageをEnglishに設定した場合、メッセージは英文で表示されます。)

LCD/EVF警告表示	警告音	タリーランプ	原因と対策
メディア残量がわずかです。 Media Near Full	断続音	点滅	SxSメモリーカードの残量が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
メディア残量がありません。 Media Full	連続音	高速点滅	SxSメモリーカードの残量がないため、記録、コピー、クリップ分割はできません。 交換してください。
バッテリー残量がわずかです。 Battery Near End	断続音	点滅	バッテリーパックの残量が少なくなっています。 早い機会に充電してください。
バッテリー残量がありません。 Battery End	連続音	高速点滅	バッテリーパックが消耗しました。記録はできません。 DC INに電源をつなぐか、いったん操作を中止し、バッテリーパックを充電してください。
警告温度になりました。 Temperature High	断続音	点滅	内部温度が上昇しました。 いったん電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。
電源電圧が低下しています。 Voltage Low	断続音	点滅	DC IN電圧が低くなっています (段階1)。供給電源を確認してください。

LCD/EVF警告表示	警告音	タリランブ	原因と対策
電源電圧が不足しています。 Insufficient Voltage	連続音	高速点滅	DC IN電圧が低すぎます（段階2）。記録はできません。 他の電源に接続しなおしてください。
このバッテリーは使用できません。 交換してください。 Battery Error Please Change Battery.			バッテリーパックに異常が検出されました。 正常なバッテリーパックに交換してください。
バックアップ電池残量がありません。 交換してください。 Backup Battery End Please Change.			バックアップ電池の残量が不足しています。 バックアップ電池を交換してください。
メディア(A) ¹⁾ は使用できません。 交換してください。 Unknown Media(A) ¹⁾ Please Change.			パーティションが切られているメモリーカードや、本機で扱えるクリップ数を超えて記録されたメモリーカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換してください。
最大クリップ数になりました。 メディア(A) ¹⁾ は使用できません。 Reached Clip Number Limit Cannot Record on Media(A) ¹⁾			1枚のメモリーカードに記録可能な最大クリップ数になりました。 これ以上記録できません。 別のカードに交換してください。
メディアエラーが発生しました。 メディア(A) ¹⁾ は修復が必要です。 Media Error Media(A) ¹⁾ Needs to be Restored			メモリーカードに異常が発生し、修復が必要な状態になりました。 メモリーカードを一度抜いてから再挿入して、カードの修復を行ってください。
メディアエラーが発生しました。 メディア(A) ¹⁾ は記録できません。 Media Error Cannot Record to Media(A) ¹⁾			メモリーカードが故障して、記録ができなくなりました。 再生は可能ですので、コピーをとるなどして、新しいメモリーカードに交換することをお勧めします。
メディアエラーが発生しました。 メディア(A) ¹⁾ は使用できません。 Media Error Cannot Use Media(A) ¹⁾			メモリーカードが故障して記録も再生もできなくなりました。 本機では扱えませんので、他のカードに交換してください。
メディア(A) ¹⁾ は使用できません。 ファイルシステムが違います。 Cannot Use Media(A) ¹⁾ Unsupported File System			ファイルシステムの異なるカードまたはフォーマットされていないカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換または本機でフォーマットしてください。
ビデオフォーマットが違います。 Video Format Mismatch			Video Format設定が外部入力信号フォーマットと異なっているため、i.LINK接続による外部入力信号を記録できません。 OTHERSメニューのVideo Formatを外部入力信号に合わせて設定し直してください。
コピー制御信号を検出しました。 記録できません。 Copy Protected Input Cannot Record			ストリームにコピープロテクトがかかっているため、i.LINK接続による外部入力信号を記録できません。 入力信号を確認してください。
DVCAM入力。 記録できません。 DVCAM Input Signal! Cannot Record			i.LINK接続による外部入力信号がDVCAMストリームのため、記録できません。
メディアエラーが発生しました。 再生を停止しました。 Media Error Playback Halted			メモリーカードからの読み出しにエラーが発生したため、再生が続けられません。 頻繁に起きる場合には、コピーをとるなどをして、メモリーカードを交換してください。

LCD/EVF警告表示	警告音	タリーランプ	原因と対策
メディア(A) ¹⁾ にエラーが発生しました。 Media(A) ¹⁾ Error			メモリーカードに異常が発生したため、記録できません。 頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。
HDD A ²⁾ バッテリー残量が僅かです。 HDD A ²⁾ Battery Near End	断続音	点滅	HDDのバッテリーの残量が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
HDD A ²⁾ バッテリー残量不足です。 HDD A ²⁾ Battery End	連続音	高速点滅	HDDのバッテリーが消耗しました。記録はできません。 いったん操作を中止し、バッテリーを交換してください。
メディア残量が足りません。 メディア(A) ¹⁾ を交換してください。 Not Enough Capacity Change Media (A) ¹⁾			メモリーカードの残量が足りないため、コピーできません。 対象スロットのカードを交換してください。
同名のクリップが複数存在します。 メディア(A) ¹⁾ を交換してください。 Reached Duplication Limit Change Media (A) ¹⁾			同名のクリップが10以上存在します。 対象スロットのカードを交換してください。
メディア残量が足りません。 分割できません。 Not Enough Capacity Cannot Divide			メモリーカードの残量が足りないため、クリップを分割できません。
書き換え寿命に達しました。 メディア(A) ¹⁾ を交換してください。 Media Reached Rewriting Limit Change Media (A) ¹⁾			メモリーカードの寿命がきました。 バックアップをとり、速やかに交換してください。継続して使用すると、正常に記録・再生できない可能性があります。 ◆詳しくは、メモリーカードの取扱説明書を参照してください。

1)スロットBに入れたカードの場合は(B)

2)スロットBに接続したHDDの場合はB

MPEG-2 Video Patent Portfolio Licenseについて

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA, L.L.C., (住所250STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206) より取得可能です。

PACKAGED MEDIAとは、一般消費者向けに販売、頒布されるMPEG-2コンテンツの入ったメディア（映画 DVDなど）を指します。PACKAGED MEDIAを製造、販売、頒布する業者は、MPEG LAからライセンスを取得する必要があります。

詳しくは、MPEG LAにお問い合わせください。

MPEG LA, L.L.C., 250 STEELE STREET,
SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206

ホームページ： <http://www.mpegla.com>

ビットマップフォント について

本製品は、株式会社リコーがデザイン制作したリコービットマップフォントを使用しています。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

主な仕様

一般

電源電圧

DC 12 V (10.5 V~17.0 V)

消費電力

約12.5 W (Typical) (記録時、EVF On、LCDモニター Off)
MAX 14 W (Typical) (記録時、EVF On、LCDモニター On)

動作温度

0°C~+40°C

保存温度

-20°C~+60°C

記録/再生フォーマット

ビデオ

HD HQモード : MPEG-2 MP@HL、
35Mbps / VBR
1920×1080/59.94i、50i、29.97P、
25P、23.98P
1440×1080/59.94i、50i、29.97P、
25P、23.98P
1280×720/59.94P、50P、29.97P、
25P、23.98P

HD SPモード : MPEG-2 MP@H-14、
25Mbps / CBR

1440×1080 /59.94i、50i
(23.98Pは59.94iの2-3プルダウン記録
で対応)

SDモード : DVCAM

720×480/59.94i、29.97P
720×576/50i、25P

オーディオ

LPCM (16ビット、48 kHz、2チャンネル)

記録再生時間

SBP-16使用時
SPモード/DVCAMモード：約65分
HQモード：約50分
SBP-32/SBS-32G1A使用時
SPモード/DVCAMモード：約130分
HQモード：約100分
SBS-64G1A使用時
SPモード：約280分
DVCAMモード：約260分
HQモード：約200分

ご注意

記録再生時間は、使用条件やメモリーの特
性などにより、多少の誤差が生じる場合が
あります。

連続動作時間

(記録時、EVF On、LCDモニター Off)
バッテリーバックBP-U60使用時
約4時間
バッテリーバックBP-U30使用時
約2時間

質量

本体のみ：2.4 kg
レンズフード、アイカップ、バッテリー パックBP-U30、SxSメモリーカード各1装 着時：2.8 kg

外形寸法

180ページ参照

付属品

13ページ参照

カメラ部

レンズ

焦点距離

5.8 mm ~ 81.2 mm
(35 mm換算: 31.4 mm ~ 439 mm)

ズーム

電動/手動切り換え可能

ズーム比

14倍

最大口径比

1:1.9

絞り

自動/手動切り換え可能
F1.9~F16 およびC (クローズ)

フォーカス

自動/手動切り換え可能
範囲 800 mm ~ ∞ (マクロOFF)
50 mm ~ ∞ (マクロON、広角端)
735 mm ~ ∞ (マクロON、望遠端)

手ぶれ補正

ON/OFF可能、シフトレンズ方式

フィルター取り付けネジ

M7.7 mm、ピッチ0.75 mm

マクロ

ON/OFF可能

カメラ

撮像素子

1/2型、CMOSイメージセンサー
有効画素数 1920(H)×1080(V)

方式

RGB 3板方式

分光系

F1.6プリズム方式

内蔵フィルター

NDフィルター
OFF: クリア
1: 1/8ND
2: 1/64ND

感度

F10 (Typical) (1920/60iのとき、89.9%反
射、2000 lx)

最低被写体照度

0.14 lx (F1.9、+18 dB、64フレーム蓄積)

映像S/N

54 dB (Y) (Typical)

水平解像度

1000TV本以上 (HD SDI、HQ 1920のとき)

ゲイン

-3、0、3、6、9、12、18 dB、AGC

シャッタースピード

1/32 ~ 1/2000秒

スローシャッター

2 ~ 8フレーム
高感度スローシャッター：
16、32、64フレーム

オーディオ部

内蔵マイク

形式：ステレオエレクトレットコンデンサマイク
指向特性：無指向性
周波数特性：50 Hz～15 kHz

内蔵スピーカー

モノラル
出力：250 mW

表示部

LCD モニター

画面サイズ

対角8.8 cm (3.5型)

アスペクト比

16:9

画素数

640(H) × 3(RGB) × 480(V) デルタ配列

透過方式

ハイブリッド (半透過) 型

ビューファインダー

画面サイズ

対角1.148 cm (0.452型)

アスペクト比

16:9

画素数

852 (H) × 480 (V)

メディア部

カードスロット

形状：Express Card34
スロット数：2
端子：PCMCIA Express Card準拠

書き込みレート

50 Mbps以上

読み出しレート

50 Mbps以上

入出力部

入力端子

AUDIO IN CH1/CH2端子

XLR型 3ピン (2)、凹型
LINE: +4 dBu
MIC: -20 dBu～-65 dBu (3 dBステップ)
(基準レベル 0 dBu=0.775 Vrms)

DC IN端子

DCジャック (1)

出力端子

A/V OUT端子

AVマルチコネクター (1)
オーディオ: -10 dBu (47kΩ負荷時、基準レベル)
アナログコンポジット信号:
NTSCまたはPAL

COMPONENT OUT端子

ミニD端子 (1)
Y: 1.0 Vp-p、75Ω
Pb / Pr: 0.7 Vp-p、75Ω

ヘッドホン端子

ステレオミニジャック (1)
-18 dBu (基準レベル出力 16Ω負荷時)

SDI OUT端子

BNC型 (1)、SMPTE 292M/259M規格準拠

HDMI OUT端子

Type A型 (1)

PC 接続端子

i.LINK(HDV/DV)端子

i.LINK、IEEE1394、4ピンコネクター (1)、S400

USB端子

mini-B/USB2.0 Hi-Speed (1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリ

バッテリーパック BP-U30、BP-U60

バッテリーチャージャー BC-U1、BC-U2

SxSメモリーカード

SxS PRO SBP-16 (16 GB)

SxS PRO SBP-32 (32 GB)

SxS-1 SBS-32G1A (32 GB)

SxS-1 SBS-64G1A (64GB)

SxSメモリーカードUSBリーダー /ライター

SBAC-US10

モバイルストレージユニット

PXU-MS240

メディアアダプター

MEAD-MS01 (“メモリースティック
PRO-HG PRO-HG デュオ” HXAシリー
ズ用)

MEAD-SD01 (SDHCカード用)

エレクトレットコンデンサーマイクロホン

ECM-673、ECM-680S

ワイヤレスマイクロホン

UWP-V1

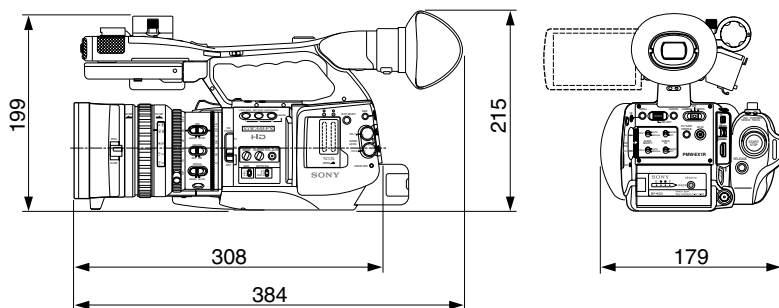
ワイドコンバージョンレンズ VCL-EX0877

プロフェッショナルハードディスクユニット

PHU-120R

外形寸法

単位: mm



この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講じるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

索引

あ行

アイカップ	33
アイリスリング	58
アクセサリースュー	19, 41
アサインボタン	75
アスペクトマーカー	53
頭出し	111
位置合わせ	83
インターバルレック	77
エクスパンドフォーカス	62
エラー表示	172
オーディオステータス画面	125
オーディオレベルメーター	125
オートアイリスモード	58
オートシャッター	58
オートフォーカス	62
オートホワイトバランス	51
オールクリップサムネイル画面	108

か行

ガイドフレームライン	53
外部入力 (音声)	69
外部入力信号	156
外部ハードディスク	41
外部マイク	69
外部モニター	150
拡張クリアスキャン	56, 57
カメラステータス画面	124
カメラモード	29
カラーバー	71
基準音声信号	71
キャッシュレック	81
距離指標	62
記録メディア残量表示	39, 42
クリップ	46
コピー	116
削除	99, 118
詳細情報	115
代表画	121
分割	122

グリップ	34
クリップ操作メニュー	113, 114
クリップ名	46
警告表示	172
高速再生	111
誤操作防止	46
コマ撮り	78

さ行

再生コントロールボタン	109
削除	99, 118
サムネイル画面	106
三脚用ネジ穴	22
視度調整つまみ	33
自動追尾ホワイトバランス	50
十字スティック	20, 129
充電繰り返し回数	127
修復 (メモリーカード)	40
出力信号	160
手動ズームモード	59
詳細情報画面	115
ジョグダイヤル	22, 129
ショットトランジション	84
ショットマーク	72, 111, 120, 121
ショットマーク画面	120
ショルダーベルト	19
ズームスピード	124
ズームスピード切り換えスイッチ	60
ズームリング	60
ステータス画面	123
スローシャッター	56
スロースピードシャッター	57
スロー&クイックモーション	81
セーフティーゾーンマーカー	52
セットアップファイル	100
セットアップメニュー	128
センターマーカー	53

た行

代表画	106, 121
タイムコード	66
タイムデータ	68
ダイレクトメニュー	25, 55, 57, 64, 65, 82, 91
超高感度スローシャッター	56, 57
手ぶれ補正	65
電源スイッチ	29

電子シャッター	56
電動ズーム（サーボ）モード	59
電動ズームレバー	60
時計	30

な行

内蔵ステレオマイク	69
内蔵スピーカー	111

は行

バックアップ電池	169
バックライト (EVF)	33
バックライト (LCD)	32
バッテリーチャージャー	27
バッテリーパック	27
バッテリー / メディアステータス画面	127
ハンドル ZOOM ボタン	60
ピーキング	63
ピクチャーキャッシュ	80
ピクチャープロファイル	90
被写界深度バー表示	25
ヒストグラム表示	25
日付 / 時刻	30
ビデオステータス画面	126
ビデオフォーマット	47
ビューファインダー	32
風音低減フィルター	125
フェーダー	88
フェードアウト	89
フェードイン	89
フォーカスリング	62, 63
フォーマット（初期化）	38, 42, 43
プランニングメタデータ	101
フリーズミックス	83
プリセットモード	50
フリッカー	65
フルオートモード	45
フルマニュアルフォーカス	62
フレームレック	78
プロテクト	39
分割	122
ヘッドホン端子	70, 111
ボタン / リモート ステータス画面	127
ホワイトバランス	50

ま行

マーカー	52
マクロモード	64
マニュアルアイリスモード	59
マニュアルフォーカス	62
メディアアダプター	43
メディアモード	29, 106
メモリスティック	43
メモリー A モード	50
メモリー B モード	50
モニター音量	71

や行

ユーザービット	68
---------	----

ら行

ライトプロテクトスイッチ	37
リモートコマンダー（リモコン）	22
リモコン	34
レックレビュー	74
レンズフード	18
録音レベル	70

わ行

ワイドコンバージョンレンズ	65
ワンプッシュオートフォーカス	63

A

AC アダプター	29
ACCESS ランプ	37, 38
AC 電源	29
AF モード	62, 64
AGC モード	55
All Clips DEL	99, 118
All Reset	101, 144
Angle モード	56, 57
Area Detection	98
Aspect Marker	53
Aspect Mask	53
Aspect Select	53
Assign Button	75, 145
ASSIGN 1 ~ 3 ボタン	75
ASSIGN 4 ボタン	75
ATW	50, 76
ATW Hold	76

ATW Speed.....	136
AUDIO IN スイッチ	69
Audio Input.....	71, 138
AUDIO IN 端子.....	69
AUDIO LEVEL 調整つまみ.....	69, 70
Audio Output.....	138
AUDIO SELECT スイッチ.....	69, 70
AUDIO SET メニュー.....	138
Auto Naming.....	46, 104
Auto Shutter.....	58
AV 単独ファイル.....	107, 108
A/V OUT 端子.....	151

B

Backlight.....	76
BARS/CAM ボタン.....	71
Battery Alarm.....	146
Battery INFO.....	146
BATTERY RELEASE ボタン.....	27
BC-U1/U2.....	27, 29
Black.....	98
Black Gamma.....	98
BP-U30.....	27
BP-U60.....	27
BRT Disp.....	76

C

CACHE REC ランプ.....	80
Camera Data.....	100, 144
CAMERA SET メニュー.....	132
CANCEL ボタン.....	129
Center Marker.....	53
Clear.....	103
Clip.....	148
Clip Name Disp.....	104, 149
Clips.....	117
Clips&General.....	117
Clock Set.....	144
Clock モード.....	66
CMOS イメージセンサー.....	159
Color Bar Type.....	71, 133
Color Correction.....	94
COMPONENT OUT 端子.....	151
Copy All.....	105, 117
COPY CLIP.....	117
Country.....	47, 146

D

Date/Time.....	30
DC IN 端子.....	29
DELETE CLIP.....	118
Detail.....	95
DF/NDF.....	67
Direct Menu.....	146
DISP CLIP INFO.....	115
Display On/Off.....	142
DISPLAY/BATT INFO ボタン.....	24, 28
DIVIDE CLIP.....	122
Down Converter.....	140

E

ECS Frequency.....	57
ECS モード.....	56, 57
EJECT ボタン.....	38
EVF.....	32, 33, 140
EVF Mode.....	76
EX Slow Shutter.....	56, 57, 132
EXPAND FOCUS ボタン.....	62
EXPAND (COARSE).....	120
EXPAND (FINE).....	120
Expanded Focus.....	76
ExpressCard スロット.....	152

F

F FWD ボタン.....	111
F REV ボタン.....	111
Fader.....	76, 88, 135
Flicker Reduce.....	65, 133
FOCUS スイッチ.....	63
Format Media.....	39, 42, 44, 149
Frame Rec.....	78, 134
Free Run モード.....	66
Freeze Mix.....	76, 83
FULL AUTO ボタン.....	45
Full MF モード.....	62

G

Gain Setup.....	55, 132
Gamma.....	98
General Files.....	105
Guide Frame.....	53

H

HDMI OUT 端子	151
HD/SD Mode.....	47
Histogram.....	76
Hours Meter.....	146

I

Image Inversion	137
Interval Rec.....	77, 134
IR Remote.....	34, 76
IRIS スイッチ	58
IRIS ボタン.....	59
i.LINK.....	24, 154, 157
i.LINK I/O.....	146, 154, 156

K

Knee.....	97
-----------	----

L

Language.....	144
Last Clip DEL.....	76, 99
LCD.....	32, 140
LCD BRIGHT + / - ボタン	32
LCD B.LIGHT スイッチ	32
LCD モニター.....	31
LCD/VF SET メニュー.....	140
Lens Info.....	76
LENS REMOTE 端子.....	61
LINE/MIC/MIC+48V スイッチ	69
Load / Slot(A).....	102
Load / Slot(B).....	102
Low Key SAT.....	98

M

MACRO スイッチ.....	64
Marker.....	76, 141
Matrix.....	94
MEAD-MS01.....	43
MEAD-SD01.....	43
Media Full.....	39
Media Near Full.....	39
MENU ボタン.....	129
MF Assist.....	64, 133
MF アシスト.....	63
MF モード.....	62, 63

MONITOR VOL ボタン.....	71, 111
----------------------	---------

N

ND FILTER スイッチ.....	50
ND フィルター.....	50
NEXT ボタン.....	111
NTSC Area.....	48

O

OK Mark.....	73, 76
OK MARK ADD.....	116
OK MARK DEL.....	116
OK クリップサムネイル画面.....	108
OK マーク.....	73, 107, 116
OTHERS メニュー.....	144
Output Select.....	139, 150, 151

P

PAL Area.....	48
PAUSE.....	120
Peaking.....	63, 140
PEAKING ボタン.....	63
PHU-120R.....	41
Picture Cache.....	76
PICTURE PROFILE ボタン.....	90
PICTURE PROFILE メニュー.....	90
Plan.Metadata.....	102, 103
PLAY/PAUSE ボタン.....	109, 110
PREV ボタン.....	111
Profile Name.....	94
Properties.....	102
PUSH AF ボタン.....	63
P.Cache Rec.....	80, 134

R

Rec.....	76
REC HOLD レバー.....	46
Rec Review.....	74, 76, 134
REC REVIEW ボタン.....	46, 74
Rec Run モード.....	66
REC START/STOP ボタン.....	46
Regen モード.....	66
RELEASE ボタン.....	34

S

Safety Zone.....	52
------------------	----

SBAC-US10	152
SD Detail	96
SDHC カード	43
SDI OUT 端子	150
SEL/SET ダイヤル	129
SEL/SET ボタン	129
SET INDEX PIC	121
Setup	139
Shockless White	136
SHOT MARK	120
Shot Mark1	76
SHOT MARK1 ADD	121
SHOT MARK1 DEL	121
Shot Mark2	76
SHOT MARK2 ADD	121
SHOT MARK2 DEL	121
Shot Transition	85, 133
SHOTMARK ボタン	72
Shutter	56, 132
Shutter Angle	57
Skin Tone Detail	97
SLOT SELECT ボタン	37, 38
SLS Frame	57
SLS モード	56, 57
Speed モード	56
Spotlight	76
STATUS ボタン	123
Steady Shot	65, 137
STOP ボタン	110
SxS デバイスドライバソフトウェア	152
SxS メモリーカード	36
S&Q Motion	82, 134

T

Tally	145
TC Format	67, 143
TC/UB SET メニュー	143
TC/U-BIT/DURATION ボタン	68, 110
THUMBNAIL ボタン	108, 110
Time Zone	30, 144
Timecode	67, 143
TLCS	25, 46, 136
TRANSITION 操作ボタン	85
Trigger Mode	146, 155

U

USB ケーブル	152
Users Bit	143
UTC	30

V

Version	149
Version Up	149
Video Format	47, 147
Video Out Display	139, 151
VIDEO SET メニュー	139

W

White	95
WHITE BAL スイッチ	51
White Switch	136
WHT BAL ボタン	52
Wide Conversion	65, 137

Y

YPbPr/Digital Out Display	139, 151
---------------------------------	----------

Z

Zebra	54, 141
Zoom Position	59
Zoom Speed	60, 133
Zoom Trans	61, 133
ZOOM スイッチ	60
ZOOM ボタン	60

数字

24P System	140
------------------	-----

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>